



# Platform Clover

ユーザーマニュアル

# 目次

## I はじめに

## II Platform Clover の概要

1. Platform Clover のコンセプト
2. Platform Clover の利用対象ユーザー
3. Platform Clover で利用することができる機能と Platform Clover を利用することで得られるメリット
4. Platform Clover 活用の理想的なモデルケース

## III アカウント作成、ログイン方法

1. 本章の概要
  - 1-1 アカウントとは
    - 1-1-1 個人アカウントとは
    - 1-1-2 組織アカウントとは
  - 1-2 マイページとは
    - 1-2-1 SDGs Portfolio とは
    - 1-2-2 パートナーとは
2. 個人アカウントの作成及びログイン方法
  - 2-1 個人アカウントの作成
  - 2-2 ログイン
3. 組織アカウントの作成及びログイン方法
  - 3-1 組織アカウントの作成
  - 3-2 ログイン
4. マイページ（個人アカウント・組織アカウント）の編集方法
  - 4-1 マイページの編集、メールアドレスの変更、パスワードの変更
  - 4-2 SDGs Portfolio
  - 4-3 発信一覧
  - 4-4 いいね一覧
  - 4-5 マイリスト
  - 4-6 閲覧履歴
  - 4-7 パートナー一覧
  - 4-8 メッセージ一覧
  - 4-9 メンバー管理（組織アカウントのみ）

## 目次

### IV 情報の検索

1. 本章の概要
  - 1-1 Platform Clover にて検索可能な情報
2. 発信された情報・ユーザーの検索
  - 2-1 Platform Clover での検索方法
  - 2-2 特集での情報収集
3. 発信情報の詳細

### V 情報の発信

1. 本章の概要
  - 1-1 Platform Clover にて発信可能な情報
2. プロジェクトの発信
3. アクティビティの発信
4. ニーズの発信
5. シーズの発信

### VI よくある質問 (Q&A)

1. Platform Clover を利用する意義が分からない (Platform Clover で何ができるのか分からない)
2. アカウント作成時に本人確認認証がうまくいかない場合
3. メールアドレス・パスワードを忘れた場合
4. アカウントを削除したい場合
5. Platform Clover の開発に参加することは可能か

### VII 付録

1. プライバシーポリシー
2. 利用規約
3. SDGs のターゲット

# I はじめに

# Platform Clover ユーザーマニュアル

## はじめに

1987年に国連に設置された「ブルントラント委員会」がまとめた報告書『Our Common Future（我ら共有の未来）』で、持続可能な開発の重要性が広く国際社会に発信されてから30余年が経過しました。一部で持続可能な開発の実現に向けて真剣に取り組む機運が醸成されるものの、残念ながらその後の世界はむしろ非持続可能な道を歩んでいるように見えます。このままでは我々の未来はありません。

2015年に国連加盟国が全会一致で採択した『Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development（我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ）』は、この悪しき流れに終止符を打つという国際社会の決意が込められたものです。人類（People）と地球（Planet）が繁栄（Prosperity）するためには、平和（Peace）とパートナーシップ（Partnership）が不可欠であるということ（5つのP）が示され、2030年を目途に達成すべきゴールとして『SDGs: Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）』が提示されました。

現在、このSDGs達成に向けて各国で産官学民をあげた取り組みが徐々に広がりを見せています。素晴らしい取り組みが生まれつつある一方で、SDGsに対する誤った認識やSDGsを自己正当化や単なる金儲けの道具として矮小化する動きも出てきています。SDGs自体も完璧なものではなく、文化や芸術など抜け落ちてしまっている重要な観点があるのは事実で、国際社会が掲げるゴール自体も『変革』が求められるのは言うまでもありません。しかし、SDGsを批判するだけで我々が世界を変革するための歩みを止めれば、国際社会を取り巻く環境は悪化するだけです。

我々の子供たち、孫たち、さらにその先の将来世代に良い世界を残してあげられるか否かは今を生きる我々の行動にかかっています。今まさに我々人類は自らを滅ぼす方向に向かうか、生き残る方向に向かうかの分水嶺に立っています。ひとりひとりでは講じ得る対策に限界はあるかもしれませんが、同じ志を持つ者同士で知見を共有したり、手を携えたりしながら課題の解決に向けて共に取り組む（共創する）ことで、少しずつ我々の世界を変革することができると思っています。

今般りリリースする『Platform Clover（α版）』は、2021年1月にリリースしたβ版を大幅にアップデートしたもので、持続可能な社会を共創する関係者の皆様の取り組みを支援する機能が多数加わりました。全国各地の皆様の実践例や経験談、知見や新しいアイデアをこのオンラインSDGsプラットフォーム上に持ち寄っていただくことが集合知を形成することにつながり、持続可能な社会の構築に貢献します。我々の世界を変革し、非持続可能な現代社会から持続可能な社会へ移行するために、どうか皆様の力をお貸しください。

一般社団法人サステナブルトランジション  
代表理事 川久保俊



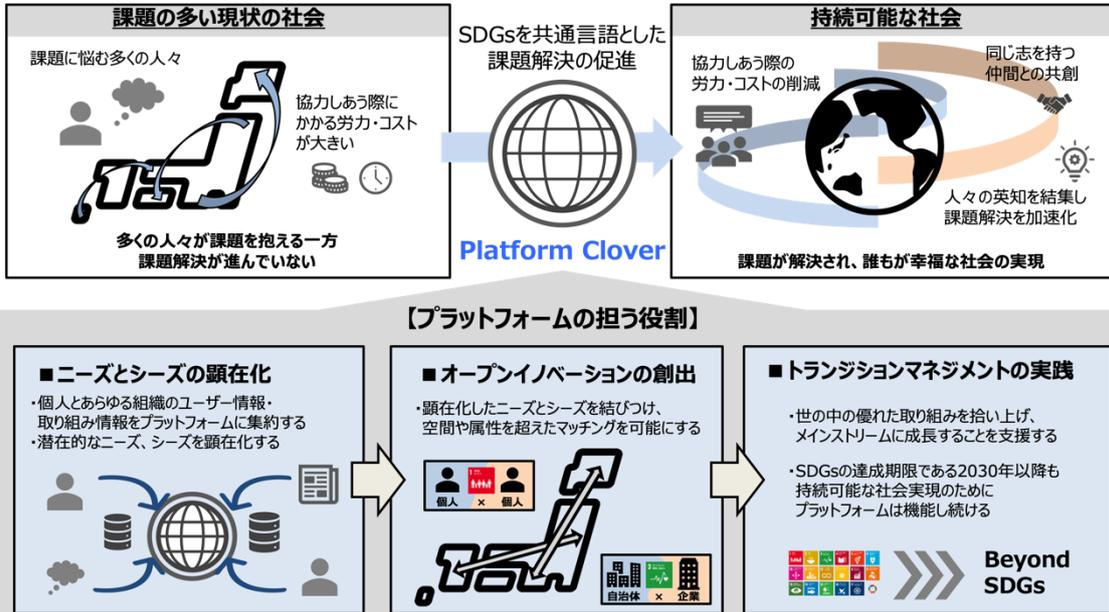
## Ⅱ Platform Clover の概要

## II.1 Platform Clover のコンセプト

現在、人類は過去に経験したことがないさまざまな課題に直面しています。貧困、飢餓、感染症、教育格差、気候変動、紛争など、これらの課題に対して、世界全体で協力して取り組むことが重要とされています。一人一人が当事者であることを認識し、持続可能な社会の実現に向けて行動することが求められます。しかし、現在の世界では取り組みを始めようとしても「どこで情報が入手できるのか分からない」「具体的な取り組み方法が分からない」「取り組みが上手くいかないときに誰に相談すればいいのか分からない」、このような状況に陥ることが多々あります。さらに、それらのニーズ(需要)は想いを抱える人が多くいたとしても顕在化しておらず、見つけ出すことが困難です。一方、「世の中を良くしたい」「困っている人々を助けたい」というシーズ(供給)があったとしても、それらが困っている人にきちんと届くことも多くありません。それは結果として、ニーズとシーズのマッチングによる課題解決の機会を失っています。

そこで、Platform Clover は皆様のニーズとシーズを顕在化させ、世界の共通言語と位置づけられる持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals) を通じて空間や属性を超えた交流・マッチングを促します。将来的には AI を用いたマッチングの自動化も視野に入れています。Platform Clover はオープンイノベーションの創出を促し、持続可能な社会への移行を早めていきます。

## オープンイノベーションが起きる機会を積極的に創出し、課題解決を促進することで持続可能な社会の構築に貢献する



### コラム：持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標（SDGs）は、17のゴールと169のターゲットから構成される2030年に向けた世界共通の開発目標です。2015年9月、ニューヨークの国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」にて、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されましたが、その中核を成しているのがSDGsです。SDGsは「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をテーマに、貧困や飢餓、健康、教育、エネルギー、働きがいや経済成長、気候変動といった世界が抱える課題の包括的な解決を関係者（ステークホルダー）に促すものです。そして現在、このSDGs達成に向けた取り組みは産官学民のあらゆる関係者の間で盛り上がりを見せています。特に2020からの10年間は2030年のSDGs達成に向けた「行動の10年（Decade of Action）」とされ、SDGsの理念に沿った取組の実施が重要とされています。

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

## 2030年に向けた世界の目標 (誰一人取り残さない社会の実現)

世界の共通言語  
羅針盤的な役割



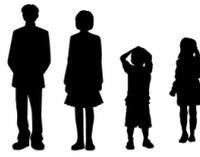
17個のゴール  
169個のターゲット



**産**  
(民間企業等)



**官**  
(国・自治体等)



**学**  
(小中高大き等)



**民**  
(市民・NPO等)

## II.2 Platform Clover の利用対象ユーザー

Platform Clover はSDGsの理念である「No One Left Behind（誰一人取り残さない）」の精神に則り、どなたでも利用することが可能となっています。基本的には、産官学民のすべての皆様が個人として利用することはもちろん、組織・法人として利用することも可能です。なお、SDGsをこれから学んでいく方、具体的な取り組みは始められていないが、取り組む意思は大いにある方、持続可能な社会の実現に向けてすでに精力的に取り組みを進めていて、自身・自身が所属している組織の経験や知見を発信したい方、さまざまな方にPlatform Cloverは利用していただけます。

### 利用ユーザーイメージ 例



自治体

市内の企画系部署に所属しており、SDGsを原動力としたまちづくりや地方創生を推進する取り組みを始めたいと考えたが、何から手をつければ良いのか分からない。好事例を検索したい。



中小企業

官民連携に注目が集まっている中で、自社の利益の追求だけでなく、地域の関係者を巻き込み地域課題の解決等に貢献しようと考えた。そこで新規事業を立ち上げ、賛同する仲間を集めたい。



教育機関

近年、新学習指導要領の中でSDGsについて教えることが求められ、授業内容にも変化が必要だと考えている。具体的な活動を通じて、生徒たちにもSDGsを学んでほしい。そこで、生徒たちの体験学習ができる協力先を見つけたい。

ユーザーごとの利用シーン（例）

	SDGs Portfolio / プロジェクト / アクティビティ	ニーズ	シーズ
<b>大企業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の先進性をアピールしたい</li> <li>・他の企業との差別化を図りたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他企業と提携を結びたい</li> <li>・優秀な技術者を採用したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の技術を他分野で活用したい</li> <li>・資金を使って他組織の事業を援助したい</li> </ul>
<b>中小企業・ 零細企業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の取り組み意思・内容をアピールしたい</li> <li>・会社の存在を知ってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大企業と提携を結びたい</li> <li>・資金援助してほしい</li> <li>・若い働き手に入ってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の技術を活用したい</li> </ul>
<b>自治体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力を知ってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い働き手に入ってほしい</li> <li>・地域の企業や学校と連携したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場所の提供がしたい</li> </ul>
<b>教育機関</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ならではの活動をアピールしたい</li> <li>・研究成果をアピールしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学生に入ってきてほしい（地方の教育機関）</li> <li>・研究費を貰いたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ならではの行動力を提供したい</li> <li>・研究成果を活用したい</li> </ul>
<b>コミュニティ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのことを知ってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ志を持っている人を集めたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの理念に沿ってボランティア活動したい</li> </ul>
<b>個人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の活動をアピールしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金支援をしてほしい</li> <li>・活動における悩みを相談したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かの悩みに答えたい</li> <li>・自分の技術をより高いレベルで発揮したい</li> </ul>

（注：Platform Clover は利用者の皆様がインターネットを使える状況にあること、ある程度インターネットの操作に慣れていることを前提としている側面があり、インターネットの恩恵が受けられない、インターネットでの操作に不慣れな一部の方には Platform Clover を利用することが難しい側面もあるかもしれません。そのような方々にも Platform Clover をご利用いただけるよう、運営母体である一般社団法人サステナブルトランジションは各地でオフラインでのセミナーや操作方法の説明会等々を行って参ります。また、本ユーザーマニュアルの作成や操作方法の紹介動画の作成等、なるべく多くの方に Platform Clover を利用していただけるよう努力して参ります。）

## II.3 Platform Clover で利用することができる機能と Platform Clover を利用することで得られるメリット

本章では皆様が Platform Clover にて利用できる機能と、それによって得られるメリットをご紹介します。まず、Platform Clover では主に下記3つの機能を利用できます。

- ①他ユーザーの持続可能な社会の実現に向けた取り組みの検索
- ②自身や自身が所属している組織の持続可能な社会の実現に向けた取り組み等の発信
- ③他ユーザーとの交流やマッチング

なお、Platform Clover にて検索・発信できる情報は以下の通りです。

### 1.ユーザー情報（SDGs Portfolio（III.1-2-1 参照）等）

簡単なプロフィール、SDGs への取り組み意思・これまでの取り組み内容・これからの取り組み内容（SDGs Portfolio）

### 2.プロジェクト（IV.1.2 V.1.2 参照）

現在行っている、あるいは構想している持続可能な社会を共創するための取り組み

### 3.アクティビティ（IV.1.3 V.1.3 参照）

現在行っている持続可能な社会を共創するための取り組みに関する日々の活動

（例：プロジェクトの活動報告、イベント参加報告 等）

### 4.ニーズ（IV.1.4 V.1.4 参照）

持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進めるために他のユーザーに求めている資源（人材、資金、物、場所、技術・ノウハウ 等）のこと

### 5.シーズ（IV.1.5 V.1.5 参照）

持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進める他の利用者に対して提供可能な資源等（人材、資金、物、場所、技術・ノウハウ 等）のこと

次ページ以降、①検索、②発信、③交流・マッチングの3つの機能とそれぞれを利用することで得られるメリットを紹介します。

## ①他ユーザーの持続可能な社会の実現に向けた取り組み等の検索

Platform Clover では他のユーザー（本人確認が取れているユーザー）が発信した情報を検索できます。まずは「他のユーザーの取り組んでいる事例」「市場動向」「地域の関連情報」等を知っていただくことで、

- ・自身・自身が所属している組織の立ち位置を再確認
- ・今後の取り組みを始める上でのきっかけづくり

としてお役立ていただければと考えています。

持続可能な社会の実現に向けて何から始めれば良いか分からないという方は、情報を検索し先行事例/成功事例から具体的な取り組みを学ぶことができます。ユーザーを検索し、自身・自身が所属する組織のリソースのみでは賄いきれない大きな取り組みを行う上で、共に共創していくパートナーを Platform Clover 上で発見することもできます。

## ②自身や自身が所属している組織の持続可能な社会の実現に向けた取り組み等の発信

Platform Clover では持続可能な社会の実現に向けた自身・自身が所属している組織の取り組みを主に以下の 5 つの形態で発信することが可能です。発信を行うためにはアカウントの作成が必須です。（III.2.3 参照）

### 1.ユーザー情報

自身・自身が所属している組織が持続可能な社会の実現に向けて取り組む意思や、これまでの取り組み、これからの取り組みを SDGs Portfolio に整理し、発信することができます。まだ具体的な取り組みを始めていない方でも取り組む意思や、これからの取り組み等に関する情報を入力しておくことで、自身・自身が所属している組織のブランディング等に活かすことができます。加えて、SDGs Portfolio を閲覧した他のユーザーとの新たなパートナーシップを構築するきっかけにつながる可能性もあります。

### 2.プロジェクト

自身・自身が所属している組織の持続可能な社会の実現に向けた取り組み、関係者を巻き込んだ取り組みをプロジェクトとして、発信することができます。プロジェクトを発信することで、自身・自身が所属している組織が持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組みを進めていることを対外的にアピールすることができます。プロジェクトの目標を定め、具体的な指標を設定することで、取り組みの進捗管理を行うこともできます。後述するニーズやシーズの発信を行う際にも、自身・自身が所属している組織の取り組みが詳細に記載されて

いる重要な情報源としてプロジェクトは他のユーザーに閲覧されます。

### 3. アクティビティ

プロジェクトの活動報告として日々の活動を発信することができます。(プロジェクトとは関係ない日々の活動でも問題ありません。) アクティビティを利用することで取り組みの最新情報を適切に更新し、日々意欲的に活動していることをアピールすることができます。

### 4. ニーズ

取り組みを進めていく上で自身・自身が所属している組織のみでは解決できない大きな課題に直面した場合に、大きな課題を解決するために他のユーザーへの要望や依頼を発信し助けを求めることができます。他のユーザーと協力して取り組みを飛躍的に進めるきっかけを得ることができる可能性があります。

### 5. シーズ

ニーズ情報を発信し他のユーザーに助けを求める一方で、他のユーザーに手を差し伸べることも可能です。Platform Clover ではシーズとして、他のユーザーへ行える支援等に関する情報を発信することができます。積極的にシーズ情報を発信し、他のユーザーと持続可能な社会の実現に向けて共創していきましょう。

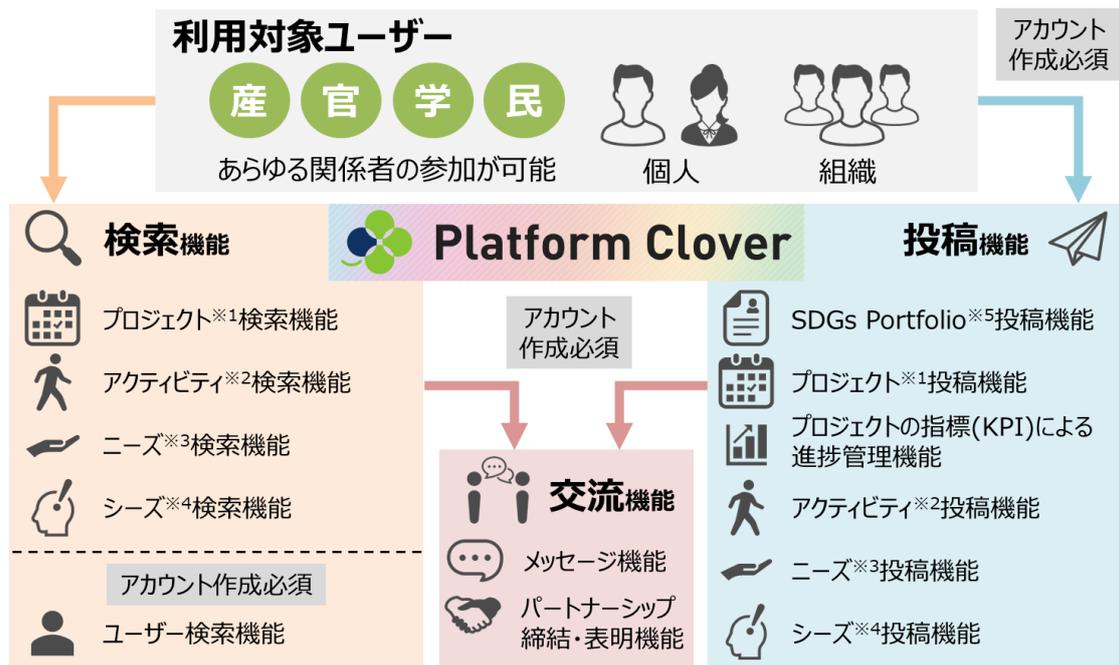
## ③ 他ユーザーとの交流やマッチング

Platform Clover 上の発信を通じて、ユーザー同士が交流やマッチングを行うことが可能です。なお、交流やマッチングには空間・時間的な束縛はなく、属性や業界を超えて情報を交換し、互いに学びあうことや持続可能な社会の実現に向けた他のユーザーとの共創が可能です。

例えば、企業×企業、企業×自治体、自治体×教育機関、企業×自治体×教育機関 等、多種多様なマッチングにより、お互いの長所を強め合うことや、お互いの短所を補い合うことで、自身・自身が所属している組織の取り組みを深化・加速化することが可能になります。マッチングした実績を Platform Clover 上で公開 (プロジェクトパートナーとして顕在化) することで、さらなるマッチングを呼び込むことも可能です。

なお、交流やマッチングを行うためにはアカウントの作成が必須です。(III.2.3 参照)

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録



※1 現在行っているあるいは構想している持続可能な社会を共創してゆくための取り組みのこと ※4 持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進める他の利用者に対して提供可能な資源等のこと  
 ※2 現在行っている持続可能な社会を共創してゆくための取り組みに関する日々の活動のこと ※5 SDGsへの取り組み意思・これまでの取り組み内容・これからの取り組み内容の包括的な情報のこと  
 ※3 持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進めるために他の利用者に向けている資源等のこと

## II.4 Platform Clover 活用の理想的なモデルケース

### 例 1



Platform Clover上で情報を収集したい



**絞り込み検索（ゴール・地域）機能**（IV 参照）を用いた、他ユーザーの投稿情報（プロジェクト・アクティビティ・ニーズ・シーズ）、ユーザー（個人・組織）の**検索**

### 例 2



Platform Clover上で  
自身（自身が所属する組織）のPRをしたい



**SDGs Portfolio**を作成し、**これからの取り組み意思の表明**（III.4-2 参照）や自身（自身が所属する組織）の**これまでの取り組みの発信**（III.4-2 参照）



現在進行中または構想をしている**プロジェクトの発信**（V.2 参照）や日々の活動である**アクティビティの発信**（V.3 参照）

### 例 3



Platform Clover上で  
自身（自身が所属する組織）の連携先を探したい



自身・自身が所属する組織の**ニーズの発信**（V.4 参照）や自身・自身が所属する組織の**シーズの発信**（V.5 参照）



他のユーザーが投稿した**ニーズ**（IV.4 参照）や**シーズ**（IV.5 参照）の**検索**  
ユーザー（個人）（IV.6 参照）・ユーザー（組織）（IV.7 参照）の**検索**

**メッセージ機能**（III.4-8 参照）による他のユーザーとの交流

例 4

Platform Cloverの機能をフル活用して  
自身（自身が所属する組織）の取り組みを広げたい

**SDGs Portfolio**（Ⅲ.1-2-1 .4-2 参照）によって自身（自身が所属する組織）の  
SDGs達成に貢献するこれまでの**取り組みの整理と評価**を行い、  
自身（自身が所属する組織）の課題認識と社会から求められていることを  
踏まえて大きな**目標（ゴール）の設定**を行う

**目標（ゴール）**を達成するための具体的な**プロジェクトを作成**（V.2 参照）  
また、計画の進捗を管理するための具体的な**目標（ターゲット）及び指標の設定**

プロジェクトの達成に向けた  
**アクティビティ**（V.3 参照）・**ニーズ**（V.4 参照）・**シーズ**（V.5 参照）の**発信**  
他のユーザーと交流する（Ⅲ.4-8 参照）ことでプロジェクトや目標（ゴール）の達成を促進

## Ⅲ アカウント作成、ログイン方法

## III.1 本章の概要

### III.1-1 アカウントとは

アカウントとは、サービスを利用するための権利のことです。Platform Clover にはさまざまな機能が存在しますが、アカウントが無い状態では一部の機能しか利用できません。情報の発信や他のユーザーとの交流を行うためにはアカウント作成を行う必要があります。なお、Platform Clover では皆様の利用に合わせて、「個人アカウント」と「組織アカウント」の2つの種別のアカウント作成が可能です。今後も、個人アカウント・組織アカウントを作成して頂いたユーザーの皆様に向けて、より充実した質の高い機能を提供していく予定ですので、ぜひ、今回を機にアカウントの作成をご検討ください。

	検索 (IV 参照)		発信 (V 参照)		交流 (III-5.7.8 参照)
	プロジェクト・アクティビティ・ニーズ・シーズの検索	ユーザー検索	SDGs Portfolio の作成	プロジェクト・アクティビティ・ニーズ・シーズの発信	他ユーザーとの交流・マッチング
未登録	○	×	×	×	×
個人アカウント	○	○	○	○	○
組織アカウント	○	○	○	○	○

#### III.1-1-1 個人アカウントとは

個人アカウントは1人につき1つ作成可能なアカウントであり、その作成にあたっては本人確認認証を行うことが必須となっています。Platform Clover 上の情報閲覧において作成は必須ではありませんが、本人確認認証を行うことでSDGs Portfolio の作成や各種情報の発信を行うことや、ユーザーの皆様への活動のPRを行うことが可能です。

個人アカウントを作成するためには各種個人情報、メールアドレスやパスワードを登録する必要があります。加えて、本人確認認証を行うことで正式な個人アカウントとなり、取

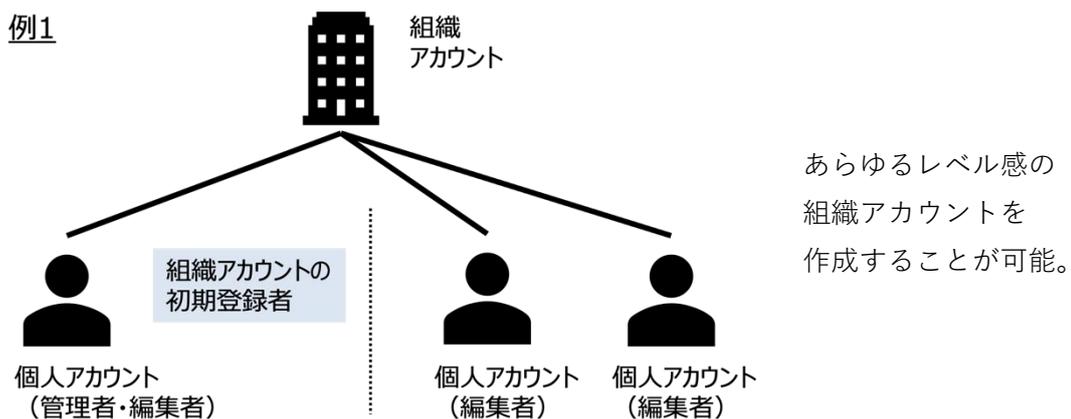
り組みの発信機能を利用することが可能です。(本人確認認証前では取り組みの発信はできません。)

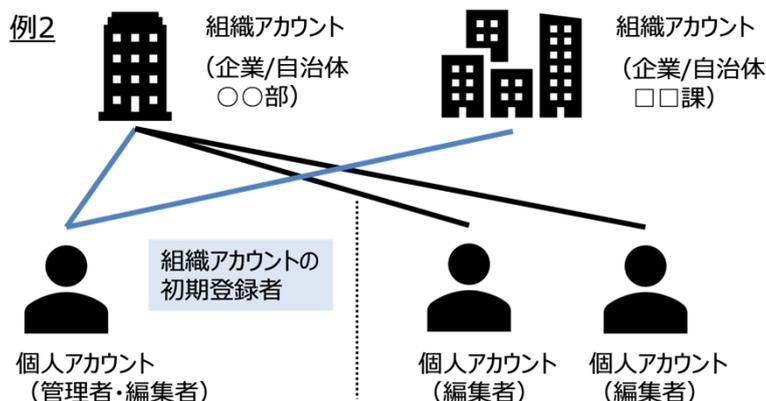
### III.1-1-2 組織アカウントとは

組織アカウントは企業・自治体・教育機関・任意団体などの組織用のアカウントのことです。なお、Platform Clover においては、ある組織内の課や係など人々の集合のことも「組織」として定義しています。そのため、あらゆる規模の大きさに合わせて組織アカウントを作成していただくことが可能です。

組織アカウントは本人確認認証が完了した個人アカウントで作成可能です。組織アカウントは単体では作成や利用ができず、個人アカウントを紐づけることで作成や利用ができます。この紐づけは複数の個人アカウントを管理でき、権限(“管理者・編集者”or“編集者”)を付与することで組織アカウントを複数の個人アカウントで共同に運営することや、管理者が組織を離れるときには組織アカウントの管理権限を他のユーザーに譲渡することができます。なお、組織アカウントから管理者を消すことはできません(管理者、編集者の権限譲渡はIII.4-9を参照ください。)

作成した組織アカウントには固有のパスワード等はなく、所属している個人アカウントにログインし、アカウントの切り替えで利用が可能です。※組織アカウントを作成する際は必ず組織の責任者の承諾を得てください。





複数の組織アカウントに所属することが可能。

## III.1-2 マイページとは

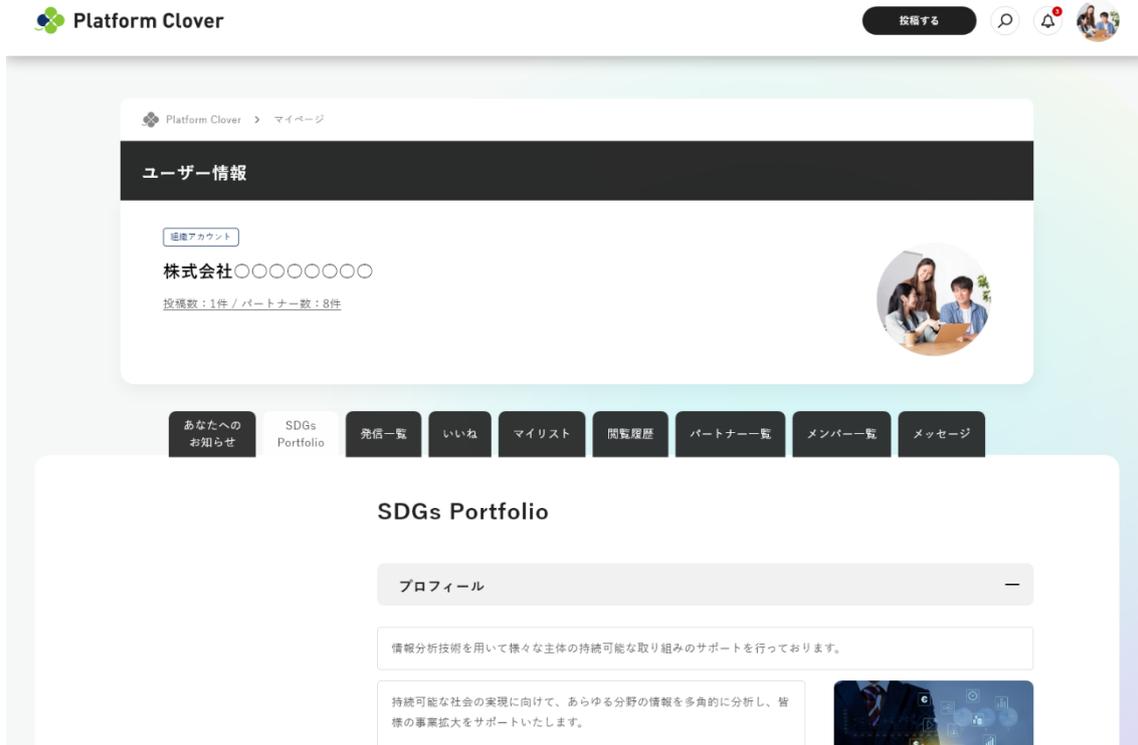
マイページとは

- ① 自身・自身が所属している組織の自己紹介
- ② 他のユーザーとのコミュニケーション
- ③ 自身・自身が所属している組織が発信/閲覧した情報を管理

を行う場です。

個人アカウント、組織アカウントを作成することで、それぞれのマイページが自動的に作成されます。ログイン後にマイページが確認でき、マイページでは登録情報（登録した個人情報・組織情報）の変更、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの意思表示や過去の取り組み、これからの取り組みをアピールする SDGs Portfolio (III.1-2-1 参照) の作成、自身もしくは組織の発信情報の確認、自身もしくは組織の閲覧履歴の確認、中長期的な包括的連携協定であるパートナー (III.1-2-2 参照) の管理、プロジェクトやアクティビティを共に行うプロジェクトパートナー (III.1-2-2 参照) の管理、他のユーザーとのメッセージのやりとり、組織に紐づく個人アカウントの管理（組織アカウントのみ）を行うことが可能です。

マイページにて登録した SDGs Portfolio 等の情報は他のユーザーからも閲覧することができます。他のユーザーが作成したマイページ（これを Platform Clover ではユーザーページと呼びます。）を閲覧することができます。



### III.1-2-1 SDGs Portfolio とは

SDGs Portfolio は皆様の持続可能な社会の実現に向けたこれまで・これからの活動を包括的に発信する情報であり、マイページ上で最も重要な情報と言っても過言ではありません。また、ユーザー皆様の持続可能な社会の実現に向けた取り組みの意思表示や過去の取り組み、これからの取り組みを整理し、対外的に情報を発信することでユーザーとのコミュニケーションを図ることができます。まだ取り組みを始めていない方でも、SDGs Portfolio では取り組みの意欲や展望を PR することができます。例えば、取り組みの魅力が他のユーザーに伝わることで交流が生まれ、取り組みを支援してくれるパートナーが現れるかもしれません。

SDGs Portfolio は具体的に以下の要素で構成されています。

#### 1. SDGs 取り組み宣言

皆様の持続可能な社会の実現に向けた取り組みの意思表示をイメージ画像と共に発信できます。

## 2. これまでの取り組み

皆様のこれまでに行ってきた持続可能な社会の実現に向けた活動を関連するゴール、活動期間と共に発信ができます。最大で10件の発信を行うことが可能であり、皆様のこれからの計画の立案に当たって、活動の振り返りや整理としてもご活用いただけます。

また、活動ごとの発信だけでなく、ゴールごとの影響（インパクト）の発信も可能です。活動ごとの発信と合わせることで、より詳細にこれまでの取り組みを分析し、これからの取り組みを多角的により深く検討することが可能になります。

## 3. これからの取り組み

皆様の持続可能な社会の実現に向けたこれからの取り組みを関連するゴール、関連するプロジェクト発信、活動期間と共に発信できます。こちらも先ほどのこれまでの取り組みと同様に、最大で10件の発信を行うことができ、皆様のこれからの計画や目標を宣言することができます。

SDGs Portfolio は、公開範囲を変更することが可能です。

以下の、3つの形態で公開・非公開を設定することが可能です。

- ①全てのユーザーに公開
- ②パートナーシップを締結したユーザーのみに公開
- ③全てのユーザーに非公開

なお、③全てのユーザーに非公開の設定を応用して、他のユーザーに見えることなく、自身・自身が所属している組織の取り組みの振り返りや目標設定として SDGs Portfolio を活用することもできます。

Platform Clover 登録する 🔍 🔔 👤

Platform Clover > 検索 > ユーザー：株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

### ユーザー情報

経歴アカウント

**株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇**

業種：情報通信 / 組織規模：~20名 / 登記番号：090300000000  
 所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番1号 日交証券本ビル7F  
 URL：https://sample-example.com/

SDGs Portfolio 発刊一覧 パートナー一覧

- > プロフィール
- > SDGs取り組み宣言
- > これまでの取り組み宣言
- > これからの取り組み宣言

メッセージを送る パートナーシップを申請する

### SDGs Portfolio

#### プロフィール

情報分析技術を用いて様々な主体の持続可能な取り組みのサポートを行っております。

持続可能な社会の実現に向けて、あらゆる分野の情報を多角的に分析し、最優の事業拡大をサポートいたします。



#### SDGs取り組み宣言

デジタル技術を活用しあらゆる主体のDXを促進することで、持続可能な組織、事業の構築を支援します。

世の中はUCA時代に入り、先行きの読めない不安な時代になっています。そのような状況下で生き残るためには、デジタル技術を活用し組織や事業を革新するDX(デジタルトランスフォーメーション)が求められます。そこで、弊社はデジタル技術を活用しあらゆる主体のDXを促進することで、持続可能な組織、事業の構築を支援します。



#### これまでの取り組み

SDGsのゴールに紐付けられたこれまでの取り組み

**オフィスの省エネ促進**

省エネ器具の導入、勤怠システムと空調システムの導入、断熱性の高い窓ガラスへの取替、電燈のLED化、人感センサーの導入、省エネ型OA機器の導入等の工夫によりオフィスの継続的な消費電力の削減に努めてまいりました。また、省エネを通じて脱炭素化に貢献してまいりました。

取り組み期間：2016/04/01~2021/03/31



**ゴール別のこれまでの取り組みによるインパクト(影響)**

**7 再生可能エネルギー** 徹底的な省電力の取組により、2020年度は2016年度比で2%以上の削減

**13 気候変動** 電气化による紙消費量の削減により、2020年度は2010年度比で約40%の削減を達成。

#### これからの取り組み

社会の潮流や地域のニーズを踏まえた独自の目標

サステナブルな社会の実現に向けて企業が担うべき役割は一年大きくなりつつあります。その中で、生み出した価値を社会や地域に還元する主体であることが企業の責務であると我々は考えます。様々なステークホルダーの持続可能な活動に貢献できるよう取り組んでまいります。

**多様な人材が引き起こすイノベーションによる価値創造**

多様なバックグラウンドや個性を持つ人材を採用することで社内へ新しい価値を取り入れます。多様な人材の存在により社内のイノベーションが誘発され、それにより生まれた新規事業を通して新しい価値を社会に提供してまいります。

取り組み期間：2021/04/01~2030/03/31



- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

### III.1-2-2 パートナー、プロジェクトパートナーとは

持続可能な社会の実現に向けた取り組みの推進には、企業、国・地方自治体、教育・研究機関、地域住民・NPO等のあらゆるステイクホルダーにおける包括的連携協定/パートナーシップの形成が重要になります。同じ方向性を向いた他社、他組織との包括的連携協定/パートナーシップの形成は個人や組織の限界点を突破することが可能です。Platform Cloverではこの包括的連携協定/パートナーシップをオンライン上で締結することが可能です。

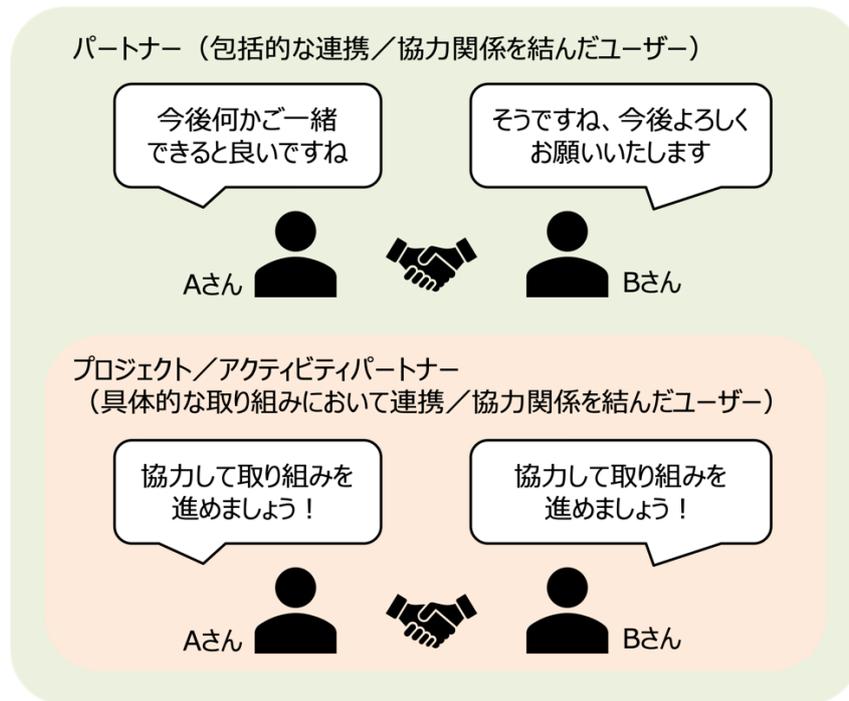
Platform Cloverにおいては、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの推進に向けて、ユーザーの皆様には2つの形態のパートナーシップ形成の機会を提供いたします。具体的には以下の通りです。

#### ①パートナー（ユーザー間の包括的な協力関係、連携）

ユーザーページからパートナー申請を行い、相手ユーザーから申請が承認された場合にパートナーとして協力関係が成立します。パートナーの承認や管理はマイページにて行うことが可能です。相手ユーザーとパートナーになると、さらなるパートナーシップの形成として、「②プロジェクトパートナー」への追加申請が可能となります。なお、自身・自身が所属している組織がどのユーザーとパートナーであるかは他のユーザーから確認することはできません。

#### ②プロジェクトパートナー（計画や活動における協力関係、連携）

プロジェクト発信とアクティビティ発信において、プロジェクトパートナーを設定することが可能です。それぞれの発信・編集画面からプロジェクトパートナー申請を行い、「①パートナー」と同様に、相手ユーザーから申請が承認された場合に協力関係が成立します。こちらでも、マイページにおいてプロジェクトパートナーの承認や管理が可能です。プロジェクトパートナーが成立すると、該当のプロジェクト発信、アクティビティ発信において、相手ユーザーがプロジェクトパートナーとして表示がされ、協力・連携し活動を行っていることを発信できます。



## III.2 個人アカウントの作成及びログイン方法

### III.2-1 個人アカウントの作成

個人アカウント作成の手順を説明します。個人アカウントは個人につき1つのみの発行としており、なりすまし防止やセキュリティ強化の観点から本人確認認証を行います。本人確認認証では、本人確認資料（運転免許証、パスポート、在留カード、特別永住者証明書、マイナンバーカード、住民基本台帳カード、運転経歴証明書のうちいずれか1点）の撮影が必要です。また、ご提出予定の本人確認資料と入力した氏名や住所が異なる場合、本人確認ができず認証できません。必ず本人認証用をお手元にご準備のうえ、入力を進めてください。



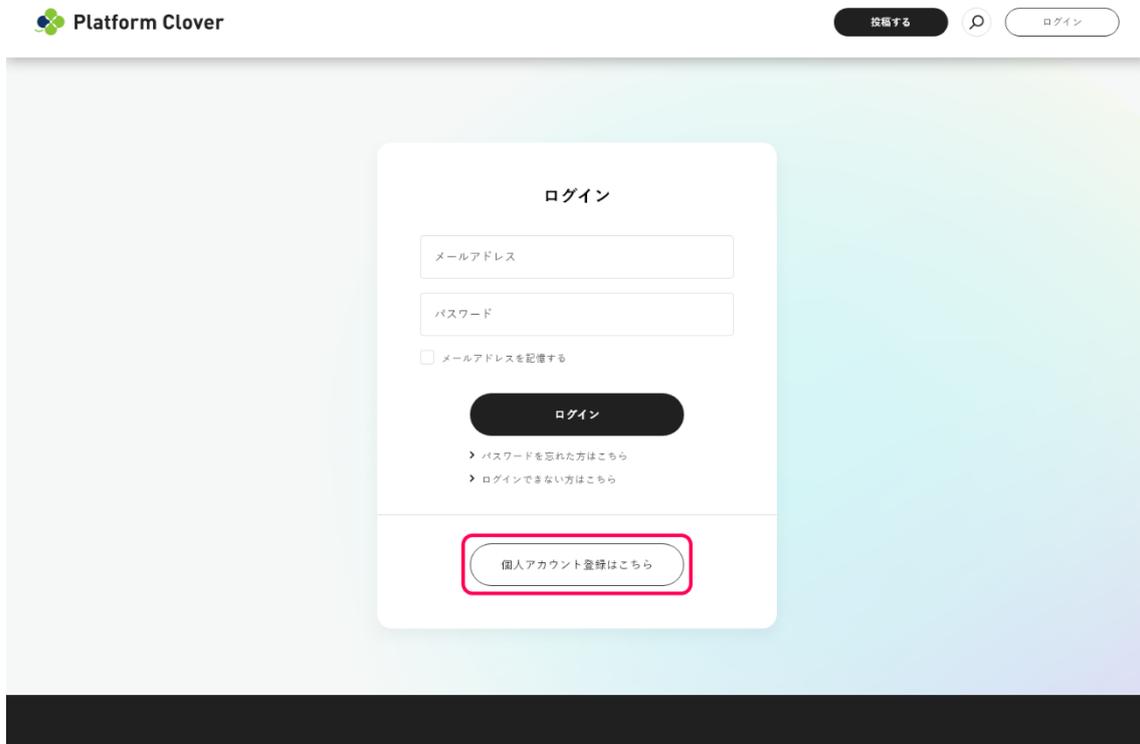
# Platform Clover ユーザーマニュアル

## ステップ① 個人アカウント作成画面への移動

トップページより右上のログインをクリック



「個人アカウント登録はこちら」をクリック



## ステップ② ユーザー情報の入力にて各種情報の入力

**個人アカウント登録**

ユーザー情報の入力 | 個人情報の確認 | 認証メールの送信 | 認証の完了 | 本人確認完了

登録までの4つのステップ

- 1 ユーザー情報の入力**  
メールアドレスやパスワードを入力する必要があるため、必ず入力してください。
- 2 メールアドレスの確認**  
本人確認用のメールアドレスに届くメールを確認して承認してください。
- 3 本人確認**  
本人確認で、本人(写真や顔)の本人確認を行います。
- 4 登録完了**  
登録が完了したら Platform Clover にログインしてご利用ください。

無料で Platform Clover を体験いただけます。この無料体験は毎日ご利用いただけます。

ご案内

**1 本人確認**

必ずお申し込みのメールアドレスに、アカウント作成メールを送信いたします。このメールを確認し、メールに記載のリンクをクリックして本人確認を行います。本人確認が完了すると、自動的にアカウントが作成されます。

**2 アカウント形態**

お客様が Platform Clover をご利用する際のアカウント形態を選択いただけます。お客様は、個人アカウントまたは法人アカウントを選択いただけます。

**Platform Clover で利用するユーザー情報を入力**

Platform Clover では、ご登録の際にユーザー情報を入力していただく必要があります。個人、法人、団体などのアカウント形態を選択し、必要に応じて法人アカウントを選択してください。

**登録区分**

個人  
法人  
団体、学校、研究機関等の団体として法人アカウントを作成するアカウントを選択してください。

**ユーザー名 (プラットフォーム上での表示名)**

ほかのユーザーと重複しないよう、任意の英数字と記号のみで入力してください。

**メールアドレス**

**パスワード**

パスワードは英数字・記号・半角カナを4種類組み合わせ、10以上100文字以内で入力してください。

**パスワード (確認)**

パスワードを再入力してください。

**性別**

男性  女性  その他  未指定

性別は99%以上では必要ありませんがご入力ください。

**職業区分**

選択してください

**所属区分**

選択してください

**所属法人種別・団体**

選択してください

**役職**

選択してください

役職は所属法人種別・団体によってご入力ください。

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録



入力内容に不備がある際はエラーメッセージが表示されます。

入力項目は以下の通りです。（\* 必須項目）

項目名	詳細	補足
登録区分	初期状態で「個人」の表示	
ユーザー名*	ユーザー名（プラットフォーム上での表示名）を入力	
メールアドレス*	メールアドレスを入力（ログインや認証に利用）	
パスワード*	半角英数字の 8 文字以上 16 文字以下で作成	
パスワード（確認）*	上記と同様のパスワードを再度入力	
性別*	男、女から選択	
職業区分*	該当する職業をリストから選択	
業種区分*	該当する業種をリストから選択	
所属法人格	該当する所属法人格をリストから選択	
役職	該当する役職をリストから選択	
関心のある SDGs のゴール*	関心のある SDGs のゴールを選択（複数選択可）	
電話番号	電話番号をハイフンなしで入力	
氏名*	氏名を姓、名で記入	※1
フリガナ*	氏名のフリガナをセイ、メイで記入	
生年月日*	生年月日を西暦で入力	
居住地*	本人確認資料と同様の住所を入力	
利用規約に同意する*	利用規約をご確認の上、チェックを入力	
反社会勢力の確認*	ご確認の上チェックを入力	

※1 ミドルネームをお持ちの場合には、「名」の欄に、ファーストネームに続けてミドルネームをご入力ください。パスポート上に、「.（ドット）」や「スペース」などが明記されている場合、「.（ドット）」や「スペース」は除き、続けてご入力ください。

## ステップ③ ユーザー情報の入力にて入力した内容の確認

「登録する」をクリックするとページが移動します。個人アカウント登録のステータスが「認証メール送信」と表示されている場合は正常に処理が進んでいます。入力したメールアドレス宛に Platform Clover からのメールが届いているかを確認してください。



## ステップ④メールによる認証

Platform Clover からメール認証を行うためのリンクを送りますので、そちらをクリックしてください。ページが移動し、本人確認案内が表示されていれば正常です。



The screenshot shows an email interface with the following content:

← [Platform Clover] 新規会員登録用メールアドレスのご確認 ▶ 受信トレイ ×

Platform Clover <no-reply@platform-clover.net> 1月22日(日) 13:33 ☆ ↶ ⋮

【Platform Clover】新規会員登録用メールアドレスのご確認

■■■■ 様

この度はPlatform Cloverに登録いただきまして、誠にありがとうございます。

以下をクリックして、メールアドレスの確認を行ってください。

[\[Redacted URL\]](#)

このメールの内容に覚えのない方は、お手数でございますが、メールを破棄していただきますようお願い申し上げます。

※ このURLの有効期限は24時間です。それ以上経過した場合、再度登録を行なってください。

※ 有効期限を過ぎる、もしくは確認を行った場合、このURLは無効になります。

Webサイトから確認メールの再送信を行ってください。

※ 確認メールの再送信を行うと、このURLは無効になります。

本メールの送信メールアドレスは配信専用のため、返信いただいても回答することができません。

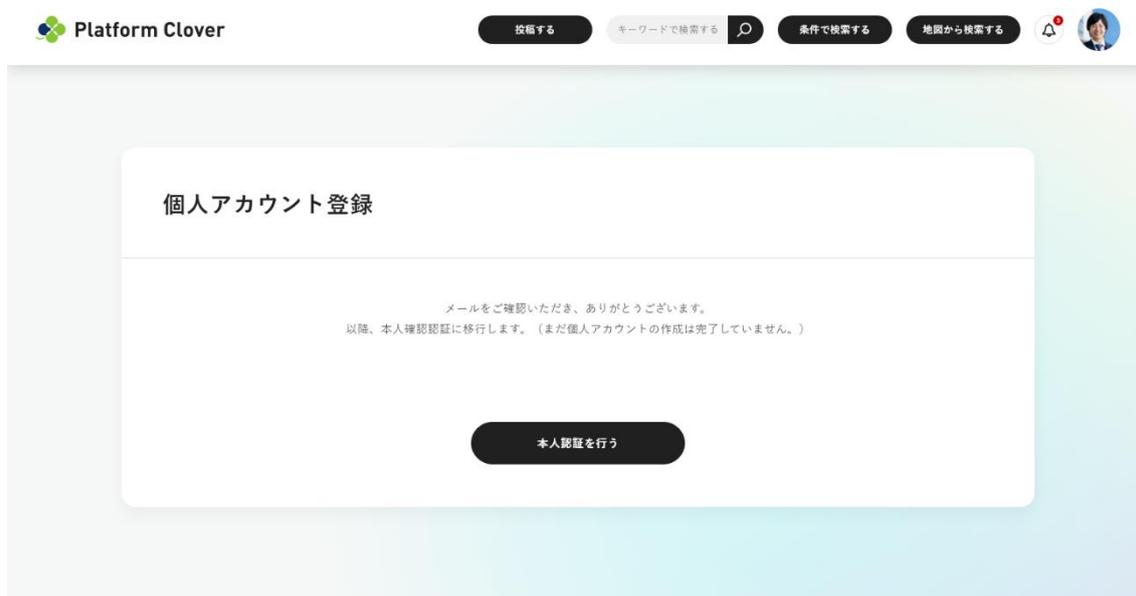
お持ちのアカウントについて問い合わせ希望の方は、下記のお問い合わせ窓口へご連絡をお願いいたします。

- Platform Clover サポートへのお問い合わせ  
<https://sustainable-transition.or.jp>
- プライバシーポリシー  
Platform Cloverの個人情報の取り扱いについては、こちらの「プライバシーポリシー」をご覧ください。  
<https://platform-clover.net/privacy>

送信元：一般社団法人 サステナブルトランジション  
<https://sustainable-transition.or.jp/>

※本メールに掲載された記事を許可なく転載することを禁じます。

Copyright Association for Sustainable Transition All Rights Reserved.

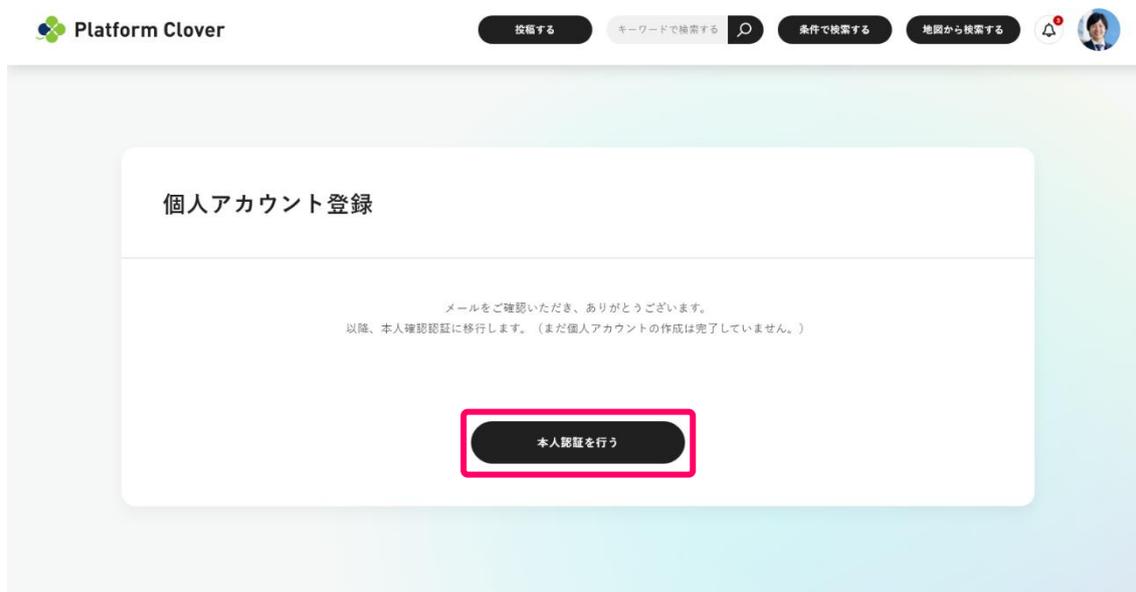


### ステップ⑤本人確認認証の実施

外部の個人認証システム『TRUST DUCK』を利用して個人認証を行います。

メールの認証リンクからアクセスしたページに「本人認証を行う」ボタンがありますので、そちらをクリックして本人確認書類提出に移ります。

※メールの認証リンク以外から本人確認を行う場合は、ログイン(Ⅲ 2-2 参照)を行い、マイページの本人確認認証ステータスをクリックすることで同様の画面に移動することが可能です。



「本人認証を行う」ボタンをクリック後、認証と解放機能、提出書類についての説明ページが表示されます。掲載内容を確認後、画面下の「本人確認の手続きへ進む」をクリックしてください。

Platform Clover

投稿する キーワードで検索する 条件で検索する 地図から検索する

Platform Clover > 本人確認認証

## 本人確認認証

### 本人確認認証とは

「アプリ本人確認」とは、お客様の住所、氏名および生年月日と、指定業者のアプリにてアップロードしていただいた本人確認資料を照合して、登録された本人であることを確認する手続きです。  
本人確認資料のアップロードには専用アプリが必要となり、本人確認の結果は専用アプリにてご連絡させていただきます。  
※アプリ本人確認は株式会社TRUSTDOCK（外部リンク）のアプリを利用します。

### 本会員になって出来ること

- プロジェクトの発信
- アクティビティの発信
- ニーズの発信
- シーズの発信
- 組織アカウントの作成
- ユーザー（個人）の検索
- ユーザー（組織）の検索
- SDGs Portfolioの登録
- 各種申請の管理
- パートナーの申請
- メッセージの送受信

### 本人確認のステップ

- 1 Webカメラもしくはアプリを起動
- 2 指示に従って本人確認資料を提出
- 3 本人確認結果を受信  
※マイページかアプリで確認ができます。
- 4 本会員確認完了!

### ご提出いただく本人確認資料について

本人確認資料は、下記7点の公的証明書(日本国内発行のみ)のうち、いずれか1点の撮影が必要です。

運転免許証	パスポート	在留カード、特別永住者証明書	マイナンバーカード	住民基本台帳カード	運転経歴証明書

**有効期限内、または現在有効な原本に限ります。（コピー不可）**

この後の本人確認認証の手続きの過程で運転免許証等の公的証明書を撮影して提出していただきますが、本人確認をする目的だけに一時的に利用し、本人確認完了後は速やかに破棄します。撮影していただいた画像がサーバー上に残ることはありません。

お客様の住所、氏名および生年月日と、本人確認資料に記載された住所、氏名および生年月日が同じであることを指定業者（※）にて確認させていただきます。

※指定業者は株式会社TRUSTDOCKです。株式会社TRUSTDOCKの個人情報取り扱いについては、[株式会社TRUSTDOCKホームページ](#)（外部サイト）をご参照ください。

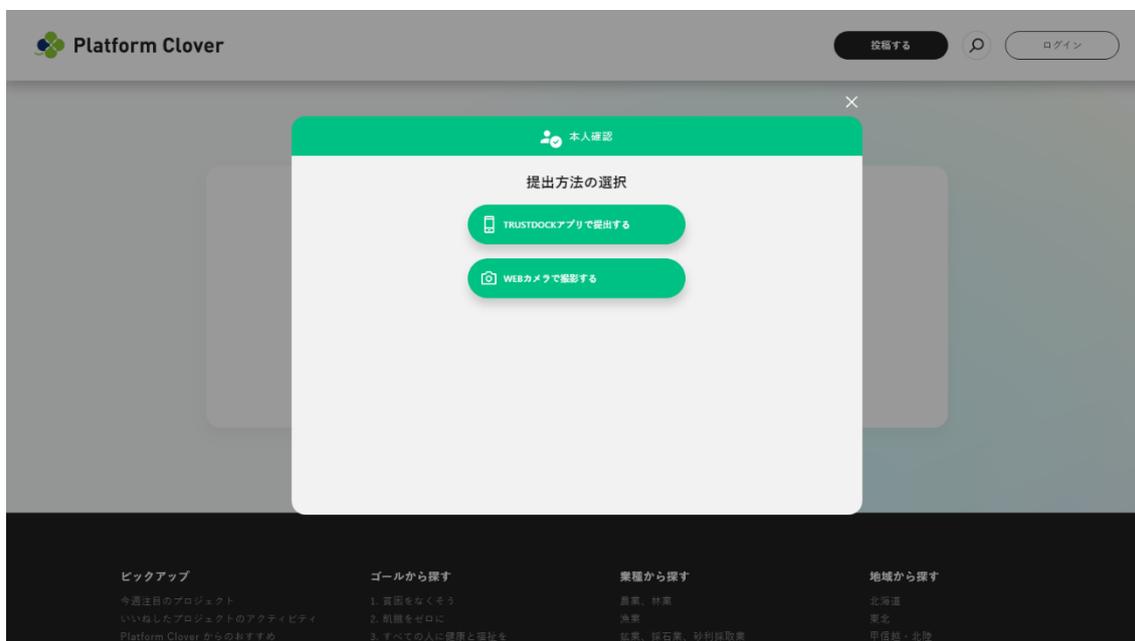
**本人確認の手続きへ進む**

# Platform Clover ユーザーマニュアル

「書類を提出する」をクリックして TRUST DOCK での認証がスタートします。



提出方法の選択ダイアログが表示されますので、環境に合わせた方法でご利用ください。ご利用いただいている端末でカメラが利用できる場合は「WEBカメラで提出する」、カメラが利用できない場合はお手元にスマートフォンをご用意いただき「TRUSTDOCK アプリで提出する」を選択ください。



## ① TRUSTDOCK アプリで提出する場合

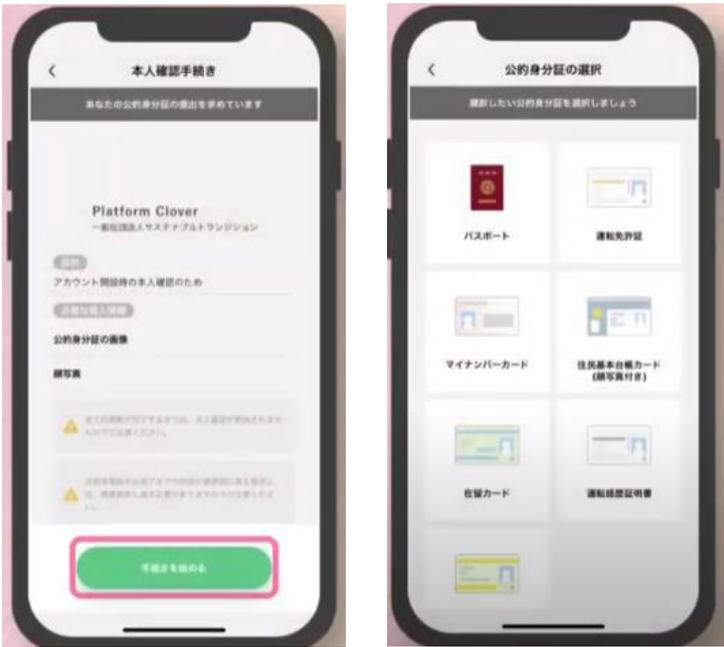
QRコードをスマートフォンで読み込み、身分証専用カメラアプリ『TRUST DOCK』をインストールしてください。※QRコードを再度利用するため、表示したままお待ちください。インストール完了後、アプリを開き指示に従ってフローを進め、個人情報の取り扱いと利用規約を読み同意してください。



「認証する」を押して、スマートフォンのパスワードを入力してください。「QRコードの読み取りへ」を押して、先ほどのQRコードを読み込んでください。

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録



「手続きを始める」を押し、撮影する本人確認書類を選択してください。

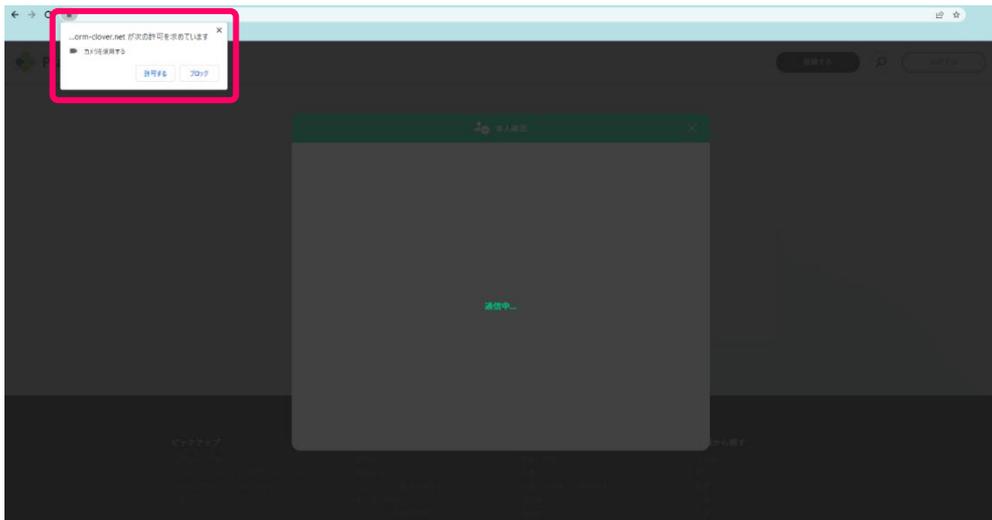


表示される説明を読み、「撮影画面へ」を押して、表示される指示に従い身分証の撮影を行ってください。撮影終了後、「完了」を押して提出は完了です。

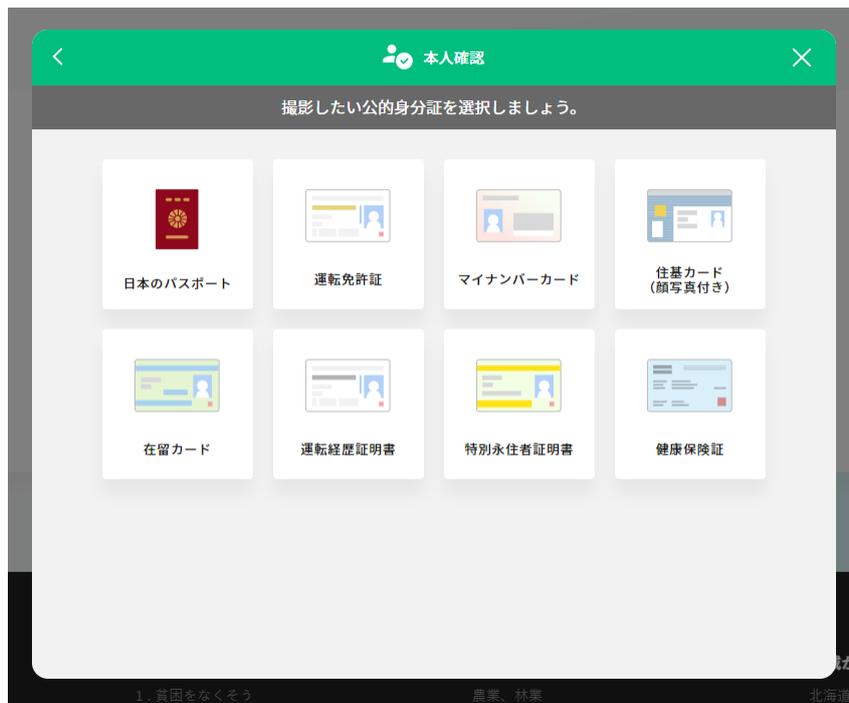
デジタル身分証の作成を行います。説明文を読み、「同意してデジタル身分証を作成」を押してください。次に、氏名と生年月日を入力して、「登録する」を押してください。

## ② WEB カメラで提出する場合

「WEB カメラで提出」を選択した場合、ご利用いただいている端末で本人確認が進められます。カメラが付いた端末で作業いただく場合はカメラへのアクセス確認が表示されますので「許可する」を選択してください。（画像は Google Chrome のものです。ご利用いただいているブラウザやバージョンによって、見た目が変わる場合があります。）

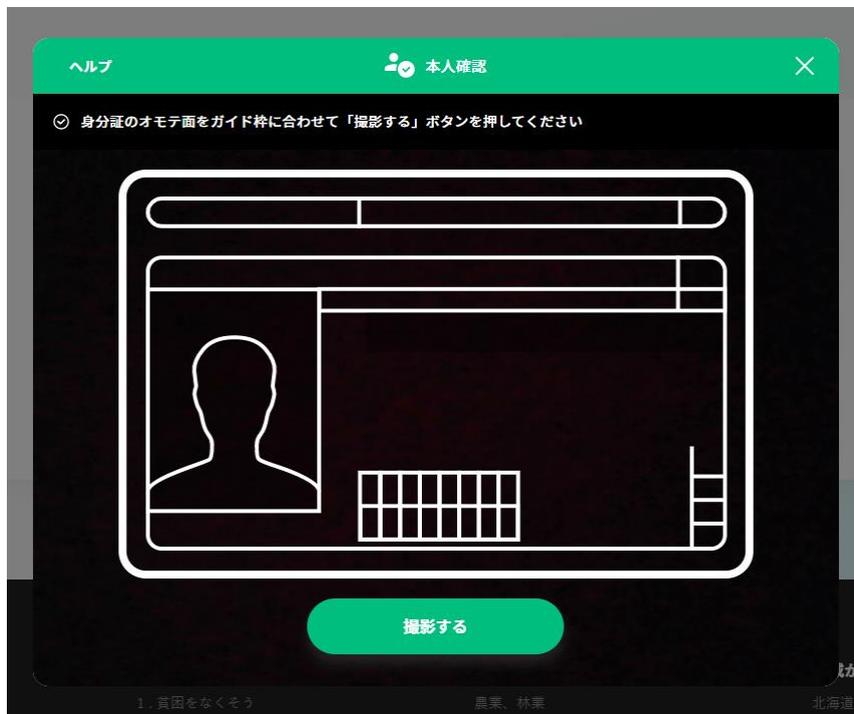


公的身分証の選択画面が表示されるので、提出する身分証を選択してください。



## Platform Clover ユーザーマニュアル

選択後、簡易的なチュートリアルが表示されカメラが起動します。ガイドが表示されますので、ガイドと身分証の位置を合わせて「撮影する」をクリックしてください。



提出後、「必要な個人情報の提出が完了しました」というアナウンスが表示されます。



これでデジタル身分証の作成が完了です。

認証されるまでお待ちください。(最大で1日程度かかります。)

認証のステータスはアプリの場合は TRUST DOCK アプリのトップ画面に表示されている「Platform Clover の「詳細を見る」」で確認が可能です。WEB カメラの場合は Platform Clover のマイページにて表示されるステータスが本人認証確認済みになっていれば本人確認が完了しています。

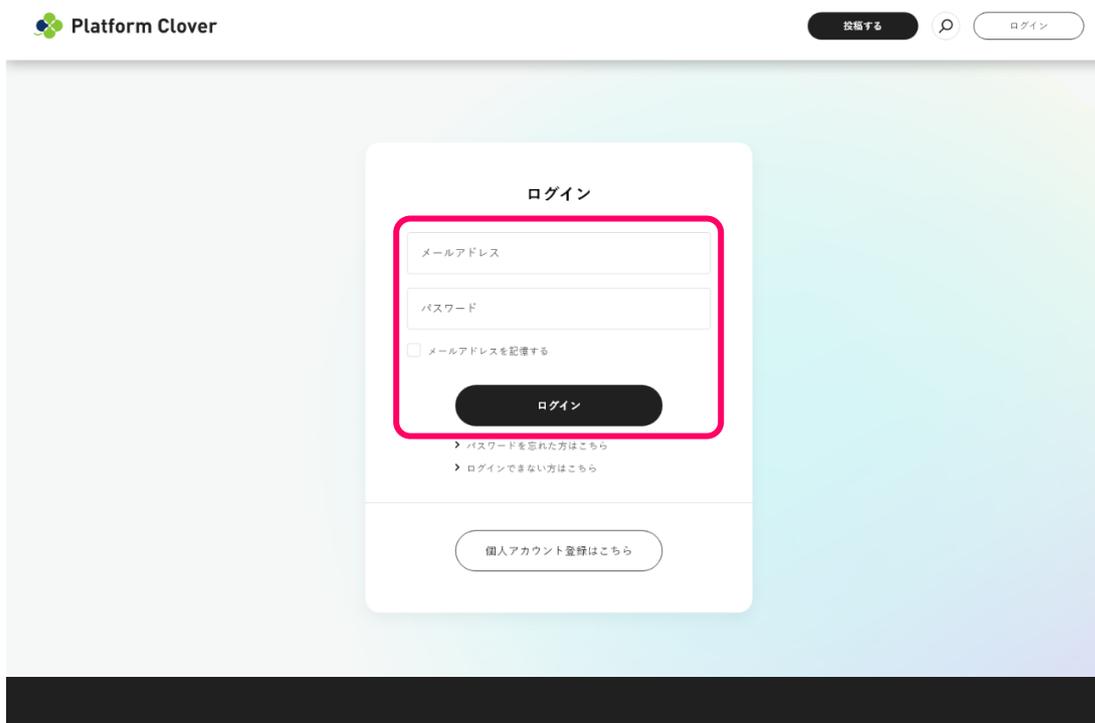
以上で個人アカウント作成が完了です。

## III.2-2 ログイン

作成したアカウントを利用するためのログインの手順について、説明します。



ナビゲーションバー右上の「ログイン」をクリックしてください。



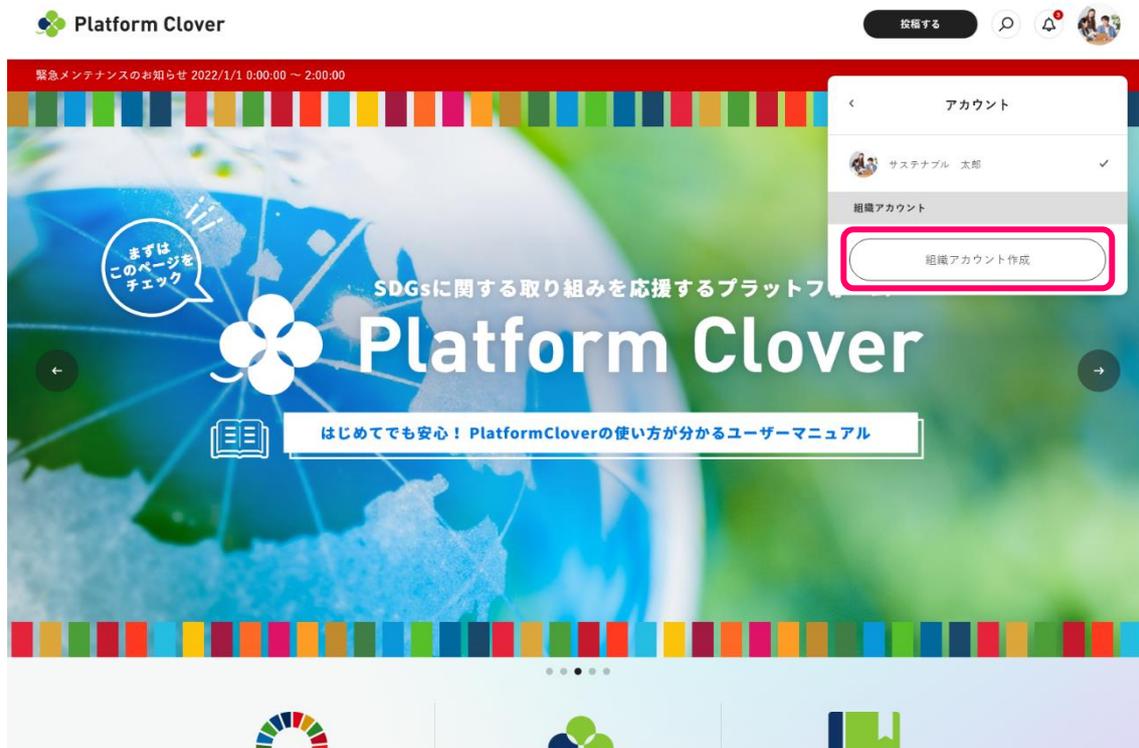
個人アカウント作成時に登録したメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押すことでログインが完了します。

## III.3 組織アカウントの作成及びログイン方法

### III.3-1 組織アカウントの作成

本章では企業、自治体、学校や学生団体、任意団体等の組織レベルで取り組み情報等を発信するための組織アカウント作成の手順を説明します。

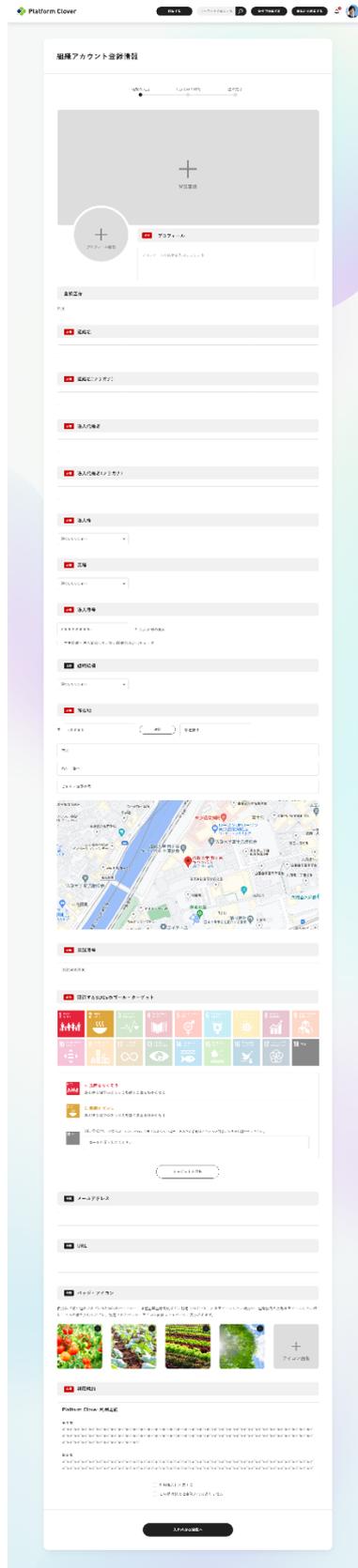
#### ステップ①組織アカウント作成画面への移動



組織に所属するユーザーでログインを行い、ナビゲーションバーのマイページをクリックすることで展開されるリストより、「組織アカウント作成」をクリックしてください。

## ステップ②組織アカウント登録情報の入力にて各種情報の入力

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録



入力内容をご確認の上、ご入力ください。入力内容に不備がある際はエラーメッセージが表示されます。

入力項目は以下の通りです。（\* 必須項目）

項目名	詳細	補足
登録区分	初期状態で「組織」の表示	
組織名*	組織名を記入	
組織名(フリガナ)*	組織名のフリガナを記入	
法人代表者*	法人の代表者の氏名を記入	
法人代表者(フリガナ)*	法人の代表者の氏名のフリガナを記入	
法人格*	該当する法人格をリストから選択	
業種*	該当する業種をリストから選択	
法人番号*	法人番号を入力（法人番号を持たない組織はチェックを入れることで、記入を回避可能）	
組織規模	該当する組織規模をリストから選択	
所在地*	組織の住所を入力	
電話番号*	電話番号をハイフンなしで入力	
関心のある SDGs のゴール*	関心のある SDGs のゴールを選択（複数選択可）	
メールアドレス	組織の連絡用メールアドレスを入力	
URL	組織のホームページ等の URL を入力	
バッジ・アイコン	企業等のブランディング・イメージ向上や、ステークホルダー(金融機関、投資家など)との連携拡大に向けてアピールできるバッジ・アイコンがあれば設定ください。(例：自治体の SDGs 推進企業登録制度 等)	
利用規約に同意する*	利用規約をご確認の上、チェックを入力	
反社会勢力の確認*	ご確認の上チェックを入力	

### ステップ③入力したユーザー情報内容の確認

②においてご入力いただいた内容に誤りがないかご確認ください。不備がございましたら、ページ下部の「修正する」をクリックすることで入力画面に戻ることができます。

入力内容に誤りがないようでしたら、「登録する」をクリックしてください。

## III.3-2 ログイン

組織アカウントは所属する個人アカウントにログインすることで利用が可能です。

### ステップ①組織に所属する個人アカウントにてログイン

ステップ②ナビゲーションバーのマイページをクリックすることで展開されるリストより、  
該当の組織アカウント名をクリック



右上のマイページをクリックし、選択されているアカウントが該当の組織アカウントになっていればログイン完了です。

## III.4 マイページ（個人アカウント・組織アカウント）の利用方法

### III.4-1 マイページの編集、メールアドレスの変更、パスワードの変更

本章では、個人アカウント、組織アカウントを作成することで、自動的に作成されるマイページの編集方法等を説明します。

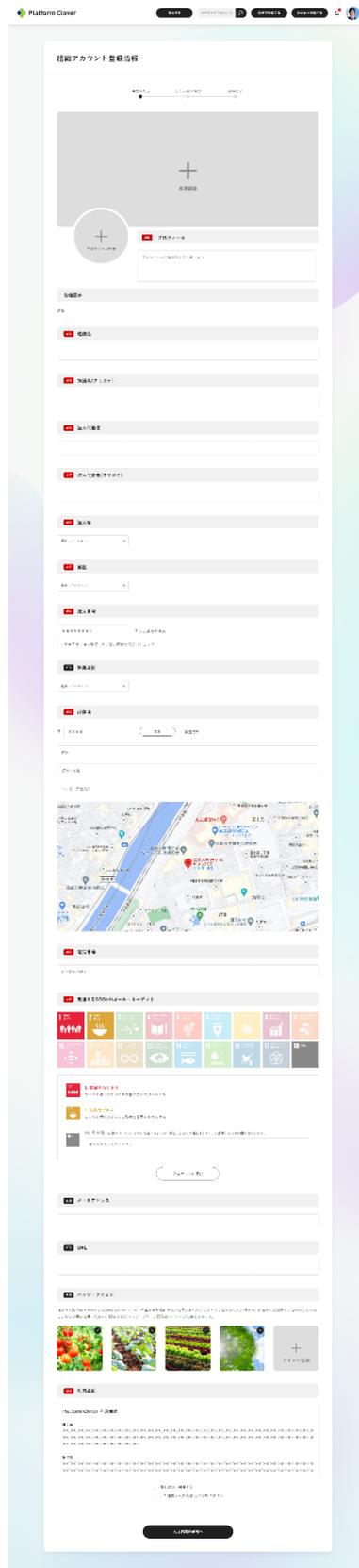
#### 1. マイページの編集

**ステップ①**マイページの右側にある歯車をクリックし、「マイページ編集」をクリック

The screenshot shows the Platform Clover user interface. At the top left is the Platform Clover logo. On the right, there are buttons for '投稿する' (Post), a search icon, a notification bell, and a profile picture. The main content area is titled 'ユーザー情報' (User Information) and shows a '組織アカウント' (Organization Account) for '株式会社' (Company). Below the name, it says '投稿数：5件 / パートナー数：3件'. A red box highlights the 'マイページ編集' (Edit My Page) button, which is located next to a gear icon. Below the profile information, there is a navigation bar with buttons for 'あなたへのお知らせ' (Notifications for you), 'SDGs Portfolio', '発信一覧' (List of posts), 'いいね' (Likes), 'マイリスト' (My List), '閲覧履歴' (View History), 'パートナー一覧' (List of Partners), 'メンバー一覧' (List of Members), and 'メッセージ' (Messages). Below the navigation bar, there are two sections: '絞り込み' (Filter) with checkboxes for 'パートナーシップ', 'メッセージ', 'いいね', and 'その他'; and 'あなたへのお知らせ' (Notifications for you) with three notification items, each with a red dot icon and a timestamp.

## ステップ②マイページ編集画面で、登録した情報を修正

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録



なお、修正可能な項目は以下の通りです。（\* 必須項目）

項目名	詳細	補足
背景画像	マイページ（相手から見た時はユーザーページ）の背景に表示される画像	
プロフィール画像	ユーザー検索、ユーザーページに表示される画像	
プロフィール*	ユーザー検索、マイページ（相手から見た時はユーザーページ）の中心に表示される自己紹介文	
組織名*	Platform Clover 上で公開される組織名	
組織名(フリガナ)*	組織名のフリガナを記入	
法人代表者*	法人の代表者の氏名を記入	
法人代表者(フリガナ)*	法人の代表者の氏名のフリガナを記入	
法人格*	該当する法人格をリストから選択	
業種*	該当する業種をリストから選択	
居住地*	本人確認資料と同様の住所を入力	
法人番号*	法人番号を入力（法人番号を持たない組織はチェックを入れることで、記入を回避可能）	
組織規模	該当する組織規模をリストから選択	
所在地*	組織の住所を入力	
電話番号*	電話番号をハイフンなしで入力	
関心ある SDGs のゴール*	関心のある SDGs のゴールを選択（複数選択可）	
メールアドレス	組織の連絡用メールアドレスを入力	
URL	組織のホームページ等の URL を入力	
バッジ・アイコン	企業等のブランディング・イメージ向上や、ステークホルダー（金融機関、投資家など）との連携拡大に向けてアピールできるバッジ・アイコンがあれば設定ください。（例：自治体の SDGs 推進企業登録制度 等）	

## ステップ③修正が完了したら、ページ下部の「登録する」をクリック



## 2. メールアドレスの変更（個人アカウントのみ）

### ステップ①マイページの右側にある歯車をクリックし、「メールアドレス変更」をクリック



ステップ②メールアドレス変更画面にて、新しく登録したいメールアドレスを入力

(\*両方のボックスに同じメールアドレスを入力)

ステップ③入力が完了したら、ページ下部の「変更する」をクリック

Platform Clover

検索する

メールアドレス変更

現在のメールアドレス

sample@example.com

必須 新しいメールアドレス

必須 新しいメールアドレス (確認)

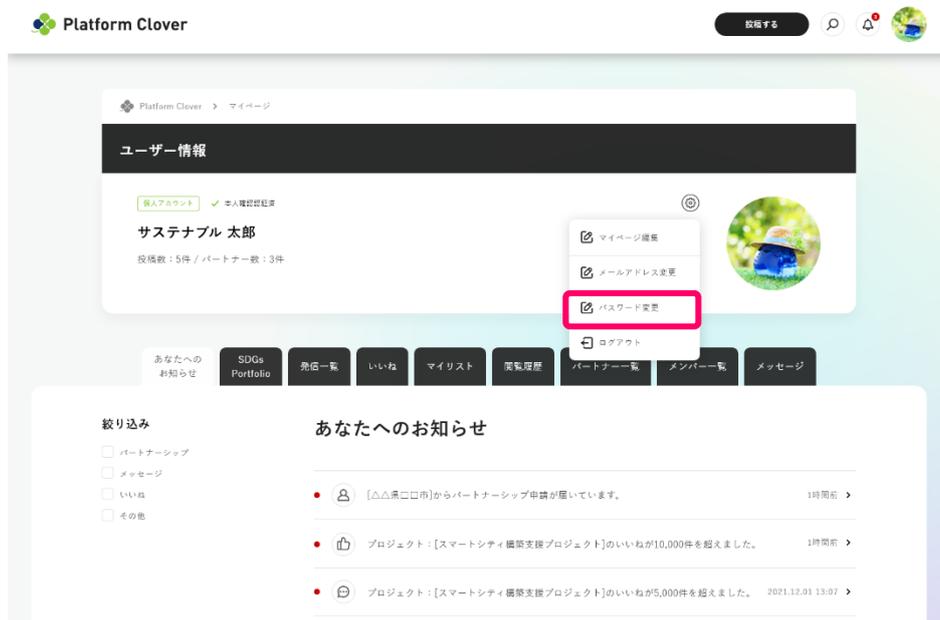
※ コピー & ペースト不可

キャンセル 変更する

3. パスワードの変更 (個人アカウントのみ)

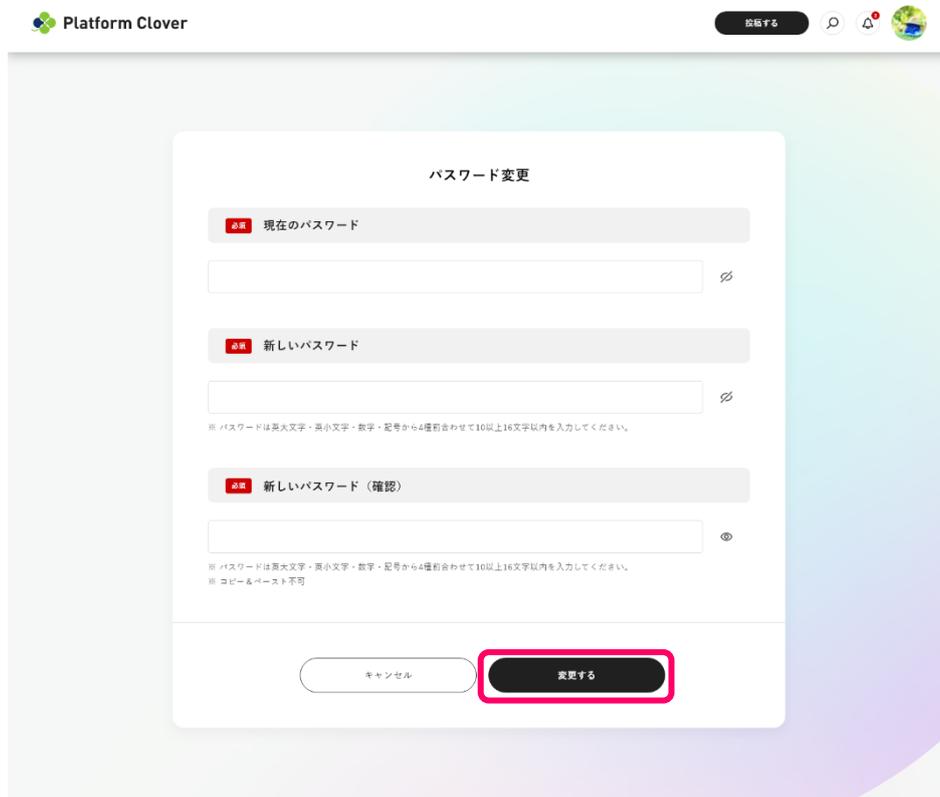
# Platform Clover ユーザーマニュアル

ステップ①マイページの右側にある歯車をクリックし、「パスワード変更」をクリック



ステップ②パスワード変更画面にて、新しく登録したいパスワードを入力  
(\*両方のボックスに同じメールアドレスを入力)

ステップ③入力が完了したら、ページ下部の「変更する」をクリック



### III.4-2 あなたへのお知らせ

あなたへのお知らせでは、Platform Clover 上でのあなたの発信に関するお知らせや、パートナーシップ申請のお知らせなど、優先度の高い情報を通知します。あなたへのお知らせはヘッダーかマイページの「あなたへのお知らせ」から確認ができ、未読状態のものは赤いバッジがつきます。

The screenshot displays the Platform Clover user interface. At the top, there is a navigation bar with the Platform Clover logo, a search icon, and a notification bell icon with a red badge. Below this, the user's profile information is visible, including the company name '株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇' and the number of posts and partners. A dropdown menu for 'あなたへのお知らせ' (Notifications) is open, showing a list of notifications with icons and timestamps. The main content area shows a list of notifications under the heading 'あなたへのお知らせ'. The notifications include: a partnership application from '△△県〇〇市', a member invitation from '株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇', a post on the 'プロジェクト：スマートシティ構築支援' project exceeding 5,000 likes, an invitation to the 'プロジェクト：〇〇市 GIGA デジタル構想 サポーター' project, a post on the 'プロジェクト：[スマートシティ構築支援プロジェクト]' exceeding 2,000 likes, and a message from 'サステナブル 太郎'. A pagination bar at the bottom of the notification list shows page 1 of 5.

通知される内容は下記となります。

- ・ 包括的連携パートナー もしくは プロジェクトパートナーの申請が届いた場合
- ・ 包括的連携パートナー もしくは プロジェクトパートナーの解除申請が届いた場合
- ・ 組織メンバーへの招待が届いた場合
- ・ メッセージが届いた場合
- ・ 発信した記事のいいね数が一定件数を越えた場合

### III.4-3 SDGs Portfolio

SDGs Portfolio は持続可能な社会の実現に向けた意思表示や、過去・未来の取り組みをPR する為のページです。SDGs Portfolio を設定しておくことでユーザー詳細から様々なユーザーに取り組みを閲覧してもらえます。

#### ステップ① 自身のプロフィール、SDGs 取り組み宣言を入力

自身のプロフィールは、SDGs 活動を行うにあたりご自身や所属している組織のポジションを明らかにしたい場合にご記入ください。

SDGs 達成に向けた取り組みには、SDGs に関する意気込みや方針をご記入ください。これまで SDGs に取り組んできた方、これから SDGs に取り組む予定の方、どなたでも SDGs に対する意気込みを発信することができます。

- ・ 入力前

**プロフィール** —

タイトルを入力してください

本文を入力してください

+

**SDGs取り組み宣言** —

タイトルを入力してください

本文を入力してください

+

・入力後

Ⅰ はじめに

Ⅱ 概要

Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法

Ⅳ 情報の検索

Ⅴ 情報の発信

Ⅵ よくある質問

Ⅶ 付録

## プロフィール

情報分析技術を用いて様々な主体の持続可能な取り組みのサポートを行っております。

持続可能な社会の実現に向けて、あらゆる分野の情報を多角的に分析し、皆様の事業拡大をサポートいたします。



## SDGs取り組み宣言

デジタル技術を駆使しあらゆる主体のDXを促進することで、持続可能な組織、事業の構築を支援します。

世の中はVUCA時代に突入し、先行きの読めない不安定な時代になっています。そのような状況下で生き残るためには、デジタル技術を活用し組織や事業を変革するDX(デジタルトランスフォーメーション)が求められます。そこで、弊社はデジタル技術を駆使しあらゆる主体のDXを促進することで、持続可能な組織、事業の構築を支援します。



## ステップ② これまでの取り組みを入力

すでに実行されている取り組みがある場合、活動内容や関連するゴール、活動期間等を発信することができます。最大で10件の発信を設定でき、これからの計画の発案材料や活動の振り返りとしてもご利用いただけます。

### ・入力前

これまでの取り組み
—

SDGsのゴールに紐付けられたこれまでの取り組み

取り組み1
+ < >

SDGsのゴールに紐付けられたこれまでの取り組み 0/50

取り組みを入力してください（50文字まで）

概要

概要を入力してください

関連するSDGsのゴール



取り組み期間

開始日を選択

~

終了日を選択

### ・入力後

これまでの取り組み
—

SDGsのゴールに紐付けられたこれまでの取り組み

取り組み1
+ < >

SDGsのゴールに紐付けられたこれまでの取り組み

オフィスの省エネ促進

概要

高性能空調機器の導入、熱交換式換気機システムの導入、断熱性の高い窓ガラスへの更新、電球のLED化、人感センサーの導入、省エネ型OA機器の導入等の工夫によりオフィスの徹底的な消費電力の低減に努めてまいりました。また、省エネを通じて脱炭素化に貢献してまいりました。

関連するSDGsのゴール



取り組み期間

2016/04/01

~

2021/03/31

## ステップ③ これまでの取り組みによるインパクト(影響)を入力

さらに、振り返りとしてこれまでの取り組みに対する総評として「インパクト(影響)」を入力できます。17個のゴールからインパクトを与えられたものを選択することでゴールに対するテキストボックスが表示されるので、具体的なインパクトを入力していきましょう。

### ・ステップ② 入力前

ゴール別のこれまでの取り組みによるインパクト (影響) —



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

概要を入力してください

13 気候変動に  
具体的な対策を

概要を入力してください

### ・ステップ② 入力後

ゴール別のこれまでの取り組みによるインパクト (影響) —



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

徹底的な消費電力の低減により、2020年度は2016年度比で2%以上の削減

13 気候変動に  
具体的な対策を

電子化による紙使用量の削減により、2020年度は2010年度比で約40%の削減を達成。

## ステップ④ これからの取り組みを入力

この欄にはこれからの SDGs 活動の取り組み内容を記入できます。これまでの取り組みと同様に、最大で 10 件の発信を行うことができ、皆様のこれからの計画や目標を宣言することができます。これからの取り組みを記入することで同じ目標に向かっているパートナーや協力者からのアクションが見込めますので積極的にご活用ください。

### ・入力前

これからの取り組み
—

社会の潮流や地域のニーズを踏まえた独自の目標の説明

説明を入力してください

取り組み1
+ < >

SDGsのゴールに紐付けられたこれまでの取り組み 0/50

取り組みを入力してください (50文字まで)

概要

概要を入力してください

関連するSDGsのゴール



プロジェクトの紐付け

紐づけるプロジェクトを選択

取り組み期間

開始日を選択
📅

~

終了日を選択
📅

## ・入力後

### これからの取り組み

#### 社会の潮流や地域のニーズを踏まえた独自の目標の説明

サステナブルな社会の構築に向けて企業が担うべき役割は一層大きくなりつつあります。その中で、生み出した価値を社会や地域に還元する主体であることが企業の責務であると我々は考えます。様々なステークホルダーの持続可能な活動に貢献できるよう取り組んでまいります。

取り組み1

+ < >

#### SDGsのゴールに紐付けられたこれまでの取り組み

0/50

多様な人材が引き起こすイノベーションによる価値創造

#### 概要

多様なバックグラウンドや属性を持つ人材を採用することで社内に新しい価値観を取り入れます。多様な人材の存在により社内のイノベーションが誘発され、それにより生まれた新規事業を通して新しい価値を社会に提供してまいります。

#### 関連するSDGsのゴール



#### プロジェクトの紐付け

紐づけるプロジェクトを選択

#### 取り組み期間

2021/04/01



～

2030/03/31

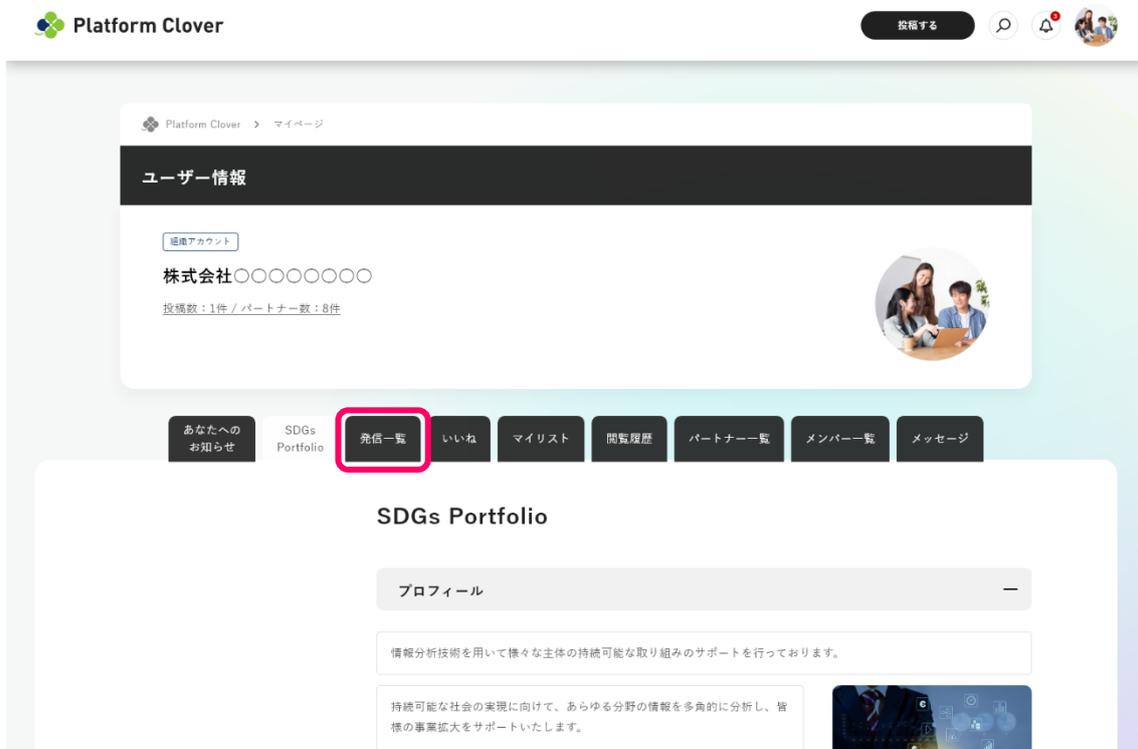


### III.4-4 発信一覧

発信一覧とは自身・自身が所属している組織が Platform Clover にて発信したプロジェクト、アクティビティ、ニュース、シーズの情報を確認・編集することができる機能のことです。ここでは発信一覧の利用方法（1. 発信の確認、2. 発信の編集、3. 発信の削除）を説明します。

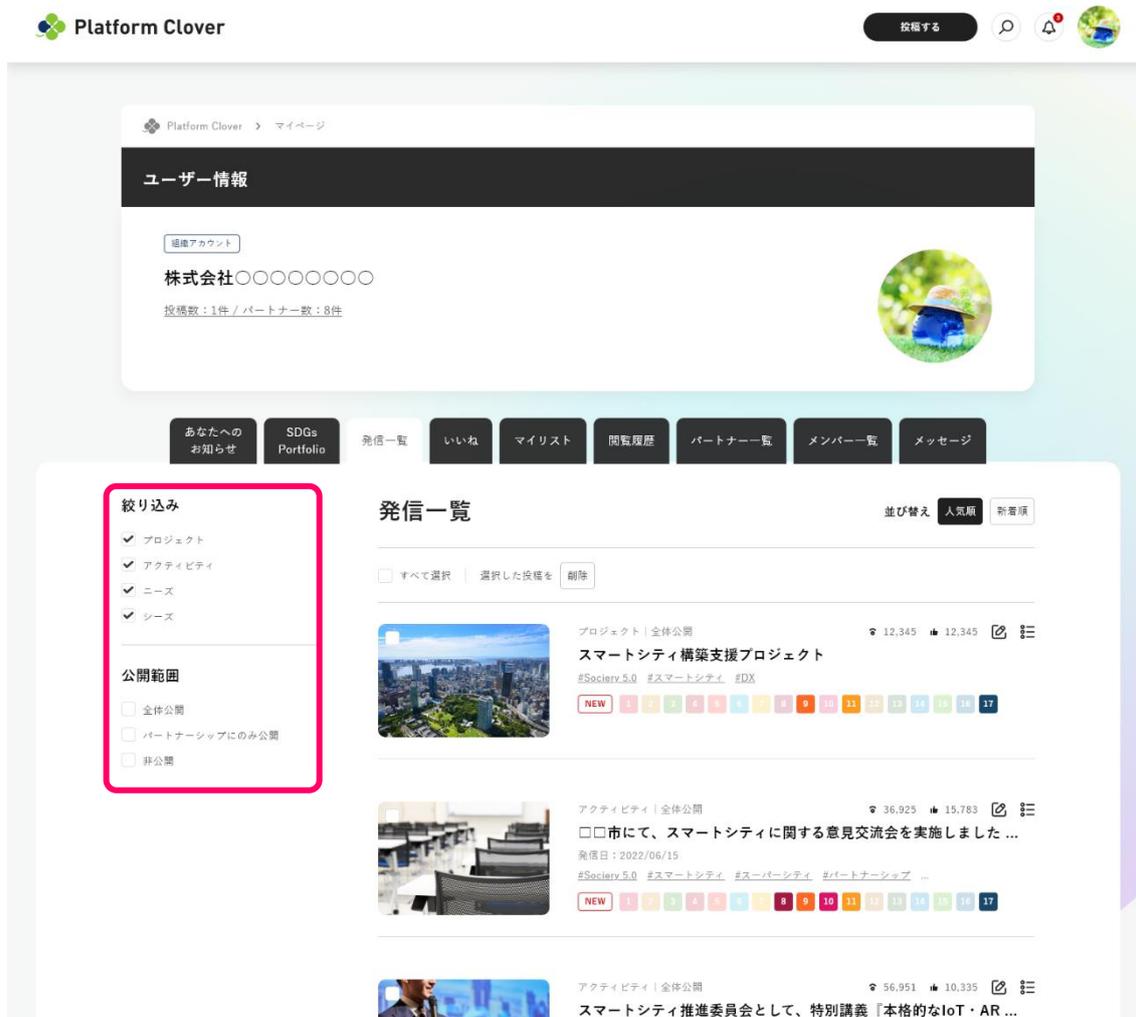
1. 発信の確認（今回は発信がある前提で説明します。）

**ステップ①**マイページの下部にあるタブから発信一覧をクリックし、発信一覧のタブに切り替え



# Platform Clover ユーザーマニュアル

発信一覧のサイドメニュー表示されている「絞り込み」のチェックボックスをクリックすることでプロジェクト、アクティビティ、ニーズ、シーズの表示を切り替えることができます。また、「公開範囲」のチェックボックスをクリックすることで発信に設定されているステータス「全体公開」「パートナーシップにのみ公開」「非公開」で表示を切り替えることもできます。



## 2. 発信の編集

## ステップ① 発信の右側に表示されている編集ボタンをクリック

Platform Clover ユーザー情報

株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

投稿数: 1件 / パートナー数: 8件

あなたへのお知らせ SDGs Portfolio 発信一覧 いいね マイリスト 閲覧履歴 パートナー一覧 メンバー一覧 メッセージ

絞り込み

- プロジェクト
- アクティビティ
- ニュース
- シーズ

公開範囲

- 全体公開
- パートナーシップのみ公開
- 非公開

発信一覧

並び替え 人気順 新着順

すべて選択 選択した投稿を 削除

プロジェクト | 全体公開 12,345 12,345 

スマートシティ構築支援プロジェクト

#Society 5.0 #スマートシティ #DX

アクティビティ | 全体公開 36,925 15,783 

〇〇市にて、スマートシティに関する意見交流会を実施しました ...

発信日: 2022/06/15

#Society 5.0 #スマートシティ #スーパーシティ #パートナーシップ ...

アクティビティ | 全体公開 56,951 10,335 

スマートシティ推進委員会として、特別講義「本格的なIoT・AR ...

I はじめに

II 概要

III アカウント作成  
ログイン方法

IV 情報の検索

V 情報の発信

VI よくある質問

VII 付録

## ステップ②編集画面にて情報を編集

(それぞれの発信における入力項目等は「V 情報の発信」を確認)

Platform Clover

### プロジェクト発信

企業・団体が所属している地域の目標達成の取組に由来し、取り組み、取り組みをまとめたプロジェクトとして発信することができます。プロジェクトを通じて取組の進捗を公開し、活動の進捗をリアルタイムで共有し、プロジェクトの目標を共有、進捗の把握を促すことで、取組の進捗を促すことができます。ユーザー間の交流が促進され、ユーザー間の取組の発展を促すことも、取組の進捗に繋がると考えられています。



#### プロジェクト名

スマートシティ実現推進プロジェクト

#### プロジェクト期間

開始日: 2020/04/01 一時的に: 2020/02/01

#### 活動目的

Normal B I U G H 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

目標達成に向けて取り組む取組の進捗を共有し、活動の進捗をリアルタイムで共有し、プロジェクトの目標を共有、進捗の把握を促すことで、取組の進捗を促すことができます。ユーザー間の交流が促進され、ユーザー間の取組の発展を促すことも、取組の進捗に繋がると考えられています。

#### 活動内容

Normal B I U G H 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

取組の進捗を共有し、活動の進捗をリアルタイムで共有し、プロジェクトの目標を共有、進捗の把握を促すことで、取組の進捗を促すことができます。ユーザー間の交流が促進され、ユーザー間の取組の発展を促すことも、取組の進捗に繋がると考えられています。

#### 関連するSDGsのゴール・ターゲット

1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう  
（セグメント） 気候変動、資源効率、環境持続可能な産業の発展及びイノベーションの推進を促す

11. 住み続けられるまちづくりを  
気候変動に左右される脆弱な都市と地域を強化し、レジリエントなコミュニティを構築する

17. パートナリーシップで目標を達成しよう  
持続可能な開発のための取組を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

ターゲットを選択

#### アクションボタン設定

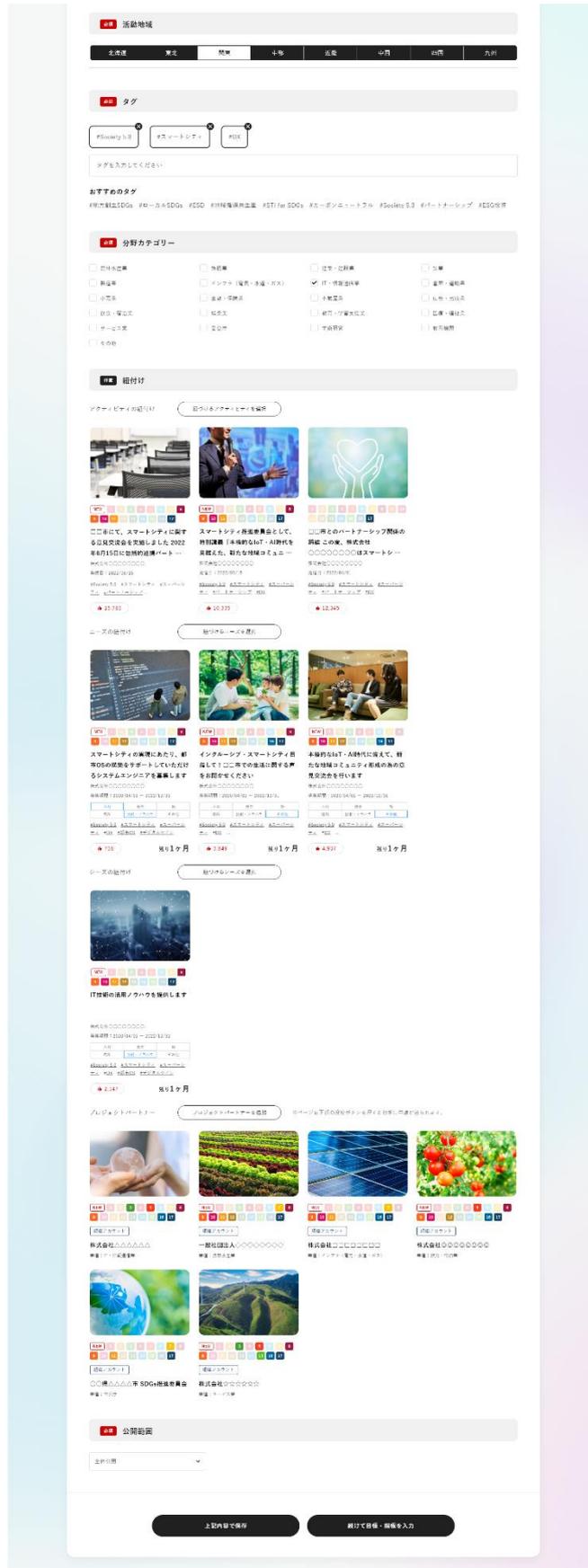
プロジェクト詳細に設定したアクションボタンを設定できます。  
他からのユーザーからアクションボタンを必要としない場合は設定は必要ありません。

設定済みのボタンを使用する  プロジェクト専用のボタンを使用する  メンバーの投稿に紐づくボタンを使用する  カスタムボタンを使用する

#### TIPS

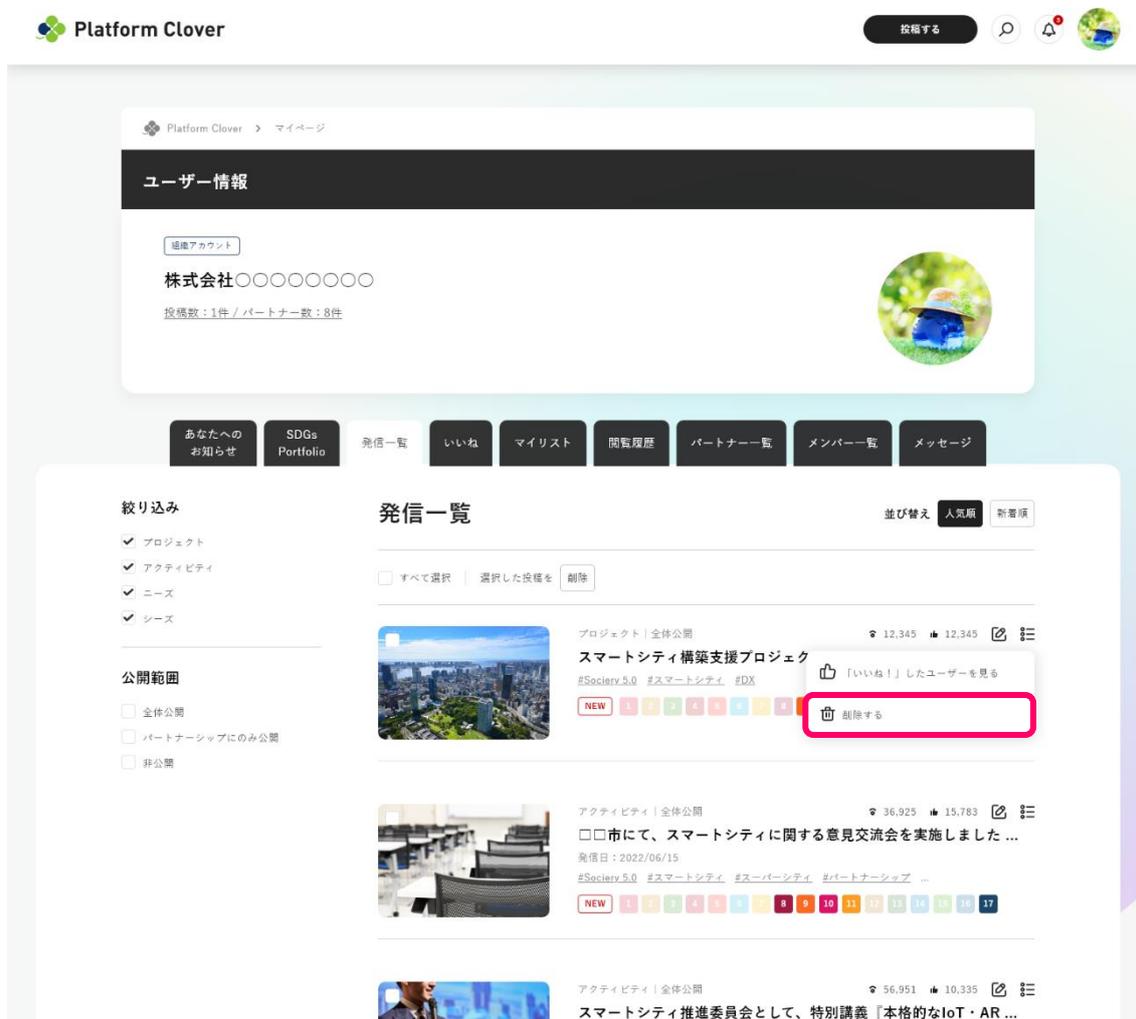
1. プロジェクトの進捗をリアルタイムで共有し、活動の進捗をリアルタイムで共有し、プロジェクトの目標を共有、進捗の把握を促すことができます。
2. プロジェクトの進捗をリアルタイムで共有し、活動の進捗をリアルタイムで共有し、プロジェクトの目標を共有、進捗の把握を促すことができます。
3. プロジェクトの進捗をリアルタイムで共有し、活動の進捗をリアルタイムで共有し、プロジェクトの目標を共有、進捗の把握を促すことができます。

- はじめに
- 概要
- アカウント作成方法
- 情報の検索
- 情報の発信
- よくある質問
- 付録

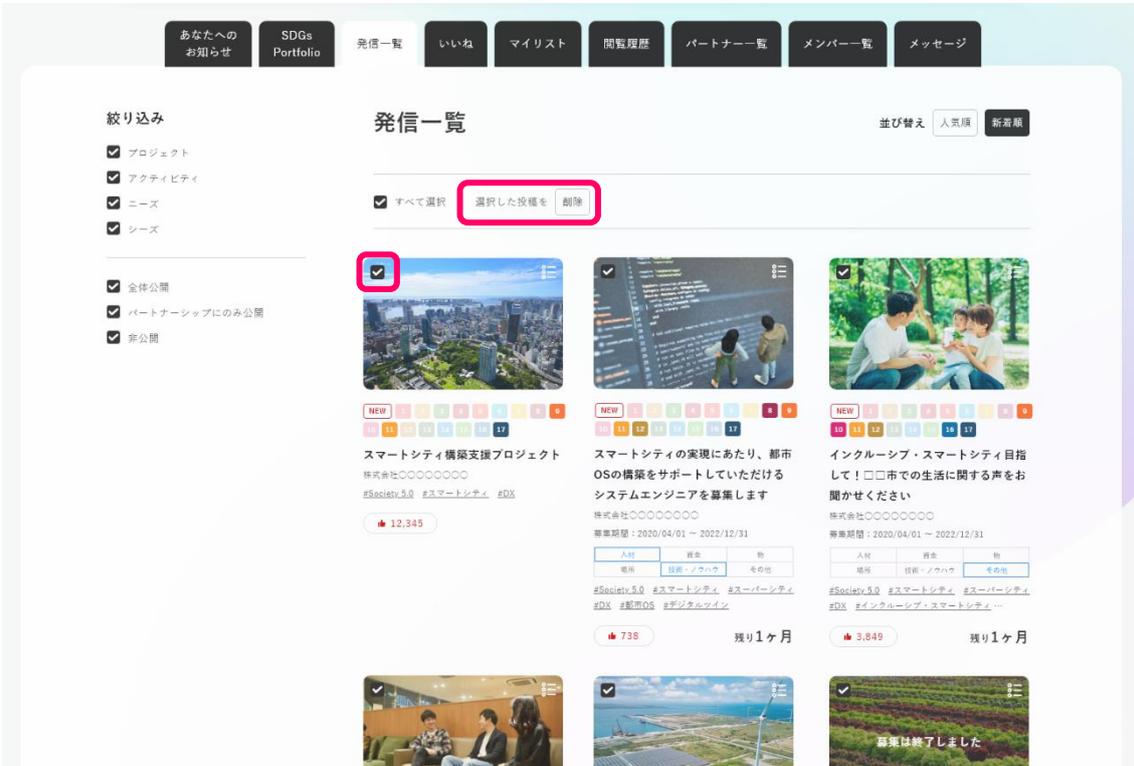


## 3. 発信の削除

単体で削除する場合は各発信のメニューボタンをクリックし、ポップアップで表示される「削除する」から削除できます。



まとめて削除する場合はサムネイルに表示されているチェックボックスにチェックを入れ、「選択した投稿を削除」ボタンから削除します。



### III.4-4 アカウント情報

アカウント情報とは自身・自身が所属している組織のマイページ上で公開・非公開を選択できる情報（職業区分や業種区分等）のことを指します。自身・自身が所属している組織のマイページの編集にて、「公開」として設定した情報がアカウント情報として Platform Clover 上に公開されます。（初期状態では全てのアカウント情報が非公開で設定されています。非公開が選択されている場合は、情報は公開されません。）個人アカウント・組織アカウントのアカウント情報として「公開・非公開」を選択できる情報は以下の通りです。

アカウント	項目
個人アカウント	職業区分、業種区分、役職
組織アカウント	組織規模、業務内容、所在地、電話番号、URL

# Platform Clover ユーザーマニュアル

## 1. アカウント情報の公開・非公開の選択

ステップ①マイページの右側にある歯車をクリックし、「マイページ編集」をクリック



ステップ②アカウント情報として公開できる項目の右側に表示される「公開・非公開」のドロップダウンリストから公開を選択し、マイページの編集を保存

**必須** 法人格

選択してください

**必須** 業種

選択してください

非公開

**必須** 法人番号

000000000000000000 > 法人番号の検索

学生団体・法人登録していない団体の場合はチェック

**任意** 組織規模

選択してください

非公開

**必須** 所在地

T 00000000 検索 都道府県など

非公開

市区町村まで

番地まで

郵便番号まで記入してください



ステップ③ユーザーページでは公開ステータスに合わせて情報が表示/非表示されます

I はじめに

II 概要

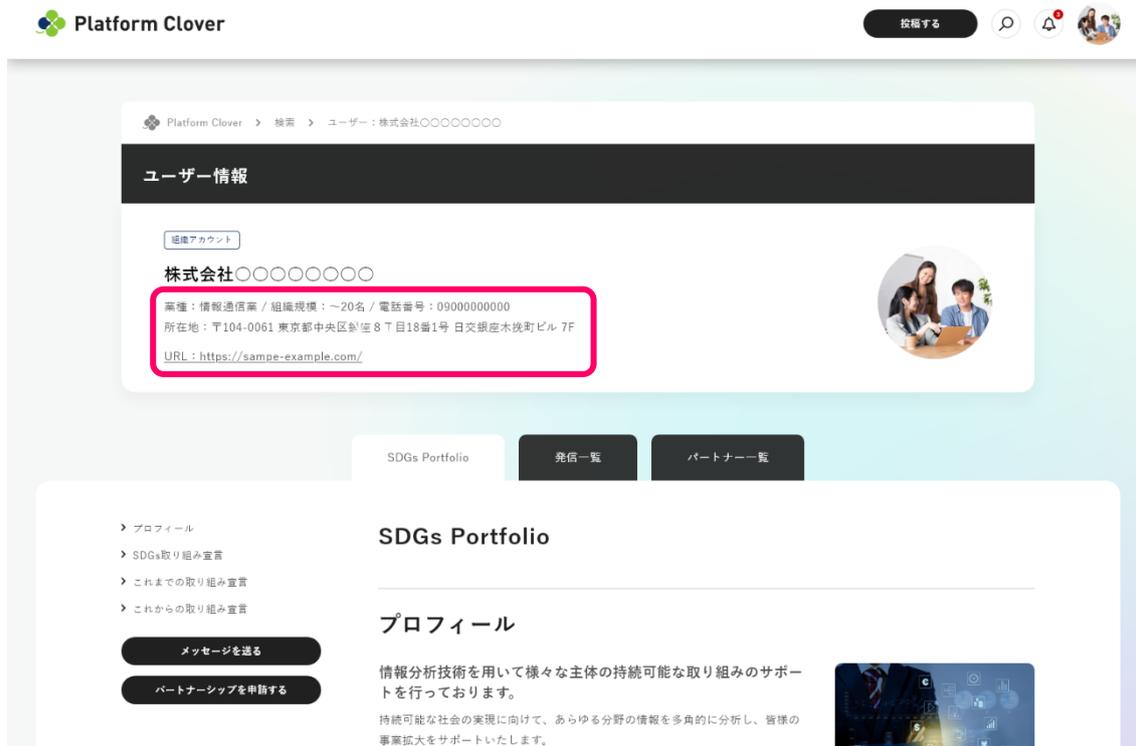
III アカウント作成  
ログイン方法

IV 情報の検索

V 情報の発信

VI よくある質問

VII 付録



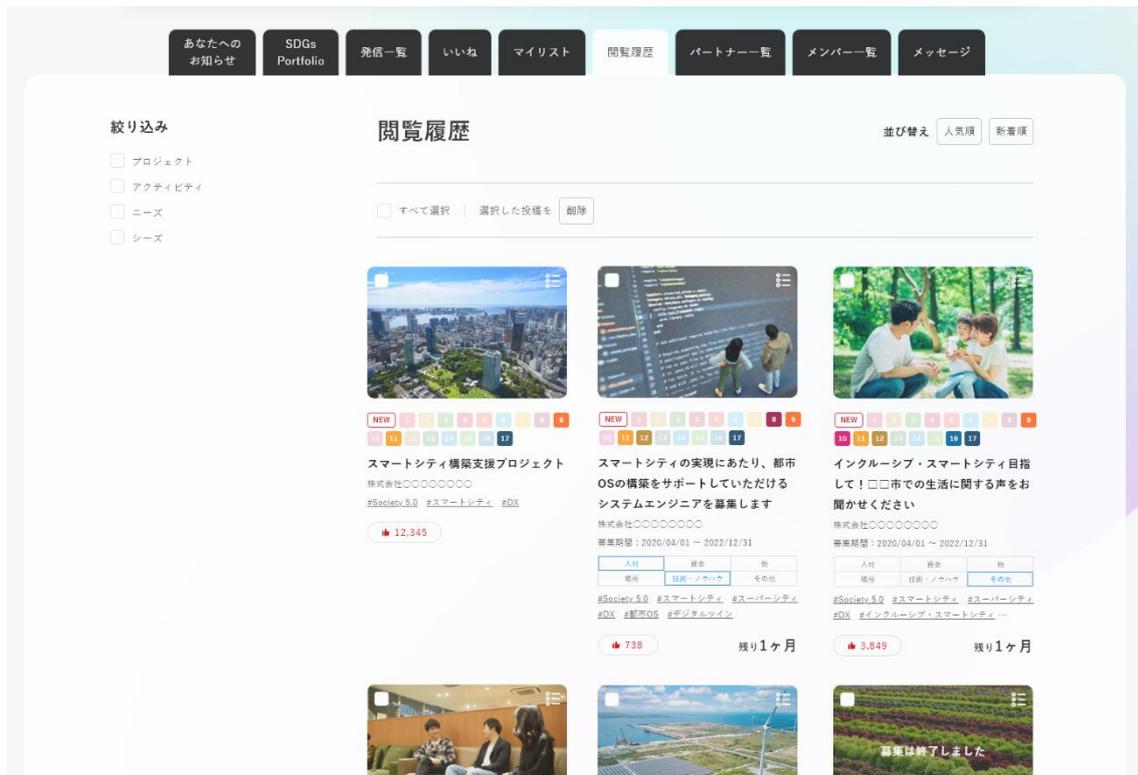
## Ⅲ.4-6 閲覧履歴

閲覧履歴では、過去に検索したプロジェクト、アクティビティ、ニーズ、シーズ内容を確認することができます。履歴として保持できる最大件数は1,050件（1ページ21件×50ページ分）、期間は3年分を保持し上限を超えた場合は履歴から削除されます。

### ステップ① マイページから「閲覧履歴」をクリックし、履歴を確認します

表示される画像やタイトルをクリックすることで、該当の詳細ページに移動します。

プロジェクト、アクティビティ、ニーズ、シーズは混合で表示されますが、画面左の絞り込み機能で表示内容の選択が可能です。



### III.4-7 パートナー一覧

パートナー一覧では、自身・自身が所属している組織が”送信した”もしくは”他のユーザーから受け取った”パートナーシップ申請を管理する画面です。

(プロジェクトパートナーについては、「III.1-2-2 パートナー、プロジェクトパートナーとは」をご確認ください。)

#### 1. 他のユーザーから受け取ったパートナーシップ申請の管理

**パターン① ヘッダーかマイページの「あなたへのお知らせ」からメッセージ経由で承認**  
 パートナーシップ申請が届いた場合は、ヘッダーかマイページの「あなたへのお知らせ」へ通知が届きます。

# Platform Clover ユーザーマニュアル

Ⅰ はじめに

Ⅱ 概要

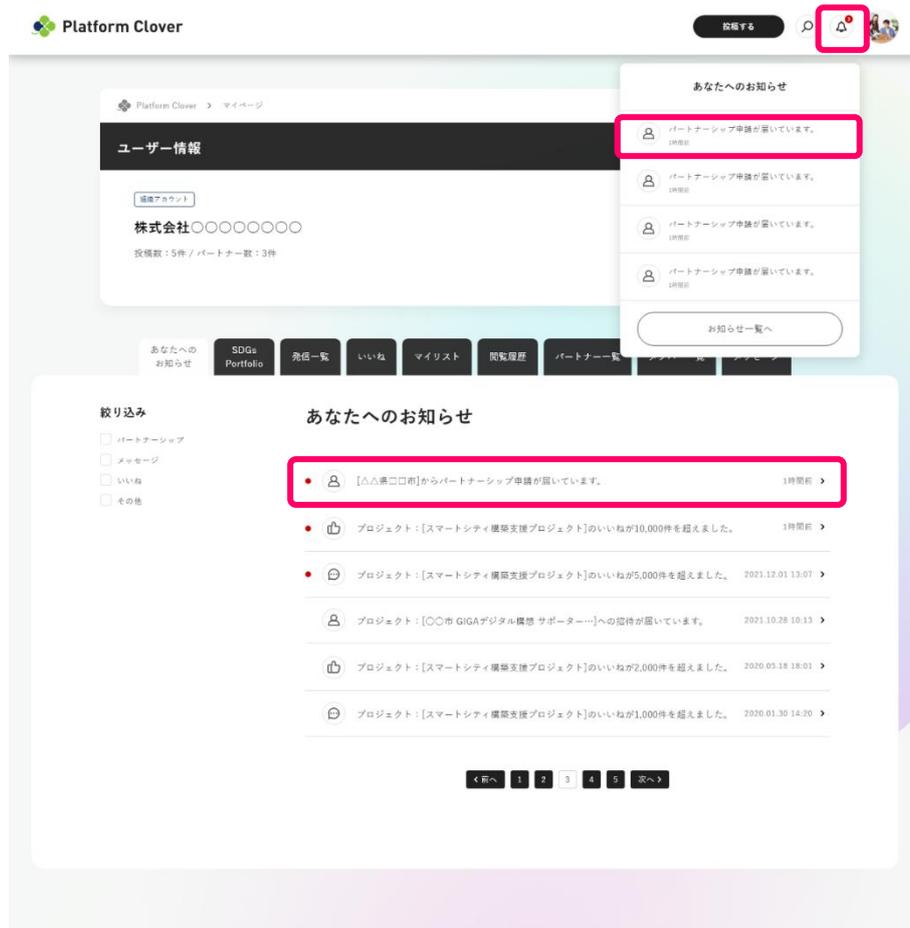
Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法

Ⅳ 情報の検索

Ⅴ 情報の発信

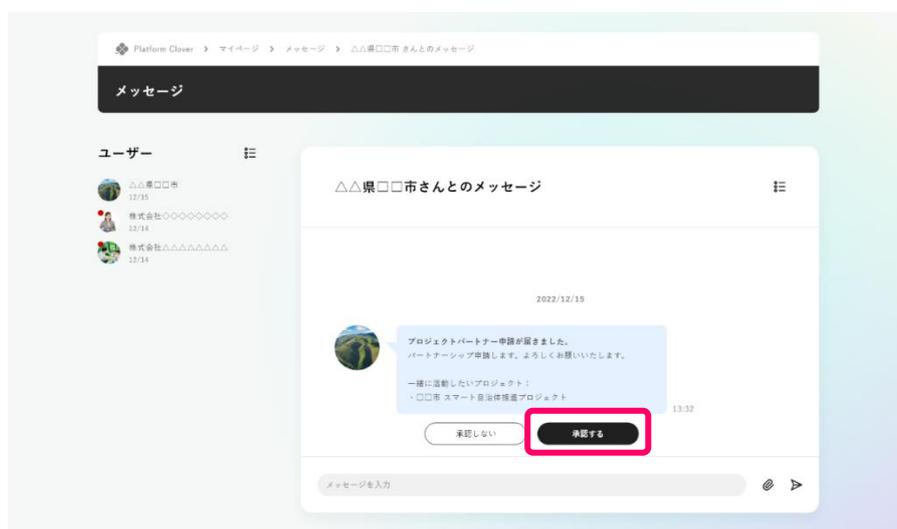
Ⅵ よくある質問

Ⅶ 付録



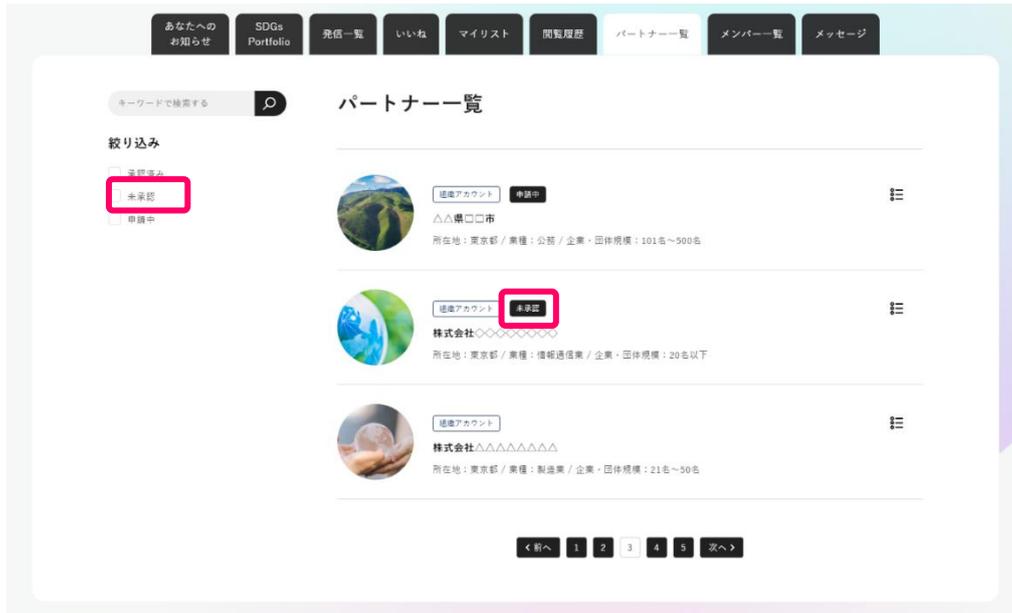
通知をクリックするとメッセージ画面へ遷移します。

他のユーザーからのパートナー申請メッセージから「承認する」でパートナー締結は完了です。(誤って「承認しない」をクリックしてしまった場合はパートナー申請を送りなおすか、相手に再送を依頼してください。)



## パターン② マイページの「パートナー一覧」からメッセージ経由で承認

パートナーシップ申請が届いた場合、マイページの「パートナー一覧」からも未承認ステータスのユーザーが確認できます。(絞り込みで「未承認」のみを選択することで未承認ユーザーに絞ることができます。)

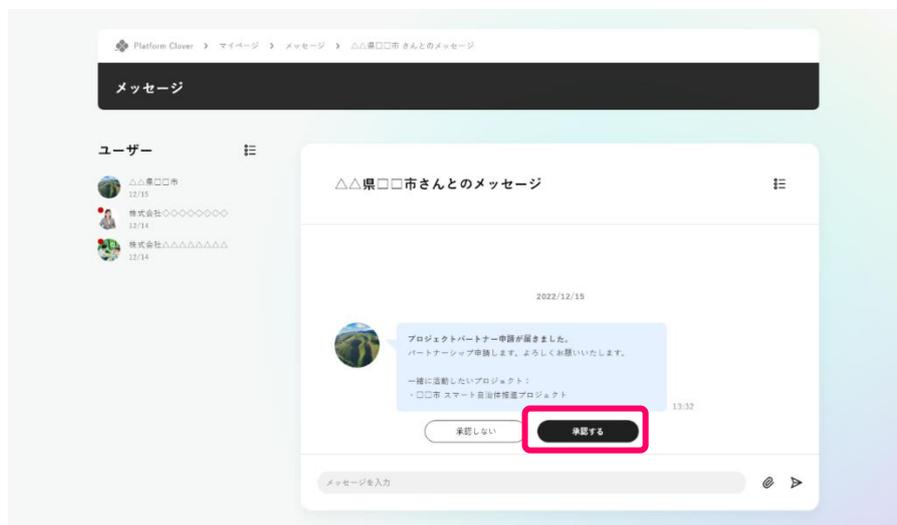


未承認ユーザーはメニューボタンをクリックして表示される「申請内容を確認する」を選択することでメッセージ画面へ遷移します。



## Platform Clover ユーザーマニュアル

他のユーザーからのパートナー申請メッセージから「承認する」でパートナー締結は完了です。（誤って「承認しない」をクリックしてしまった場合はパートナー申請を送りなおすか、相手に再送を依頼してください。）



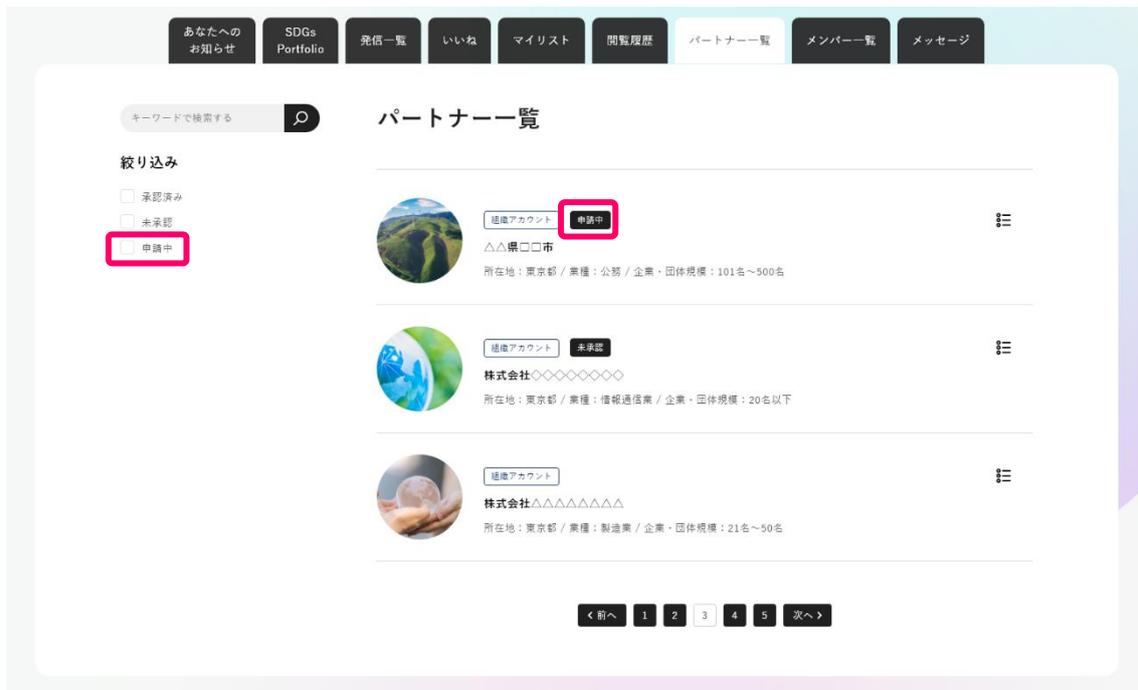
「承認する」をクリックした後は、パートナー一覧からアイコンが消えパートナーとして表示されます。

また、承認済みユーザーで「パートナー解除」をクリックすると未承認状態となり、再度パートナーシップを締結するにはパートナー申請を送りなおすか相手に再送を依頼し、承認される必要があります。



## 2. 他のユーザーに送信したパートナーシップ申請の管理

マイページの「パートナー一覧」には未承認と同様、パートナーシップ申請中のユーザーも確認ができます。（絞り込みで「申請中」のみを選択することで申請中ユーザーに絞ることができます。）



送信した申請が相手に承認されると、パートナー一覧からアイコンが消えパートナーとして表示されます。

# Platform Clover ユーザーマニュアル

申請中のパートナーは「申請取り下げ」をクリックすると、送信したパートナー申請を取り消すことができます。



## 3. パートナーシップの申請方法

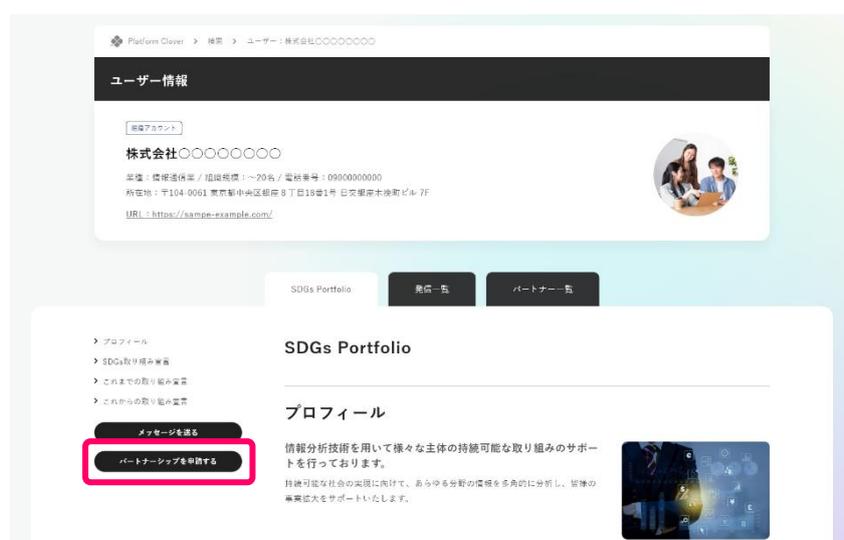
パートナーシップの申請は

- ・ ユーザー詳細
- ・ プロジェクト詳細（パートナー募集中のプロジェクトのみ）

から申請が可能です。

### パターン① ユーザー詳細からパートナーシップを申請する場合

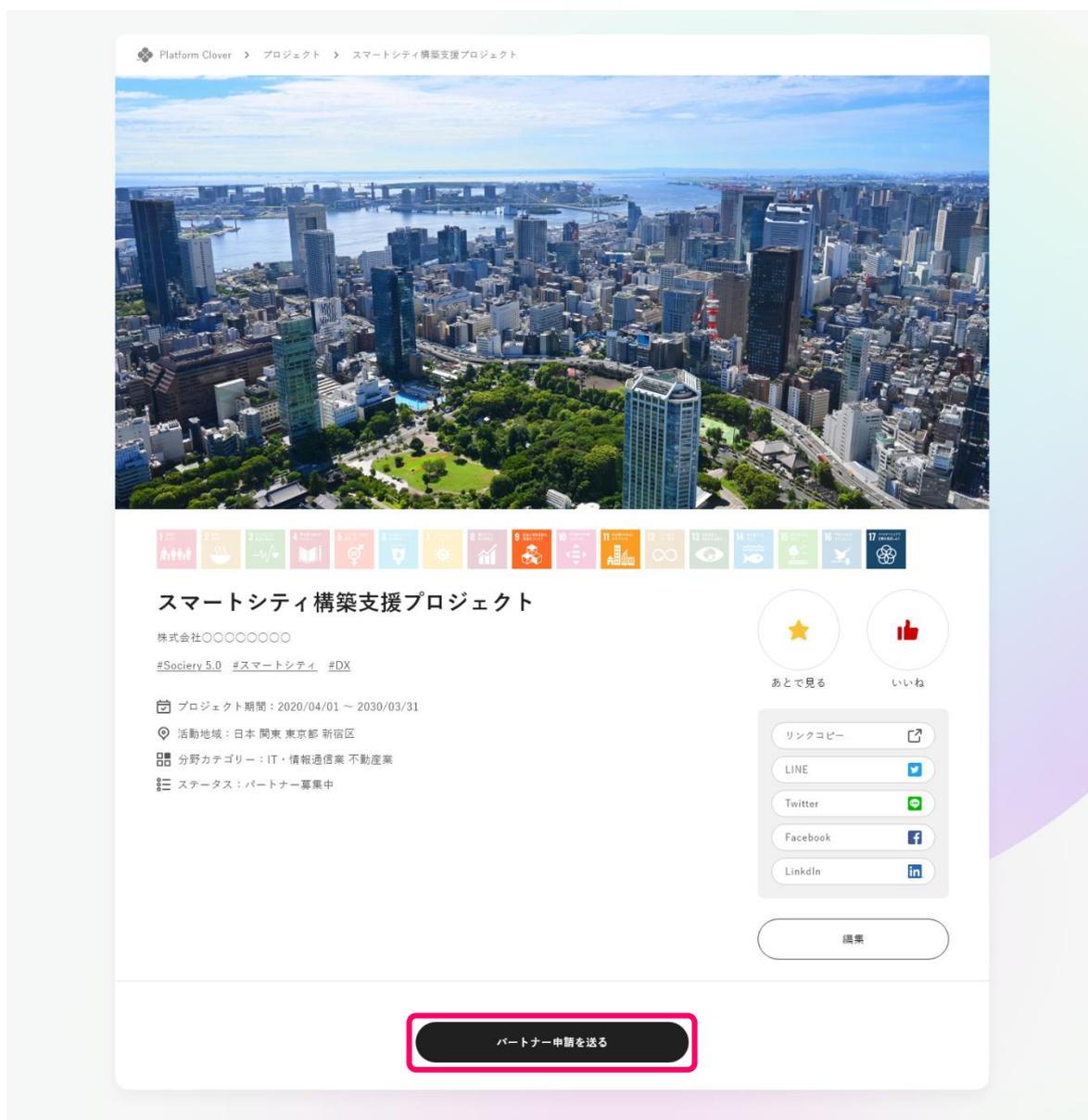
ユーザー詳細画面左の「パートナーシップを申請する」ボタンから申請が可能です。



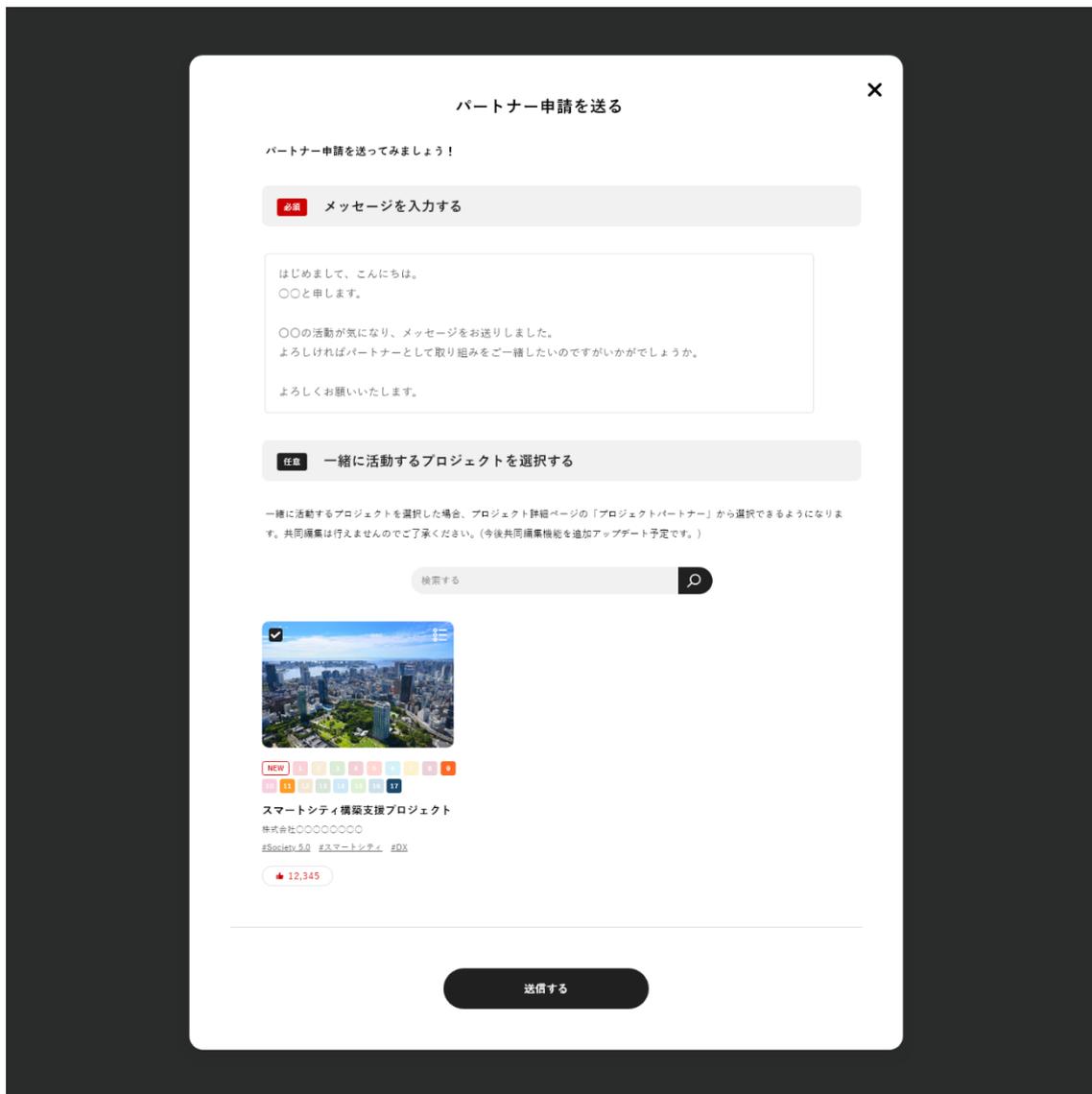


## パターン② プロジェクト詳細からパートナーシップを申請する場合

パートナーを募集しているプロジェクトでは、プロジェクト詳細に「パートナー申請を送る」ボタンが表示されています。



「パートナーシップを申請する」ボタンをクリックすると申請ダイアログが表示されます。メッセージと、一緒に活動したいプロジェクトがある場合はクリックして選択してください。（メッセージは相手のメッセージ画面へ送信されます。円滑なパートナーシップを結ぶ為、背景や目的を記載いただくことをおすすめします。メッセージ機能については「III 4-8 メッセージ」をご確認ください。）

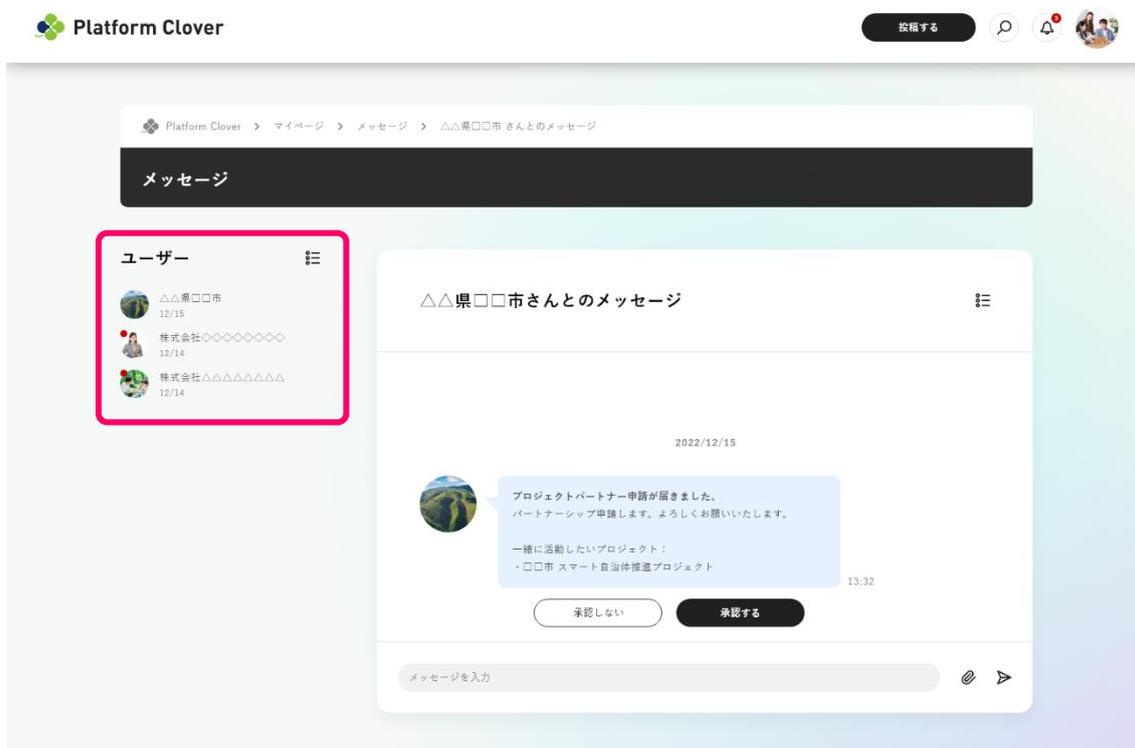


## III.4-8 メッセージ一覧

メッセージ一覧とは自身・自身が所属している組織等が送信したメッセージ、もしくは他のユーザーから受け取ったメッセージを管理し、Platform Clover 上で他のユーザーとやり取りを交わす機能のことを指します。

### ステップ① メッセージ画面からユーザーをクリックし、メッセージを確認

メッセージ画面では左側の「ユーザー」を選択して、対象のユーザーとメッセージのやり取りができます。新規メッセージが他のユーザーから届いている場合は、ユーザーアイコンの上に赤色の●が付きます。



メッセージ画面に表示されていないユーザーと連絡を取る場合は、対象のユーザーのユーザー詳細画面にある「メッセージを送る」から連絡を取ってください。

Platform Clover > 検索 > ユーザー: 株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

### ユーザー情報

[組織アカウント](#)

**株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇**

業種: 情報通信業 / 組織規模: ~20名 / 電話番号: 09000000000  
所在地: 〒104-0061 東京都中央区銀座 8丁目18番1号 日交銀座木挽町ビル 7F  
URL: <https://sampe-example.com/>

SDGs Portfolio 発信一覧 パートナー一覧

- > プロフィール
- > SDGs取り組み宣言
- > これまでの取り組み宣言
- > これからの取り組み宣言

**メッセージを送る**

パートナーシップを申請する

### SDGs Portfolio

#### プロフィール

情報分析技術を用いて様々な主体の持続可能な取り組みのサポートを行っております。

持続可能な社会の実現に向けて、あらゆる分野の情報を多角的に分析し、皆様の事業拡大をサポートいたします。

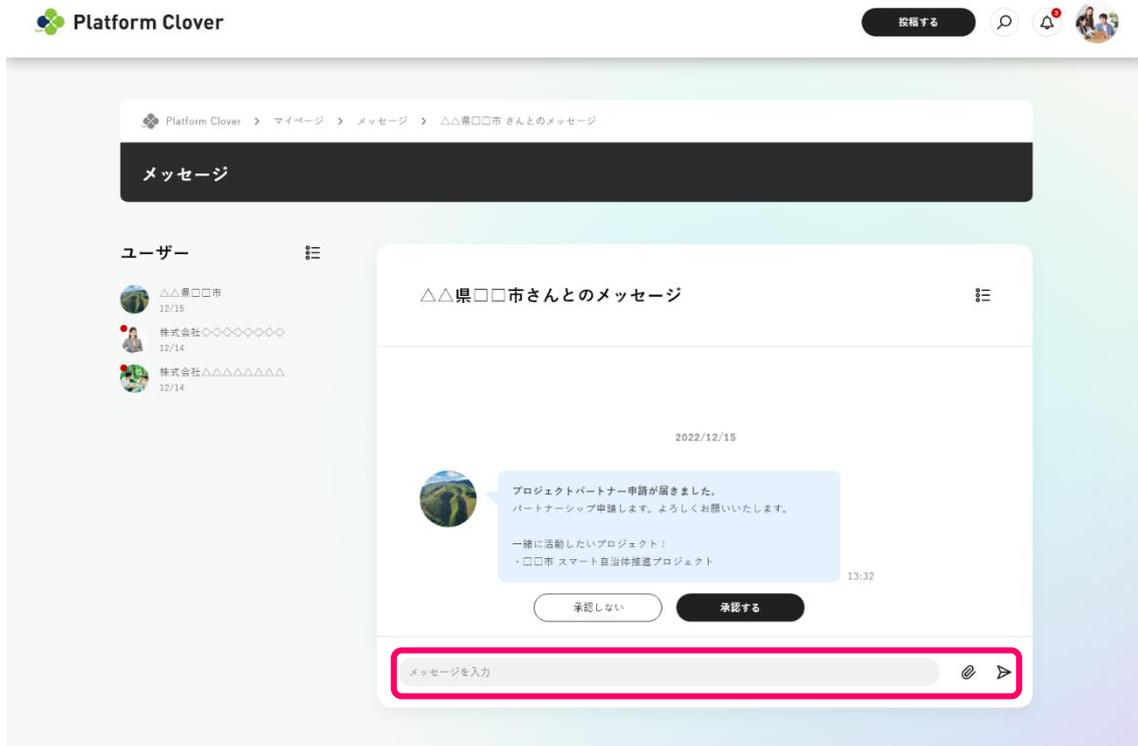
## Platform Clover ユーザーマニュアル

左側のユーザー一覧にあるメニューをクリックすることで、「すべてのメッセージ」「未読のメッセージ」「ブロックしたメッセージ」のリストが表示され、いずれかを選択することでメッセージ一覧に表示する情報を絞り込むことができます。

項目名	詳細
すべてのメッセージ	未読・既読のメッセージを含めたすべてのメッセージを表示
未読のメッセージ	未読のメッセージのみ表示
ブロックしたメッセージ	ブロックしたメッセージのみ表示



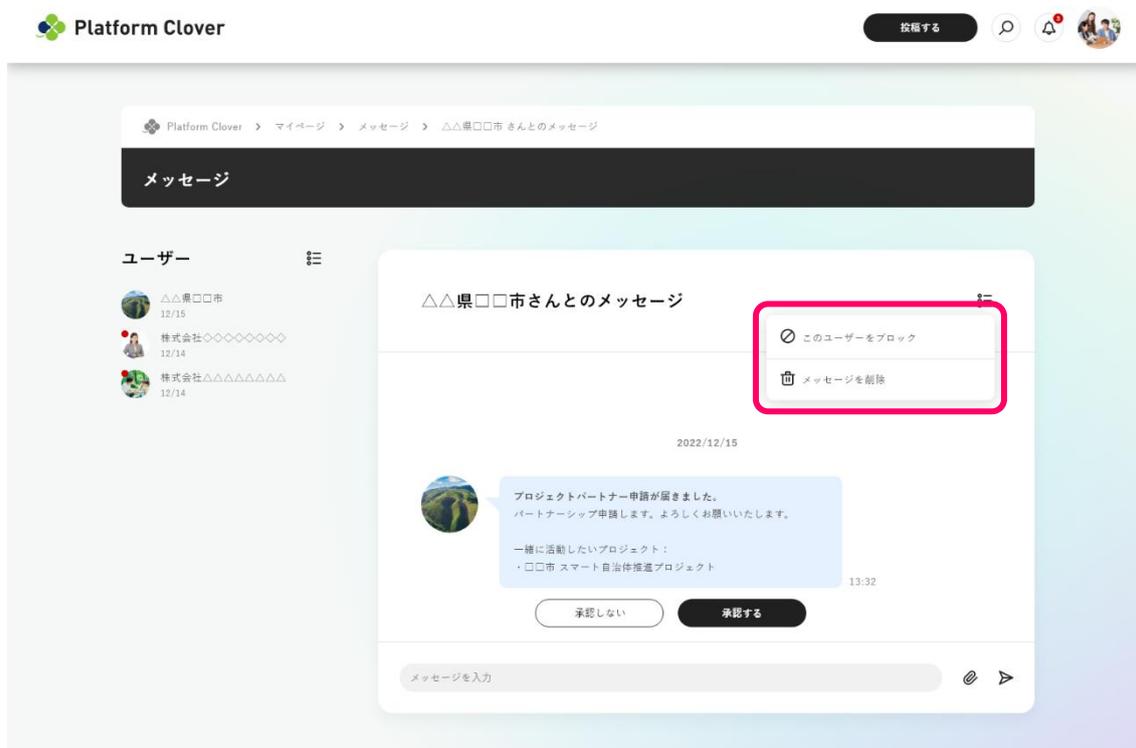
メッセージは右側の送信フォームから送ることができます。  
ファイルを送る場合はテキストボックス右のクリップマークを選択して添付してください。  
(ファイルは1回の送信につき1件のみ、最大200MB、jpg, png, gif, pdf, doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx 形式のファイルが添付可能です。)



メッセージ欄の右上にあるメニューをクリックすることで、「このユーザーをブロック」「メッセージを削除」のリストが表示され、いずれかを選択することで、メッセージをブロック、もしくはメッセージの削除を行うことができます。

# Platform Clover ユーザーマニュアル

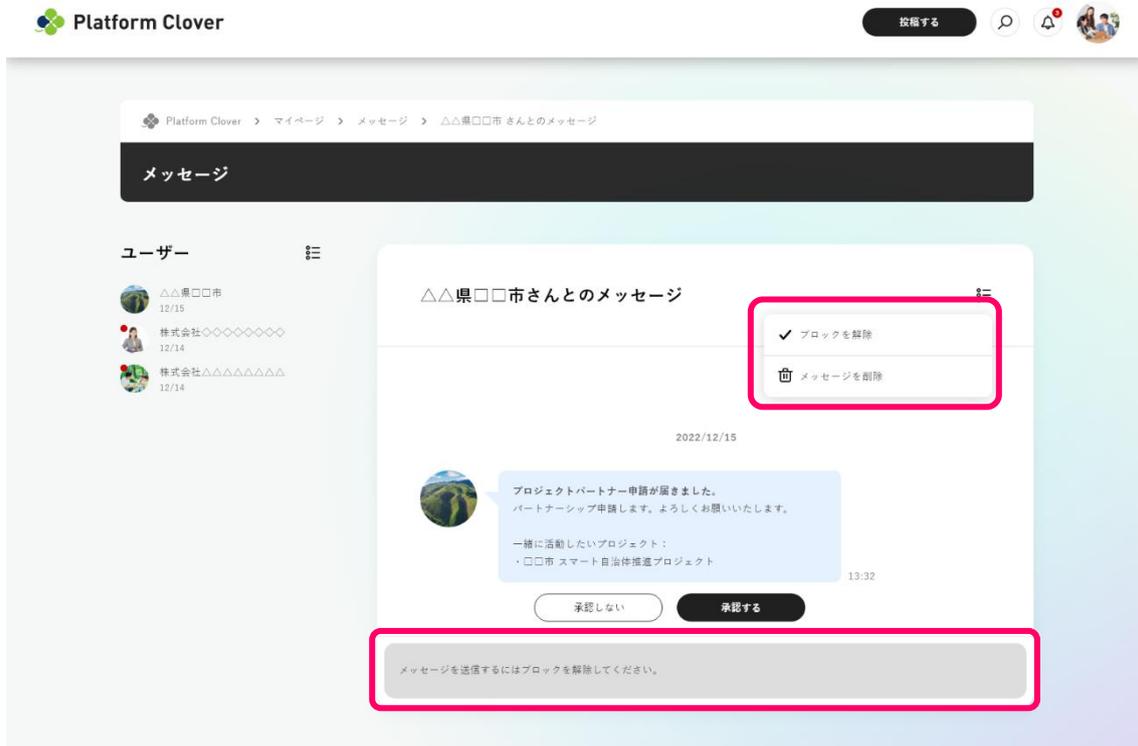
- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録



項目名	詳細
メッセージのブロック	<p>ブロックしたユーザーからメッセージの受信を拒否できます。                      (ブロックを解除したい場合はメニューをクリックし、「ブロックを解除」ボタンから解除可能です。)</p> <p>なお、ブロックは相手ユーザーには通知されません。</p>
メッセージの削除	<p>選択したユーザーのメッセージを削除できます。                      (メッセージ削除を確認するポップアップ等は表示されませんので、操作にはご注意ください。)</p> <p>(メッセージは1件ずつの選択はできず、すべて削除されます。)</p>

メッセージをブロックした場合は以下のように表示されます。

右上のメニューから「ブロックを解除」をクリックすることで、再度メッセージの送受信が可能になります。



### III.4-9 メンバー一覧（組織アカウントのみ）

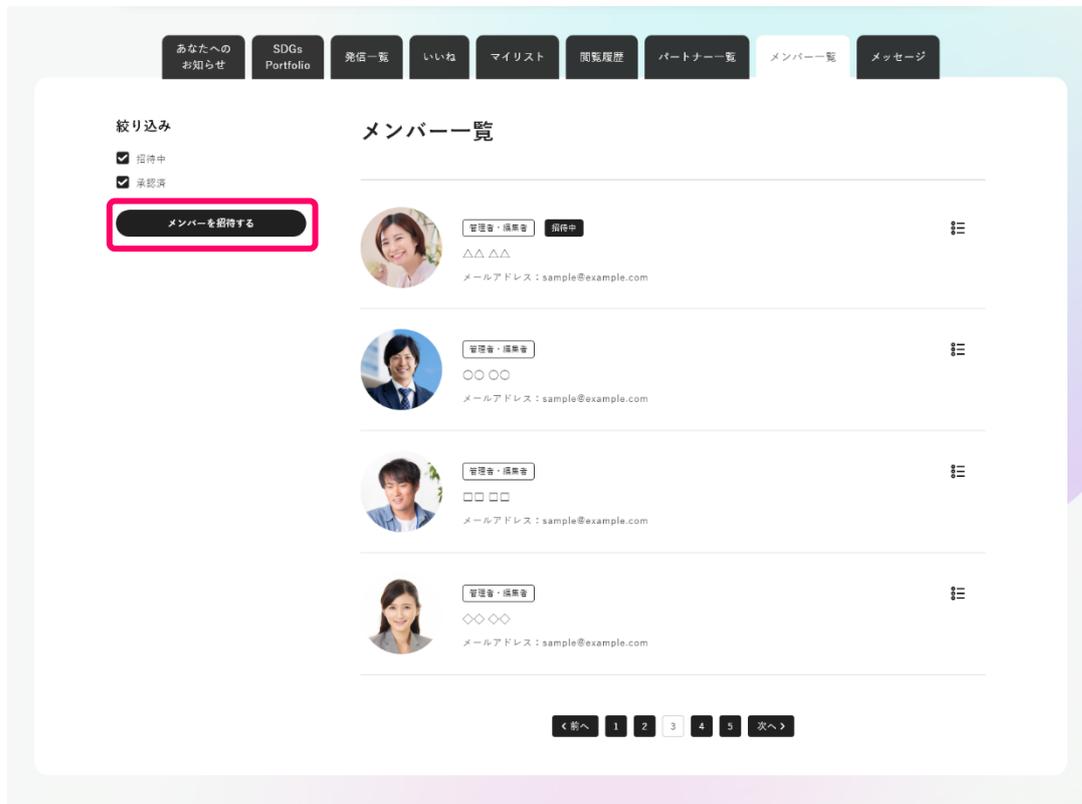
マイページのメンバー一覧では、組織アカウントを共同で管理・編集する個人アカウントを管理できます。

#### 1. アカウントの招待（”管理者・編集者”権限のみ）

組織アカウントの”管理者・編集者”権限を持っている場合、他のアカウントを招待できません。

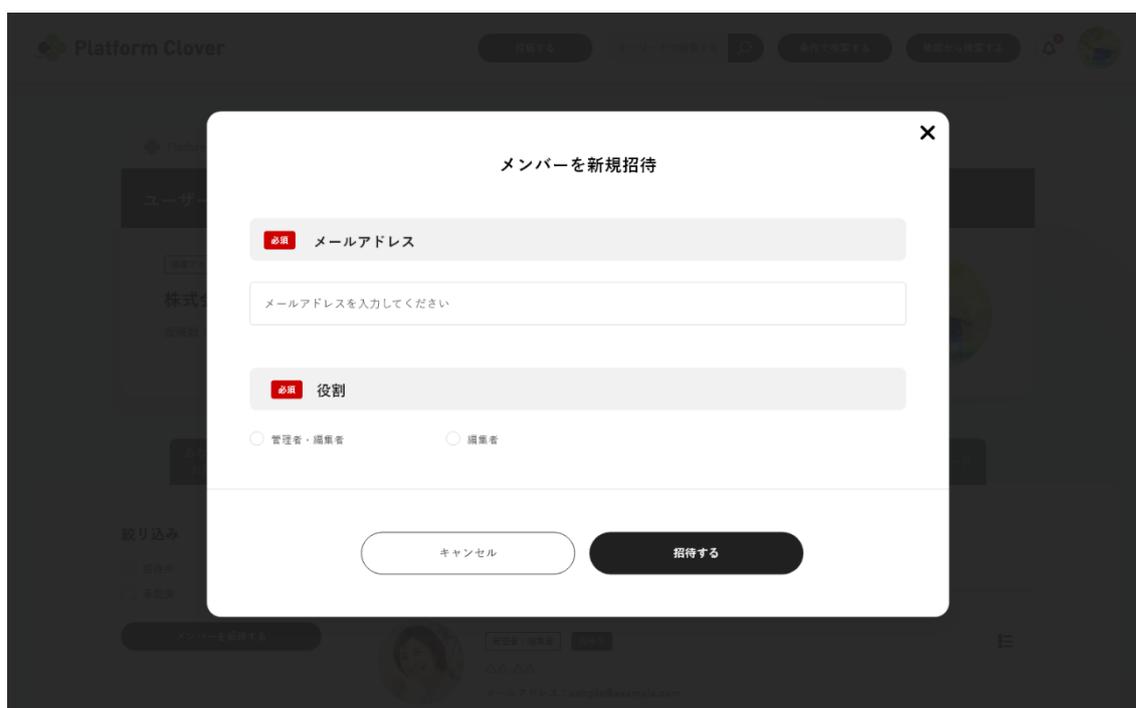
- はじめに
- 概要
- アカウント作成
- 情報の検索
- 情報の発信
- よくある質問
- 付録

ステップ① メンバー一覧画面の「メンバーを招待する」ボタンでメンバーを招待



ステップ② メンバー招待ダイアログへメールアドレス、役割(権限)を入力して招待

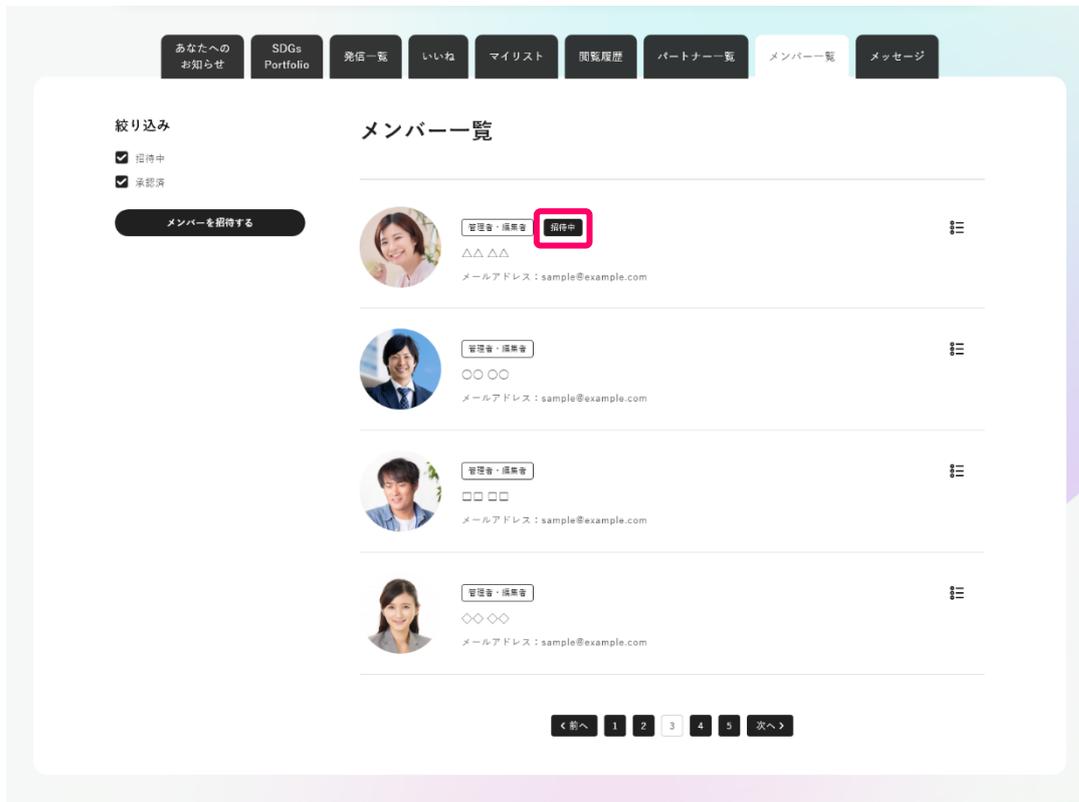
(「キャンセル」や右上の「×」をクリックすることで、操作をキャンセルできます。)



管理者・編集者と編集者の権限は以下の通りになります。

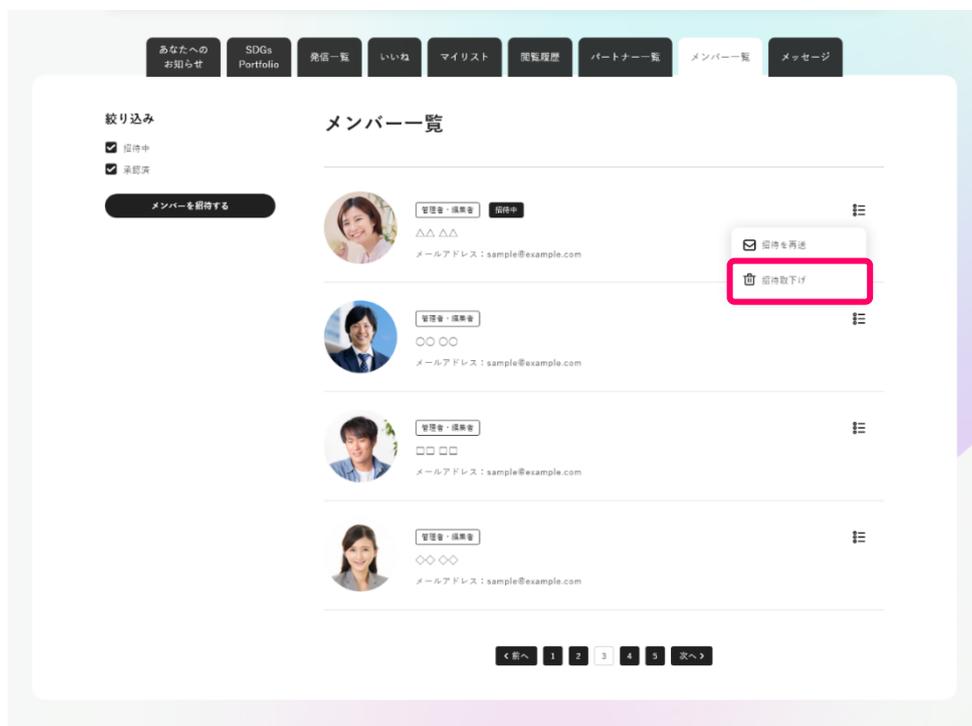
役割	詳細
管理者・編集者	編集者の権限に加えて、発信情報の編集、パートナーの申請や承認、メンバー管理にて、個人アカウントの招待や削除、発信情報の編集等が可能です。
編集者	組織アカウントにおけるプロジェクト発信、アクティビティ発信、ニーズ発信、シーズ発信といった情報の発信や SDGs Portfolio の編集、情報の検索のみが可能です。

招待が送信されると、承認されるまではメンバー一覧に「招待中」のアイコン付で表示されます。(承認後にアイコンは外れます。)

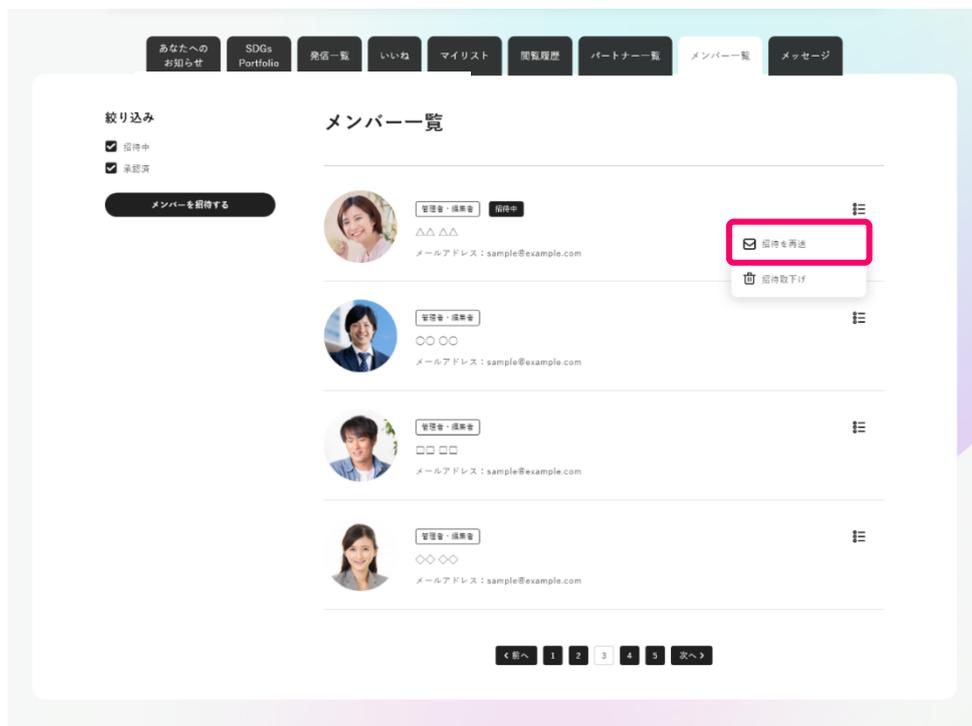


# Platform Clover ユーザーマニュアル

招待中をキャンセルする場合は対象のユーザーのメニューをクリックし、「招待取下げ」でキャンセルできます。



もし相手から再送希望があった場合は同じくメニューの「招待を再送」から招待可能です。



## 2. メンバー招待の承認

メンバーに招待された場合は下記のいずれかから確認できます。

- ・ヘッダー、もしくはマイページの「あなたへのお知らせ」
- ・メールでの招待

### パターン① ヘッダー、もしくはマイページの「あなたへのお知らせ」から確認

ヘッダーのベルマーク、マイページで確認できる「あなたへのお知らせ」でメンバー招待通知を確認できます。

The screenshot displays the Platform Clover user interface. At the top, the 'Platform Clover' logo is on the left, and navigation icons (home, search, notifications, profile) are on the right. The main content area is divided into two sections: 'ユーザー情報' (User Information) and 'あなたへのお知らせ' (Notifications).

**ユーザー情報 (User Information):**

- Platform
- ユーザー情報
- 連絡アカウント
- 株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 投稿数: 5件 / パートナー数: 3件

**あなたへのお知らせ (Notifications):**

The notification list is shown in two views: a compact view in the top right and a detailed view in the bottom center. The detailed view includes a '絞り込み' (Filter) section with options for 'パートナーシップ', 'メッセージ', 'いいね', and 'その他'.

The notification list in the detailed view contains the following items:

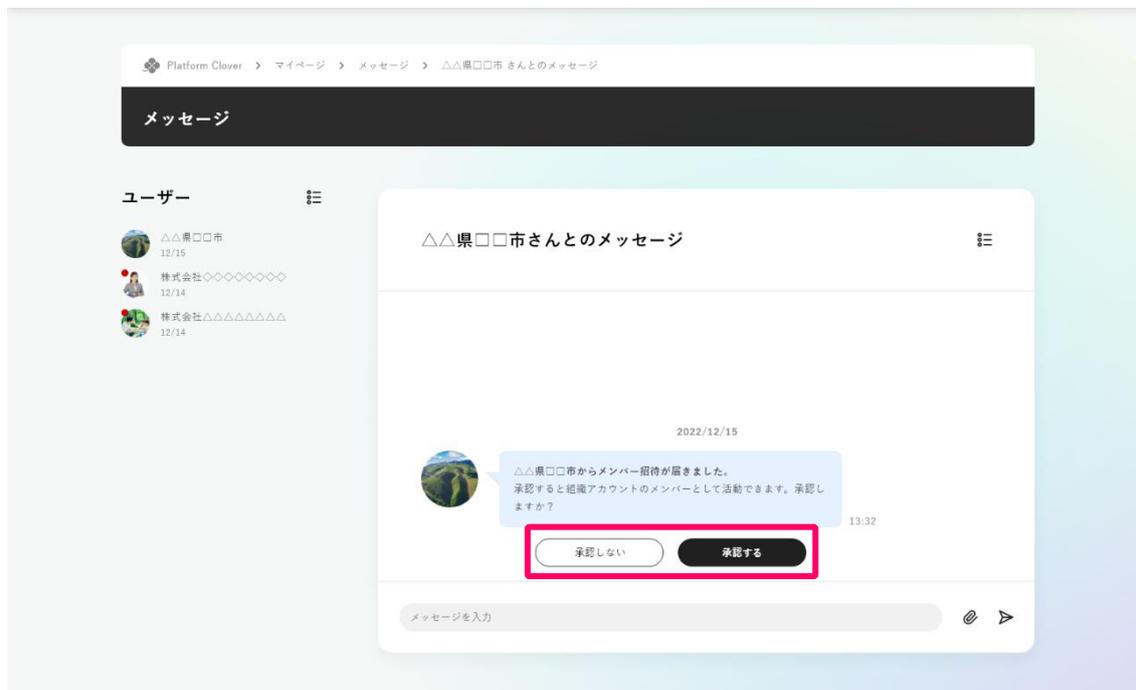
- △△県〇〇市からパートナーシップ申請が届いています。 1時間前
- 株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇へのメンバー招待が届いています。 1時間前
- プロジェクト: スマートシティ構築支援プロジェクトのいいねが5,000件を超えました。 2021.12.01 13:07
- プロジェクト: 〇〇市 GIGAデジタル構想 サポーターへの招待が届いています。 2021.10.28 10:13
- プロジェクト: [スマートシティ構築支援プロジェクト]のいいねが2,000件を超えました。 2020.05.18 18:01
- サステナブル 太郎 からメッセージが届いています。 2020.01.30 14:20

Navigation buttons at the bottom of the notification list include '< 前へ', '1', '2', '3', '4', '5', and '次へ >'.

## Platform Clover ユーザーマニュアル

通知をクリックするとメッセージ画面へ遷移します。

他のユーザーからのメンバー招待メッセージから「承認する」で組織への参加は完了です。(誤って「承認しない」をクリックしてしまった場合は、相手に再送を依頼してください。)

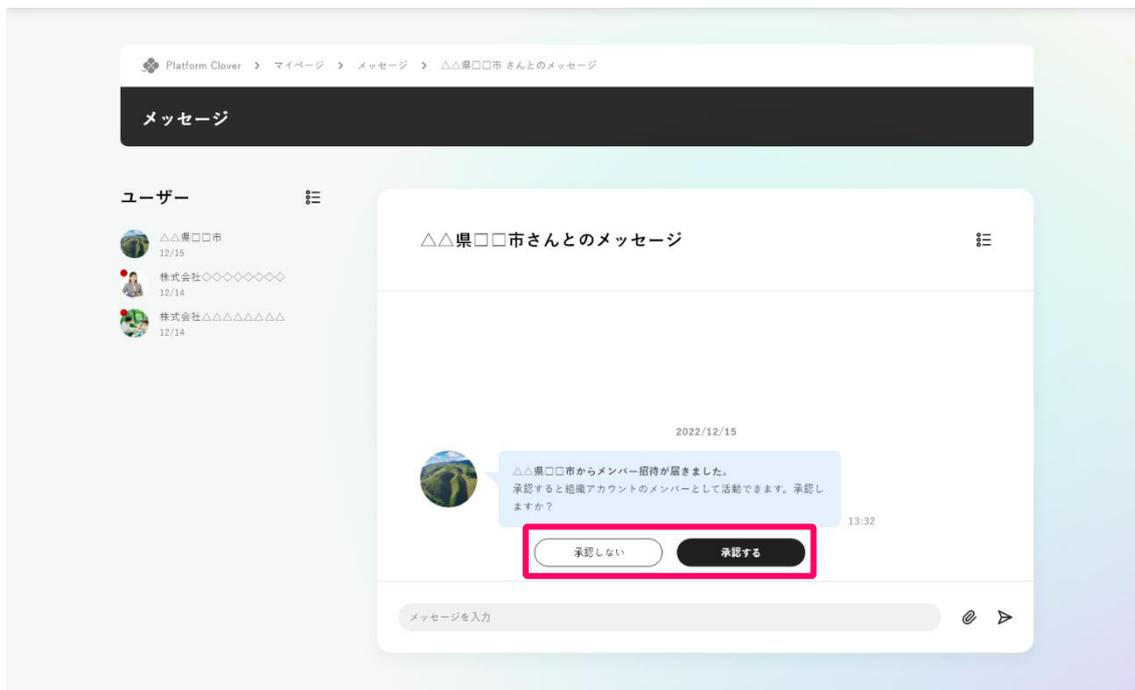




## Platform Clover ユーザーマニュアル

メールの URL をクリックするとメッセージ画面へ遷移します。

他のユーザーからのメンバー招待メッセージから「承認する」で組織への参加は完了です。(誤って「承認しない」をクリックしてしまった場合は、相手に再送を依頼してください。)



## IV 情報の検索

Ⅰ はじめに

Ⅱ 概要

Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法

Ⅳ 情報の検索

Ⅴ 情報の発信

Ⅵ よくある質問

Ⅶ 付録

## IV.1 本章の概要

本章では Platform Clover 上で検索できる情報及び検索方法を説明します。

### IV.1-1 Platform Clover にて発信可能な情報

#### 1.ユーザー情報 (SDGs Portfolio (III.1-2-1 参照) 等)

簡単なプロフィール、

SDGs への取り組み意思・これまでの取り組み内容・これからの取り組み内容 (SDGs Portfolio)

#### 2.プロジェクト (IV.1 .2 V.1 .2 参照)

現在行っているあるいは構想している持続可能な社会を共創してゆくための取り組みのこと

#### 3.アクティビティ (IV.1 .3 V.1 .3 参照)

現在行っている持続可能な社会を共創してゆくための取り組みに関する日々の活動のこと

#### 4.ニーズ (IV.1 .4 V.1 .4 参照)

持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進めるために他の利用者に求めている資源等のこと

#### 5.シーズ (IV.1 .5 V.1 .5 参照)

持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進める他の利用者に対して提供可能な資源等のこと

## IV.2 発信された情報・ユーザーの検索

自身・自身が所属している組織等以外の他のユーザーが発信した情報を検索します。

### IV.2-1 Platform Clover での検索方法

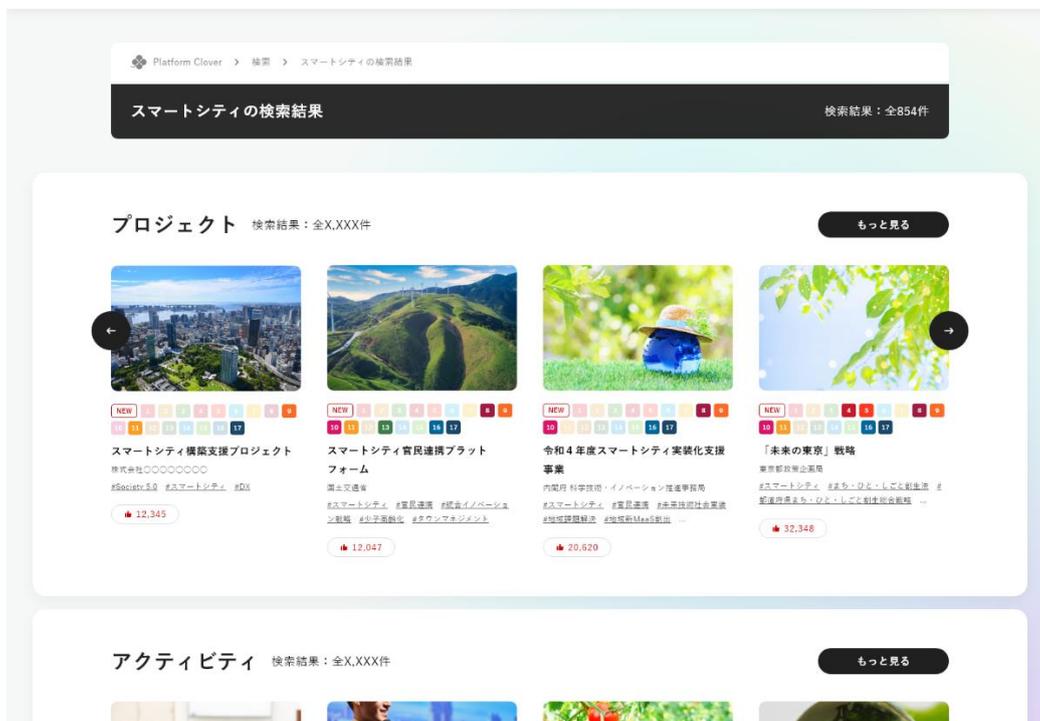
#### パターン① キーワードで検索

ヘッダーの検索ボタン(虫メガネボタン)をクリックすることで、「キーワード検索」「条件検索」「地図検索」の3種類の検索パーツが表示されます。



# Platform Clover ユーザーマニュアル

キーワード検索の場合は「キーワードで検索する」と書かれた検索ボックスに気になるキーワードを入力し、検索ボタン(虫メガネボタン)か Enter を押下で検索ができます。キーワード検索の場合はプロジェクト、アクティビティ、ニーズ、シーズ、ユーザー（個人/組織）を横断で検索できます。

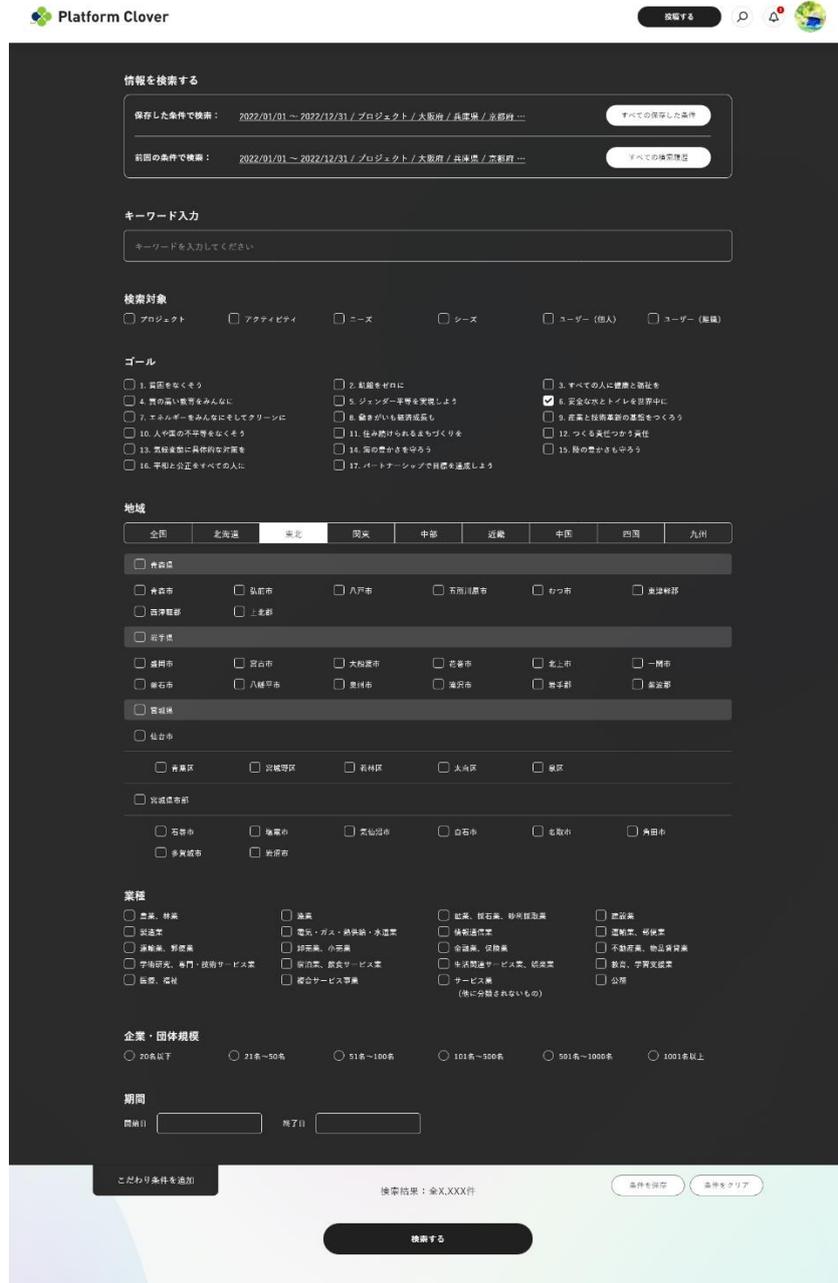


## パターン② 条件で検索

条件で検索する場合はキーワード検索と同様、検索ボタン(虫メガネボタン)をクリックしてから「条件で検索する」をクリックします。



「条件で検索する」をクリックすることで条件検索パーツが表示されます。キーワードの他に検索対象、ゴール、地域、業種、企業・団体規模、期間など複数の条件を組み合わせて検索が可能です。自身のSDGs活動に近い条件で検索することで、活動内容の検討材料としてご利用いただけます。



Ⅰ はじめに

Ⅱ 概要

Ⅲ アカウ  
ント作  
成方  
法

Ⅳ 青  
報の  
発  
信

Ⅴ 情  
報の  
発  
信

Ⅵ よ  
くあ  
る  
質  
問

Ⅶ 付  
録

# Platform Clover ユーザーマニュアル

また、条件検索では

- ・過去に検索した履歴から同じ条件でもう一度検索
- ・検索履歴から条件を保存して再度検索

といった繰り返し検索の手間を削減する機能を搭載しています。様々な条件を保存して、情報収集を効率的に行えます。



## パターン③ 地図から検索

地域を重視して検索したい場合は「地図から検索」といった方法も活用いただけます。地図で検索する場合はキーワード検索と同様、検索ボタン(虫メガネボタン)をクリックしてから「地図から検索する」をクリックします。



地図から検索では組織アカウントを検索することができます。

組織アカウントに登録された所在地を元に検索し、組織アカウントを選択することで発信されたプロジェクト、アクティビティ、ニーズ、シーズを確認することができます。自身・自身の所属する組織の周辺でどんな活動が展開されているか調べてみましょう。

Platform Clover > 地図検索

地図検索

株式会社 ○○○○○○○○

プロジェクト NEW 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

スマートシティ構築支援プロジェクト  
活動期間: 2020/04/01 ~ 2030/03/31  
12,345

アクティビティ NEW 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

□□市にて、スマートシティに関する意見交流会を開催しました 2022年6月15日に包括的連携パートナーシップを結んだ□□市にて…  
開催日: 2022/06/15  
15,783

アクティビティ NEW 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

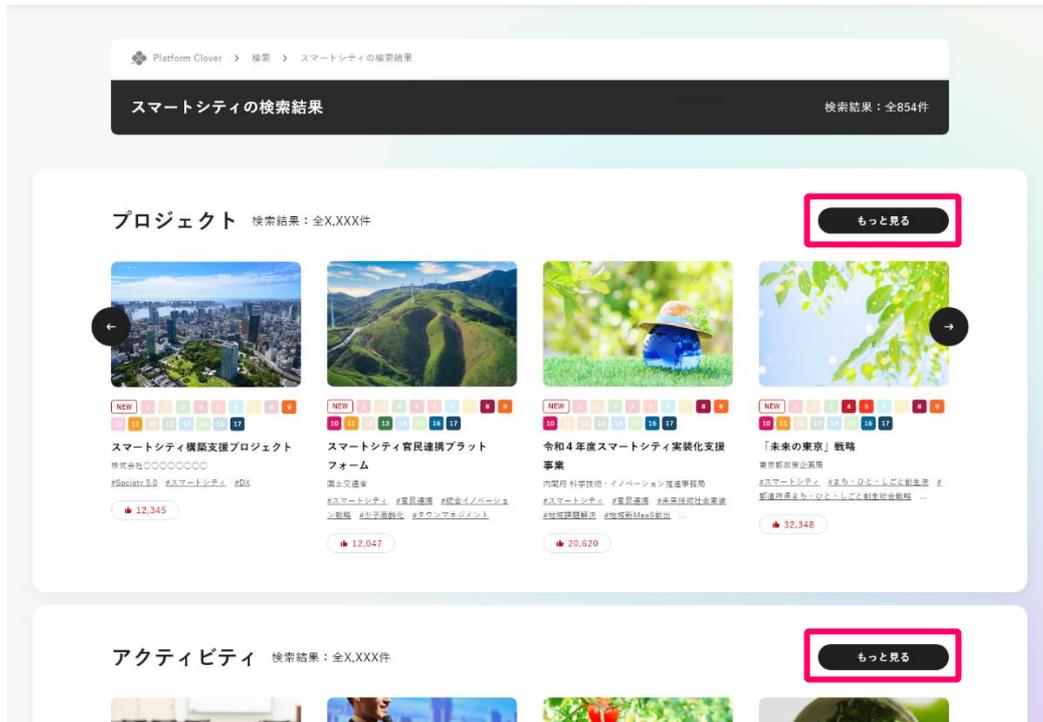
スマートシティ推進委員会として、特別国難「本格的なIoT・AI時代を見据えた、新たな地域コミュニティ」という名目で登録まし…  
開催日: 2022/06/15  
10,335

< 前へ 1 2 3 4 5 次へ >

このユーザーの投稿一覧へ

## 検索結果の絞り込み/並び替え

キーワード検索や条件検索でプロジェクト、アクティビティ、ニーズ、シーズ、ユーザーなど混合検索を行った場合は複合検索結果を表示します。それぞれの形式での検索結果がリストで表示されるので、形式を絞りたい場合は「もっと見る」をクリックしてください。



発信形式が絞られた状態では、さらに条件の絞り込みと並び替えが行えます。  
 プロジェクトの場合は絞り込みで「パートナーの募集/未募集」と「活動中/活動終了」の  
 選択を、並び順は「新着順」「古い順」「終了日が近い順」で切り替えが可能です。  
 アクティビティ、ニュース、シーズ、ユーザーの検索結果でも最適な絞り込み/並び替え機能  
 がありますのでぜひ活用ください。

The screenshot displays the Platform Clover interface for searching 'スマートシティ' (Smart City). At the top, there's a search bar and navigation icons. Below it, the search results are shown with a filter bar containing options like '絞り込み' (Filter), 'パートナー募集' (Partner Recruitment), '活動中' (Active), and '並び替え' (Sort). A sidebar on the left lists various goals (e.g., '貧困をなくそう', '気候変動に具体的な対策を'). The main content area features several project cards, each with a title, image, tags, and a view count (e.g., 'スマートシティ構築支援プロジェクト' with 12,345 views).

## IV.2-2 特集での情報収集

トップページでは注目の情報が特集としてまとめられています。クリックで内容が特集の詳細画面が確認できるので、ぜひ定期的に Platform Clover へ訪れて情報を収集してください。



特集を提供したい場合は一般社団法人サステナブルトランジションの Web サイトにあるお問い合わせフォームからお気軽にご相談ください。

## IV.3 発信情報の詳細

発信されたプロジェクト、アクティビティ、ニーズ、シーズやユーザー情報は詳細画面で情報を確認することができます。

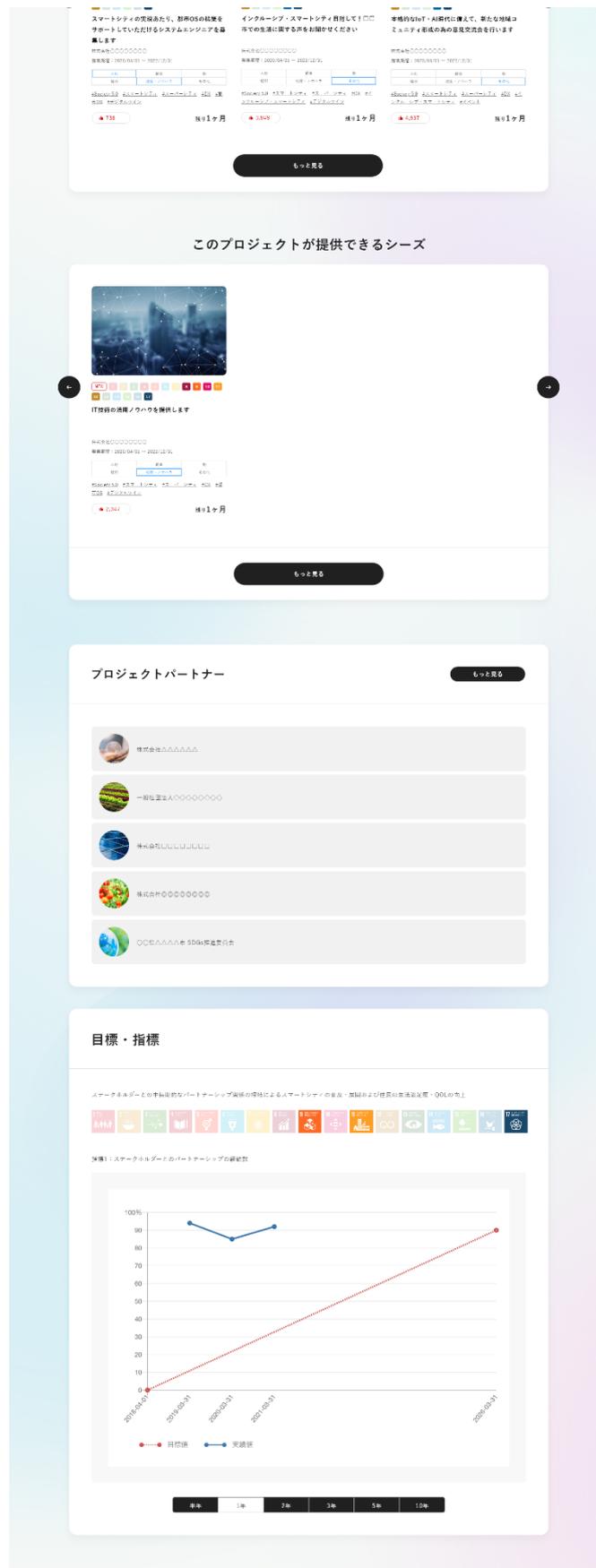
### プロジェクト詳細画面

プロジェクト詳細ではプロジェクトの実施期間、活動地域、分野カテゴリ、ステータス、活動目的や活動内容など様々な情報を確認できます。そのプロジェクトを中心にアクティビティの投稿やニーズの募集、シーズの提供をしている場合は関連情報としてそれらの発信も合わせて確認ができます。

もし関心のあるプロジェクトだった場合は「あとで見る」をクリックしてマイリストに保存したり、「いいね」や SNS にシェアをして活動を支援してみましょう。







Ⅰ はじめに

Ⅱ 概要

Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法

Ⅳ 情報の検索

Ⅴ 情報の発信

Ⅵ よくある質問

Ⅶ 付録

## アクティビティ詳細画面

アクティビティ詳細では発信したユーザーの活動情報が確認できます。アクティビティがプロジェクトに関連付けられている場合、プロジェクト期間やそのプロジェクトへのリンクも確認ができます。

The screenshot shows the Platform Clover interface for a user's activity page. At the top, there's a navigation bar with 'Platform Clover' and a search icon. Below that, a header image features a white outline of hands holding a heart against a blurred green background. A row of colorful icons represents various categories. The user's profile information includes the name '株式会社○○○○○○○○', a profile picture, and a bio: '#Seedex.S.0 スマートシティ' with a 'DX' tag. It also lists the creation date '2021/07/26', project period '2020/04/01 ~ 2030/03/31', location '日本 関東 東京都 豊谷区', and industry 'IT・情報通信業 不動産業'. There are buttons for 'あとで見る' (Bookmark) and 'いいね' (Like). Social media sharing options for LINE, Twitter, Facebook, and LinkedIn are available, along with a '編集' (Edit) button. The '活動内容' (Activity Content) section contains a heading '〇〇市とのパートナーシップ関係の経緯' and a paragraph of text. Below this is a section for 'このユーザーの他のアクティビティ' (Other activities of this user) with a 'もっと見る' (See more) button. At the bottom, a section titled 'このアクティビティが紐付けられているプロジェクト' (Projects linked to this activity) shows a project card for 'スマートシティ構築支援プロジェクト' with a 'NEW' badge, project period, location, and a right-pointing arrow.

## ニーズ詳細画面

ニーズ詳細では発信したユーザーが募集している情報を確認できます。より詳しい話を聞きたい場合には「詳しい話を聞く」ボタンをクリックしてメッセージ画面から交流してみてください。



一 はじめに

二 概要

三 アカウント作成  
ログイン方法

四 情報の検索

五 情報の発信

六 よくある質問

七 付録

## シーズ詳細画面

ニーズ詳細では発信したユーザーが提供している情報を確認できます。より詳しい話を聞きたい場合には「詳しい話を聞く」ボタンをクリックしてメッセージ画面から交流してみてください。



- I はじめに
- II 概要
- III アカウント作成方法
- IV 情報の検索
- V 情報の発信
- VI よくある質問
- VII 付録

## ユーザー詳細

ユーザー詳細では、ユーザー自体の情報を確認できます。SDGs の活動に対する実績や意気込みを確認できる「SDGs Portfolio」や、発信した記事、パートナーシップを結んでいるユーザーが確認できます。

もしパートナーシップを結びたい場合は、左カラムの「メッセージを送る」か「パートナーシップを申請する」から交流を試みてみましょう。

The screenshot displays the user profile interface on Platform Clover. At the top, there's a navigation bar with the Platform Clover logo and a search bar. Below that, the user's profile information is shown, including their name (株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇), industry (情報通信業), and location (東京都中央区銀座8丁目18番1号). The main content area is divided into sections: 'ユーザー情報', 'SDGs Portfolio', and 'プロフィール'. On the left side, there's a sidebar with navigation options: 'プロフィール', 'SDGs取り組み宣言', 'これまでの取り組み宣言', and 'これからの取り組み宣言'. Two buttons, 'メッセージを送る' and 'パートナーシップを申請する', are highlighted with a red box. The 'SDGs Portfolio' section shows a 'プロフィール' (Profile) with a description of the user's work in information analysis technology and their commitment to supporting sustainable organizations.

Ⅰ はじめに

Ⅱ 概要

Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法

Ⅳ 情報の検索

Ⅴ 情報の発信

Ⅵ よくある質問

Ⅶ 付録

## V 情報の発信

## V.1 本章の概要

本章では Platform Clover において発信可能な情報の種類とそれらの発信方法について説明します。

### V.1-1 Platform Clover にて発信可能な情報

Platform Clover では以下の情報を発信可能です。

#### プロジェクト発信

プロジェクトとは利用者が現在行っているあるいは構想している持続可能な社会を共創してゆくための取り組みのことを指します。プロジェクト発信は関連するアクティビティ発信・ニーズ発信・シーズ発信の紐づけを複数行うことが可能です。(例：スマートシティ構築支援プロジェクト)

#### アクティビティ発信

アクティビティとは利用者が現在行っている持続可能な社会を共創してゆくための取り組みに関する日々の活動のことを指します。アクティビティ発信は関連するプロジェクト発信の紐づけを複数行うことが可能です。(例：□□市とのパートナーシップ関係の締結)

#### ニーズ発信

ニーズとは利用者が持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進めるために他の利用者に求めている資源等のことを指します。ニーズ発信は関連するプロジェクト発信の紐づけを複数行うことが可能です。(例：システムエンジニアを募集します)

#### シーズ発信

シーズとは持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進める他の利用者に対して利用者が提供可能な資源等のことを指します。シーズ発信は関連するプロジェクト発信の紐づけを複数行うことが可能です。(例：IT 技術の活用ノウハウを提供します)

## V.2 プロジェクト発信

ステップ① ヘッダーから「発信する」をクリックして、プロジェクト発信を選択



はじめに

概要

アカウント作成  
方法

情報の検索

青服の発言

よくある質問

付録



# Platform Clover ユーザーマニュアル

- はじめに
- 概要
- アカウント作成方法
- 情報の検索
- 青紙の発言
- よくある質問
- 付録

### アクションボタン設定

プロジェクト詳細に表示するアクションボタンを設定できます。  
特に他のユーザーからアクションを求めている場合は設定は必要ありません。

設定しない  パートナーを募集する  メッセージでの問い合わせを募集する  オナジアルボタンを作成する

ボタンテキスト

ボタンリンク

**TIPS**

- 「パートナーを募集する」を選択した場合は、アクションボタンからパートナー申請ができます。アカウントにパートナー申請を申請しているプロジェクトにはできません。
- 「メッセージでの問い合わせを募集する」を選択した場合は任意のメッセージを取り付けることができます。任意のパートナーを指定しないプロジェクトにはできません。
- 「オナジアルボタンを作成する」を選択した場合はボタンに任意のテキストとリンクを自由に設定できます。

### 活動地域

北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
-----	----	----	----	----	----	----	----

● 北海道

北海道  札幌市  旭川市  網走市  紋別市  稚内市  釧路市  根室市

青森県

岩手県  秋田県  山形県  宮城県  福島県

茨城県

栃木県  群馬県  埼玉県  千葉県  東京都  神奈川県  東京都  東京都  東京都  東京都

東京都

東京都  東京都  東京都  東京都  東京都  東京都

東京都

### タグ

#検索関連SDGs  #地域経済活性化

タグを入力してください

**おすすめのタグ**

#社会課題SDGs #ユニバーサルSDGs #ESG #地域経済活性化 #SDG11er SDGs #カーボンニュートラル #Society5.0 #パートナーシップ #ESG投資

### 分野カテゴリー

<input type="checkbox"/> 農林水産業	<input type="checkbox"/> 製造業	<input type="checkbox"/> 建設・建設業	<input type="checkbox"/> 出版
<input type="checkbox"/> 食品業	<input type="checkbox"/> インフラ (電気・水道・ガス)	<input type="checkbox"/> IT・情報通信業	<input type="checkbox"/> 運輸・運輸業
<input type="checkbox"/> 小売業	<input type="checkbox"/> 金融・保険業	<input type="checkbox"/> 不動産業	<input type="checkbox"/> 広告・宣伝業
<input type="checkbox"/> 観光・娯楽業	<input type="checkbox"/> 経済産業	<input type="checkbox"/> 教育・研究開発業	<input type="checkbox"/> 医療・福祉業
<input type="checkbox"/> サービス業	<input type="checkbox"/> 公共行政	<input type="checkbox"/> 学術研究	<input type="checkbox"/> 経営情報
<input type="checkbox"/> その他			

### 紐付け

プロジェクトの紐付け

ニーズの紐付け

シーズの紐付け

プロジェクトパートナー  ※ページ下部の各項目ボタンを押すと紐付けが完了します。

### 公開範囲

全公開

上記内容で保存 続けて検索・情報を入力

入力内容をご確認の上、ご入力ください。入力内容に不備がある際はエラーメッセージが表示されます。入力項目は以下の通りです。（\* 必須項目）

項目名	詳細	補足
画像*	検索結果や、プロジェクト詳細のメインビジュアルとして表示される画像。2MB 以内で添付	※1
プロジェクト名*	検索結果やプロジェクト詳細で利用されるプロジェクト名。255 文字以内で入力	
プロジェクト期間*	プロジェクトの期間を設定	
活動目的*	プロジェクトの活動目的を入力、テキストエディタ利用可能	※2
活動内容*	プロジェクトの活動内容を具体的に入力、テキストエディタ利用可能	※2
関連する SDGs のゴール*	SDGs のゴールを選択、複数選択可	※3
関連する SDGs のターゲット*	関連する SDGs のゴールで選択したゴールのターゲットを選択可能、専用のポップアップにて操作	※3
アクションボタン設定*	プロジェクト詳細を見たユーザーへ促すアクションを設定	※4
活動地域*	活動を行う地域を選択	
タグ*	タグを作成・入力、おすすめのタグから選択も可	※5
分野カテゴリー*	プロジェクトに関連する分野をリストから選択、複数選択可	
アクティビティの紐付け	関連するアクティビティ発信の紐付けを設定、専用のポップアップにて操作	※6
ニーズの紐付け	関連するニーズ発信の紐付けを設定、専用のポップアップにて操作	※6
シーズの紐付け	関連するシーズ発信の紐付けを設定、専用のポップアップにて操作	※6
プロジェクトパートナー	プロジェクトを共に行うユーザーをパートナーから選択、専用のポップアップにて操作	※7
公開範囲	公開範囲を設定	

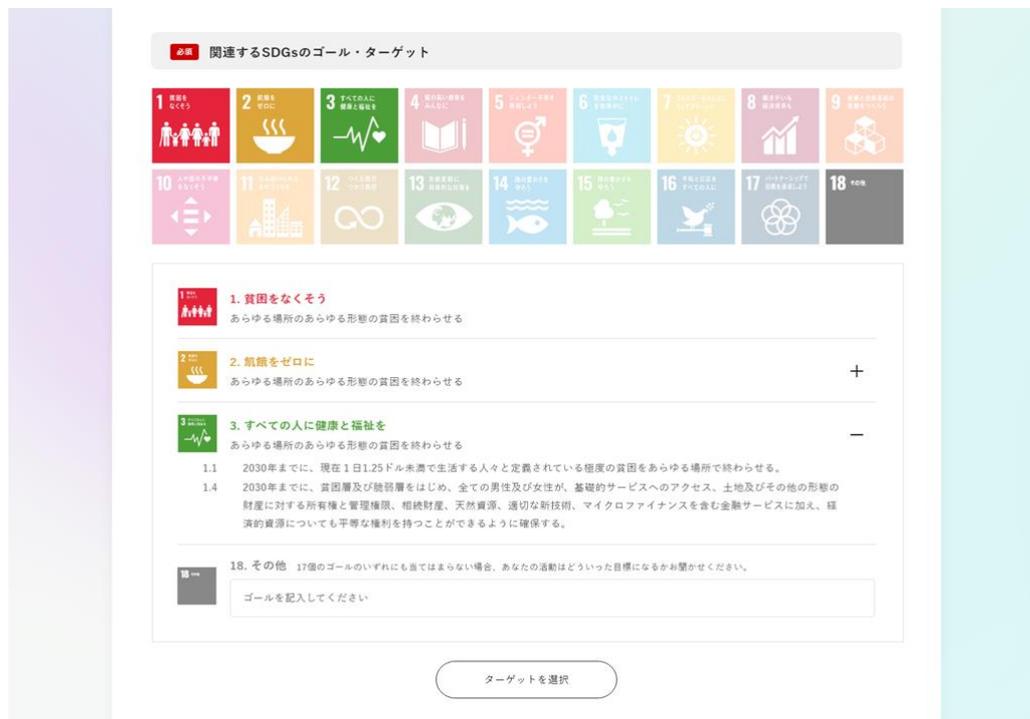
プロジェクト発信は上記の情報だけでの発信も可能ですが、追加の情報入力を行うことで、指標・目標を活用した進捗管理を行うことが可能です。上記の内容のみでの発信の場合は、「上記内容で発信」をクリック、指標・目標の入力を行う場合は、「続けて目標・指標を入力」をクリックして③プロジェクト発信情報の入力（2）に進んでください。



	リックすると反映
②太字	任意の文字を選択しクリックすると太字が反映、再度押すと解除
③斜体	任意の文字を選択しクリックすると斜体が反映、再度押すと解除
④下線	任意の文字を選択しクリックすると下線が反映、再度押すと解除
⑤取り消し線	任意の文字を選択しクリックすると取り消し線が反映、再度押すと解除
⑥文字揃え	左揃え・中央揃え・右揃え・両端揃えから選択、任意の行を選択しクリックすると反映、初期状態では左揃えになっている
⑦引用文	任意の行を選択しクリックすると引用が反映、再度押すと解除
⑧箇条書き・段落番号・チェックボックス	任意の行を選択しクリックすると効果が反映、再度押すと解除、チェックボックスはチェックの切り替えも可能
⑨インデント	任意の行を選択しクリックするとインデントが反映
⑩文字色・背景色	任意の文字を選択しクリックした上で色を選択すると文字色・背景色が反映
⑪画像挿入	8MB までの画像の挿入が可能
⑫YouTube 動画挿入	クリックし、URL を入力することで YouTube の動画を挿入可能
⑬リンク	任意の文字を選択しクリックした上で URL を入力するとリンクを設定可能
⑭効果クリア	任意の文字を選択しクリックするとすべての効果を削除可能

### ※3 SDGs のゴール・ターゲット選択

SDGs のゴールアイコンをクリックしてプロジェクトに関連するゴールを選択できます。

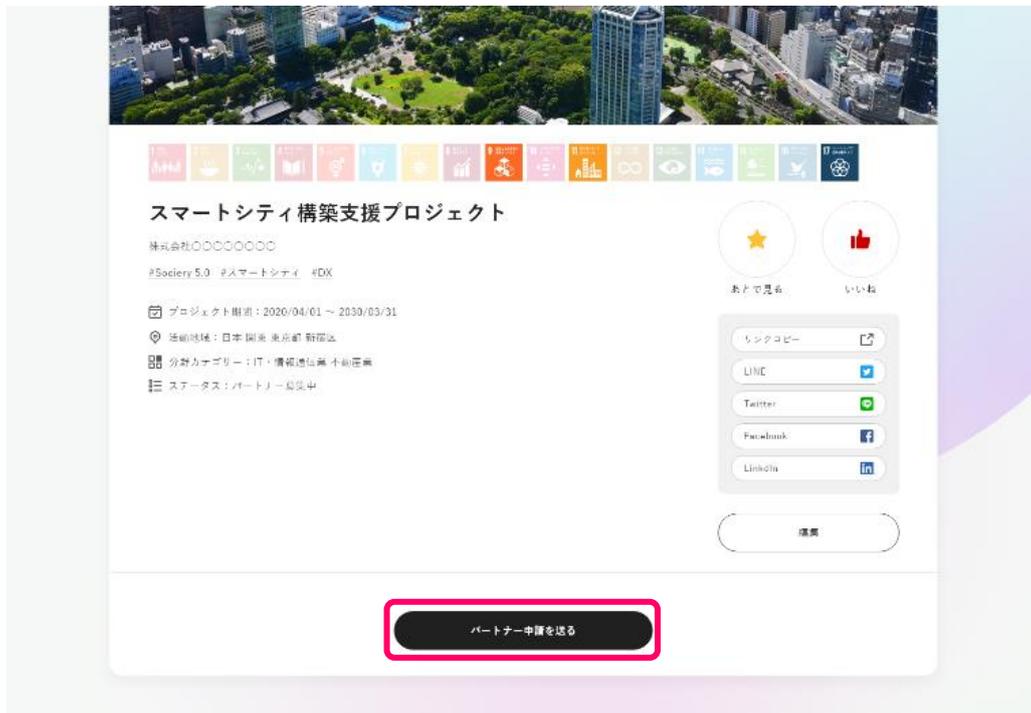


ターゲット選択する場合は選択したいターゲットのゴールを選択した上で、「ターゲット選択」をクリックしてください。



#### ※4 アクションボタン設定

アクションボタンはプロジェクト詳細を見て「ユーザーにどう行動をしてほしいか」の補助をする為の機能です。パートナーシップ締結や情報交換の為にリンクを作成することもでき、特にアクションを必要としない場合（発信だけでよい場合）は設定をしないことも可能です。



発信画面ではこのような形で、ラジオボタンからアクションが設定できます。



以下が利用可能な機能です。

項目名	詳細
設定しない	プロジェクト詳細にはアクションボタンを表示しません
パートナーを募集する	「パートナー申請を送る」という名称のボタンが表示されます。ユーザーはボタンをクリックすることでパートナーシップ申請を送信できます。 (パートナー申請送受信に関する情報は「III.4-7 パートナー一覧」を参照してください。)
メッセージでの問い合わせを募集する	「プロジェクトについて問い合わせる」という名称のボタンが表示されます。ユーザーはボタンをクリックすることでメッセージを送信できます。 (メッセージ送受信に関する情報は「III.4-8 メッセージ一覧」を参照してください。)
オリジナルボタンを作成する	オリジナルボタンを作成する場合はボタンに表示されるテキストとリンク先を設定できます。

## ※5 タグの設定方法

入力フォームに文章や単語を入力し、エンターを押すことで任意のタグを設定可能です。

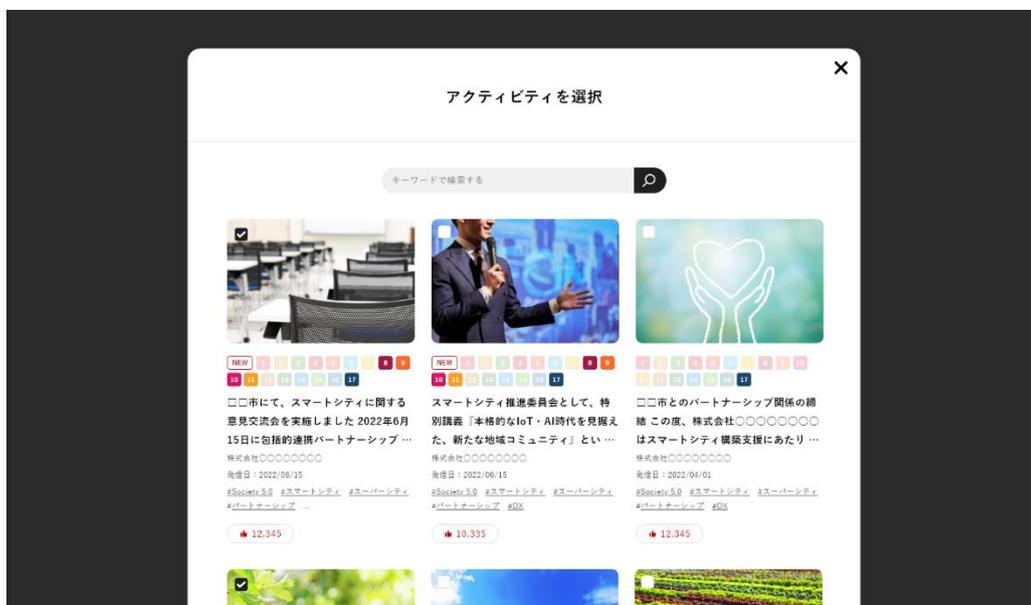


入力するだけでなく、おすすめのタグの中から選択することでも設定可能です。

また、設定したタグは右上の「×」を押すことで削除することが可能です。

## ※6 アクティビティ・ニーズ・シーズの紐付け方法

「紐付けるアクティビティを選択」「紐付けるニーズを選択」「紐付けるシーズを選択」をクリックすることで、専用のダイアログからアクティビティを紐付け可能です。選択が完了したら決定を押すことで、発信画面に反映されます。



選択後は発信画面に選択したアクティビティ、ニーズ、シーズが表示されます。



紐付けたアクティビティは再度ダイアログを展開してチェックを外すことで、削除や変更が可能です。

## ※7 パートナー選択方法

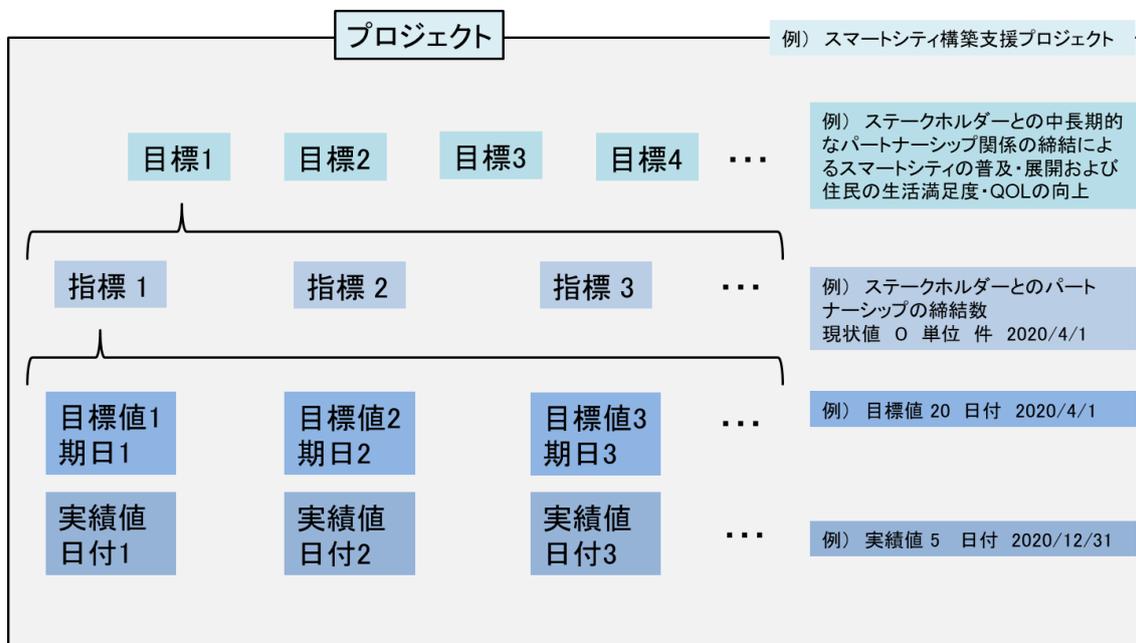
アクティビティ、ニーズ、シーズと同様の手順です。パートナーとなっているユーザーからプロジェクトに表示されるパートナーを選択可能です。



- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 青報の発言
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録



プロジェクトには複数の目標を設定でき、さらに目標ごとに複数の具体的な数値を用いた指標が設定可能です。指標には現状値を 1 つ設定し、進捗管理のために複数の目標値と実績値を設定可能です。



入力内容をご確認の上、ご入力ください。入力内容に不備がある際はエラーメッセージが表示されます。入力項目は以下の通りです。(\* 必須項目)

項目名	詳細	補足
目標	初期で 1 つ作成され、最大で 10 まで作成可能	※1
目標の本文*	目標を入力、テキストエディタの利用が可能	※2
指標*	1 つの目標に対して最大で 10 の指標を作成可能	※3
指標名*	指標名を 200 文字以内で入力	※3
現状値 (スタート値) *	現状の値を入力	※3
単位*	指標値の単位を入力	※3
スタート日*	現状値の日付を入力	※3
目標値*	目標値と日付を入力、複数入力可	※4
実績値	実績値と日付を入力、複数入力可	※4

すべての入力完了したら、「上記内容で発信」をクリックすることで発信ができます。

### ※1 目標の追加・編集方法

目標は「+」を押すことで、目標を追加することが可能です。また、タブを選択することで選択する目標を変更できます。削除する際はタブに表示されている「×」をクリックすることで削除ができます。



### ※2 テキストエディタの利用方法

ブログ形式で文字の装飾や画像・動画・リンクの挿入等が可能です。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※2 テキストエディタの利用方法」と同様です。

### ※3 指標の追加・編集方法



## Platform Clover ユーザーマニュアル

目標1つにつき、最大で10の指標を設定可能です。指標は「指標を追加」をクリックすることで、増やすことが可能です。2つ目以降の指標は「指標を削除×」をクリックすることで削除可能です。指標は各種情報を入力することで目標設定や進捗管理を行うことが可能です。

また、目標値は「目標値を追加」、実績値は「実績値を追加」をクリックすることで、増やすことが可能です。目標値、実績値が2つ以上ある場合は「×」を押すことで削除することが可能です。

これらの値はプロジェクトの閲覧画面においてグラフとして表示されます。閲覧画面での表示確認をする場合は、「グラフをプレビュー」を押すことでグラフが描画されます。

どのような指標を設定すべきか不明、悩んだ際は、皆様のSDGs達成に向けた取組状況や進捗度を計測する指標に関するデータベースである「SDG Indicator DB」(<https://sdg-db.net/>)をご利用ください。SDG Indicator DBではアカウント作成を行うことで各種関係者が設定している指標の検索が可能です。



## V.3 アクティビティ発信

ステップ① ヘッダーから「発信する」をクリックして、アクティビティ発信を選択



I はじめに

II 概要

III アカウント  
ログイン  
方法  
作成IV 情報の  
検索V 青報の  
発信VI よくある  
質問

VII 付録



入力内容をご確認の上、ご入力ください。入力内容に不備がある際はエラーメッセージが表示されます。入力項目は以下の通りです。（\* 必須項目）

項目名	詳細	補足
画像*	検索結果や、アクティビティ詳細のメインビジュアルとして表示される画像。2MB 以内で添付	※1
本文*	アクティビティの内容を具体的に入力、テキストエディタの利用が可能	※2
公開範囲*	公開範囲を設定	
プロジェクト期間	アクティビティの期間を設定	
関連する SDGs のゴール	SDGs のゴールを選択、複数選択可	※3
関連する SDGs のターゲット	関連する SDGs のゴールで選択したゴールのターゲットを選択可能、専用のポップアップにて操作	※3
活動地域	活動を行う地域をリストから選択	
タグ	タグを作成・入力、おすすめのタグから選択も可能	※4
分野カテゴリー	アクティビティに関連する分野をリストから選択、複数選択可	
プロジェクトの紐付け	関連するプロジェクト発信の紐付けを設定、専用のポップアップにて操作	※5

すべての入力が完了したら、「上記内容で投稿」をクリックすることで発信ができます。

## ※1 画像編集方法

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※1 画像編集方法」と同様です。

## ※2 テキストエディタの利用方法

ブログ形式で文字の装飾や画像・動画・リンクの挿入等が可能です。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※2 テキストエディタの利用方法」と同様です。

## ※3 SDGs のゴール・ターゲット選択

SDGs のゴールアイコンをクリックしてプロジェクトに関連するゴールを選択できます。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※3 SDGs のゴール・ターゲット選択」と同様です。

## ※4 タグの設定方法

入力フォームに文章や単語を入力し、エンターを押すことで任意のタグを設定可能です。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※5 タグの設定方法」と同様です。

## ※5 プロジェクトの紐付け方法

「紐付けるプロジェクトを選択」をクリックすることで、専用のダイアログからアクティビティを紐付け可能です。選択が完了したら決定を押すことで、発信画面に反映されます。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※6 アクティビティ・ニーズ・シーズの紐付け方法」と同様です。



- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 青報の発言
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

**関連するSDGsのゴール・ターゲット**

**1. 貧困をなくそう**  
あらゆる層のあらゆる形態の貧困を終わらせる

**2. 飢餓をゼロに**  
あらゆる層のあらゆる形態の飢餓を終わらせる

**3. すべての人に健康と福祉を**  
あらゆる層のあらゆる形態の貧困を終わらせる

**18. その他**  
ゴールを入力してください

ターゲットを選択

**アクションボタン設定**

プロジェクト詳細に出現するアクションボタンを設定できます。  
 他ユーザーからアクションを求めている場合は設定は必要ありません。

設定しない  
  パートナーを設定する  
  メッセージでの問い合わせを設定する  
  キリジナルボタンを作成する

ボタンテキスト

ボタンリンク

**TIPS**

- ・「パートナーを設定する」を選択した場合は、アクションボタンからパートナーを選択できます。アクティブのパートナーも登録しているプロジェクトにおすすめです。
- ・「メッセージでの問い合わせを設定する」を選択した場合は相手からのメッセージを受け取るようになります。慎重にパートナーを設定したいプロジェクトにおすすめです。
- ・「オリジナルボタンを作成する」を選択した場合はボタンに添付されるテキストとリンクを自由に設定できます。

**活動地域**

北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
<input checked="" type="checkbox"/> 東京都							
<input checked="" type="checkbox"/> 東京都 <input type="checkbox"/> 北州市 <input type="checkbox"/> 八戸市 <input type="checkbox"/> 正則川原市 <input type="checkbox"/> 七つ市 <input type="checkbox"/> 東洋地区							
<input type="checkbox"/> 岩手県							
<input type="checkbox"/> 盛岡市 <input type="checkbox"/> 宮内市 <input type="checkbox"/> 大船渡市 <input type="checkbox"/> 花巻市 <input type="checkbox"/> 雫石市 <input type="checkbox"/> 一関市							
<input type="checkbox"/> 青森県							
<input type="checkbox"/> 青森市 <input type="checkbox"/> 青森地区 <input type="checkbox"/> 青森県 <input type="checkbox"/> 八戸市 <input type="checkbox"/> 八戸地区 <input type="checkbox"/> 八戸市							
<input type="checkbox"/> 岩手県							
<input type="checkbox"/> 盛岡市							

**タグ**

#地方創生SDGs

#ローカルSDGs

#地域振興活動

タグを入力してください

**おすすめのタグ**

[#地方創生SDGs](#)  
 [#ローカルSDGs](#)  
 [#ESD](#)  
 [#環境教育推進](#)  
 [#STI for SDGs](#)  
 [#カーボンニュートラル](#)  
 [#Sprint3.0](#)  
 [#パートナーシップ](#)  
 [#ESG投資](#)

**紐付け**

プロジェクトの紐付け

**公開範囲**

公開範囲

上記内容で投稿

入力内容をご確認の上、ご入力ください。入力内容に不備がある際はエラーメッセージが表示されます。入力項目は以下の通りです。（\* 必須項目）

項目名	詳細	補足
ニーズ名*	ニーズのタイトルを 256 文字以内で入力	
募集期間*	ニーズの募集期間を設定	
分野カテゴリー*	ニーズに関連する分野をリストから選択、複数選択可	
利用画像選択*	検索結果や、ニーズ詳細のメインビジュアルとして表示される画像。2MB 以内で添付	※1
募集内容*	ニーズの内容を具体的に入力、テキストエディタの利用が可能、5000 文字以内	※2
関連する SDGs のゴール*	SDGs のゴールを選択、複数選択可	※3
関連する SDGs のターゲット	関連する SDGs のゴールで選択したゴールのターゲットを選択可能、専用のポップアップにて操作	※3
アクションボタン設定*	プロジェクト詳細を見たユーザーへ促すアクションを設定	※4
活動地域*	活動を行う地域をリストから選択	
タグ*	タグを作成・入力、おすすめのタグから選択も可能	※5
プロジェクトの紐付け	関連するニーズ発信の紐付けを設定、専用のポップアップにて操作	※6
公開範囲*	公開範囲を設定	

### ※1 利用画像の選択

利用画像はオリジナルでアップロードするか、いくつかの候補から選択できます。サムネイルがあることでユーザーからのアクションが増える可能性が高まりますので、ぜひご活用ください。



## ※2 テキストエディタの利用方法

ブログ形式で文字の装飾や画像・動画・リンクの挿入等が可能です。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※2 テキストエディタの利用方法」と同様です。

## ※3 SDGs のゴール・ターゲット選択

SDGs のゴールを選択する際は任意のアイコンをクリックしてください。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※3 SDGs のゴール・ターゲット選択」と同様です。

## ※4 アクションボタンの設定方法

アクションボタンはプロジェクト詳細を見て「ユーザーにどう行動をしてほしいか」の補助をする為の機能です。利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※4 アクションボタンの設定方法」と同様です。

## ※5 タグの設定方法

入力フォームに文章や単語を入力し、エンターを押すことで任意のタグを設定可能です。利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※5 タグの設定方法」と同様です。

## ※6 プロジェクトの紐付け方法

「紐付けるプロジェクトを選択」をクリックすることで、専用ダイアログからニーズに紐付けるプロジェクトを選択可能です。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※6 アクティビティ・ニーズ・シーズの紐付け方法」と同様です。

## V.5 シーズ発信

### ステップ① ヘッダーから「発信する」をクリックして、シーズ発信を選択



### ステップ② シーズ発信情報の入力

The screenshot shows the "ニーズ発信" (Season Post) form. It includes a warning message about the risks of posting. The form has several sections:

- ニーズ名**: A text input field for the post title.
- 募集期間**: Date range selection for the recruitment period.
- 募集分野カテゴリ**: Radio button options for recruitment categories: 人材 (Human Resources), 資金 (Funding), 物 (Goods), 場所 (Location), 技術・ノウハウ (Technology/Know-how), and その他 (Others).
- 利用画像選択**: A section for selecting images. It includes a "プラス" (+) button and several image thumbnails: "オリジナル画像を挙げる" (Upload original image), "人材のイメージ" (Human resources image), "資金のイメージ" (Funding image), "物のイメージ" (Goods image), "場所のイメージ" (Location image), "技術・ノウハウのイメージ" (Technology/Know-how image), and "その他" (Others).
- 募集内容**: A rich text editor for the recruitment content, with a toolbar containing options like Bold, Italic, Underline, Link, Text color, Background color, Bulleted list, Numbered list, Indent, Outdent, Undo, and Redo.

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発言
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

**関連するSDGsのゴール・ターゲット**

**1. 貧困をなくそう**

あらゆる層のあらゆる形態の貧困を終わらせる

**2. 飢餓をゼロに**

あらゆる層のあらゆる形態の飢餓を終わらせる

**3. すべての人に健康と福祉を**

あらゆる層のあらゆる形態の貧困を終わらせる

**18. その他**

ゴールを入力してください

ターゲットを選択

**アクションボタン設定**

プロジェクト詳細に出現するアクションボタンを設定できます。  
 他ユーザーからアクションを求めている場合は設定は必要ありません。

設定しない  
  パートナーを設定する  
  メッセージでの問い合わせを設定する  
  キリジナルボタンを作成する

ボタンテキスト

ボタンリンク

**TIPS**

- ・「パートナーを設定する」を選択した場合は、アクションボタンからパートナーを選択できます。アクティブのパートナーも登録しているプロジェクトにおすすめです。
- ・「メッセージでの問い合わせを設定する」を選択した場合は検索からのメッセージを受け取るようになります。慎重にパートナーを設定したいプロジェクトにおすすめです。
- ・「オリジナルボタンを作成する」を選択した場合はボタンに添付されるテキストとリンクを自由に設定できます。

**活動地域**

北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
<input checked="" type="checkbox"/> 東京都 <input type="checkbox"/> 東京都							
<input type="checkbox"/> 東京都							
<input type="checkbox"/> 東京都							
<input type="checkbox"/> 東京都							
<input type="checkbox"/> 東京都							
<input type="checkbox"/> 東京都							
<input type="checkbox"/> 東京都							
<input type="checkbox"/> 東京都							
<input type="checkbox"/> 東京都							

**タグ**

#地方創生SDGs

#ローカルSDGs

#地域振興の未来

タグを入力してください

**おすすめのタグ**

[#国連開発目標](#)
[#SDGs](#)
[#SDGs](#)
[#SDGs](#)
[#SDGs](#)
[#SDGs](#)
[#SDGs](#)
[#SDGs](#)
[#SDGs](#)

**紐付け**

プロジェクトの紐付け

**公開範囲**

公開範囲

上記内容で投稿

入力内容をご確認の上、ご入力ください。入力内容に不備がある際はエラーメッセージが表示されます。入力項目は以下の通りです。（\* 必須項目）

項目名	詳細	補足
シーズ名*	シーズのタイトルを 256 文字以内で入力	
募集期間*	シーズの募集期間を設定	
分野カテゴリー*	シーズに関連する分野をリストから選択、複数選択可	
利用画像選択*	検索結果や、シーズ詳細のメインビジュアルとして表示される画像。2MB 以内で添付	※1
募集内容*	シーズの内容を具体的に入力、テキストエディタの利用が可能、5000 文字以内	※2
関連する SDGs のゴール*	SDGs のゴールを選択、複数選択可	※3
関連する SDGs のターゲット	関連する SDGs のゴールで選択したゴールのターゲットを選択可能、専用のポップアップにて操作	※3
アクションボタン設定*	シーズ詳細を見たユーザーへ促すアクションを設定	※4
活動地域*	活動を行う地域をリストから選択	
タグ*	タグを作成・入力、おすすめのタグから選択も可能	※5
プロジェクトの紐付け	関連するプロジェクト発信の紐付けを設定、専用のポップアップにて操作	※6
公開範囲*	公開範囲を設定	

### ※1 利用画像の選択

利用画像はオリジナルでアップロードするか、いくつかの候補から選択できます。サムネールがあることでユーザーからのアクションが増える可能性が高まりますので、ぜひご活用ください。



## ※2 テキストエディタの利用方法

ブログ形式で文字の装飾や画像・動画・リンクの挿入等が可能です。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※2 テキストエディタの利用方法」と同様です。

## ※3 SDGs のゴール・ターゲット選択

SDGs のゴールを選択する際は任意のアイコンをクリックしてください。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※3 SDGs のゴール・ターゲット選択」と同様です。

## ※4 アクションボタンの設定方法

アクションボタンはプロジェクト詳細を見て「ユーザーにどう行動をしてほしいか」の補助をする為の機能です。利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※4 アクションボタンの設定方法」と同様です。

## ※5 タグの設定方法

入力フォームに文章や単語を入力し、エンターを押すことで任意のタグを設定可能です。利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※5 タグの設定方法」と同様です。

## ※6 プロジェクトの紐付け方法

「紐付けるプロジェクトを選択」をクリックすることで、専用ダイアログからニーズに紐付けるプロジェクトを選択可能です。

利用方法は「V.2 プロジェクト発信」のステップ②「※6 アクティビティ・ニーズ・シーズの紐付け方法」と同様です。

一 はじめに

二 概要

三 アカウント作成  
ログイン方法

四 情報の検索

五 情報の発信

六 よくある質問

七 付録

## VI Q&A

## ・よくあるご質問

### Q Platform Clover を利用する意義/何ができるかが分かりません

#### A

Platform Clover の活用によって以下のようなメリットを得ることができます。

- ・持続可能な社会の実現に向けた世の中の動向（他の企業・団体の取り組み）をオンライン上で把握可能
- ・皆様の持続可能な社会の実現に向けた取り組みをオンライン上でPR可能
- ・持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行う他のユーザーとオンライン上で交流可能

詳しいメリットについては、「II.3 Platform Clover で利用することができる機能と Platform Clover を利用することで得られるメリット」をご確認ください。

### Q アカウント作成時の本人確認認証がうまくいきません

#### A

提出書類と Platform Clover との登録情報を照合していますので、以下の点に問題がないかご確認ください。

- ・本人確認認証の提出は終了しているか（審査に数時間程度かかる場合があります）
- ・本人確認認証書類と Platform Clover で登録した氏名は一致しているか
- ・本人確認認証書類と Platform Clover で登録した住所は一致しているか

いずれの場合にも該当しない場合は、お手数ですが一般社団法人サステナブルトランジションホームページ（<https://sustainable-transition.or.jp/>）の問い合わせフォームよりお問い合わせください。

## Q メールアドレス・パスワードを忘れた場合

### A

#### メールアドレスを忘れた場合

お手数ですが一般社団法人サステナブルトランジションホームページ（<https://sustainable-transition.or.jp/>）の問い合わせフォームよりお問い合わせください。

#### パスワードを忘れた場合

ログイン画面より「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックし、登録したメールアドレスを入力し「送信」をクリックしてください。

※セキュリティの関係上、登録のないメールアドレスでも送信完了を表示いたします。しばらく経ってもメールが届かない場合は、登録時のメールアドレスと一致しているかご確認いただくか、迷惑メールフォルダに分類されていないかをご確認ください。それでも届かない場合はお手数ですが一般社団法人サステナブルトランジションホームページ（<https://sustainable-transition.or.jp/>）の問い合わせフォームよりお問い合わせください

入力したメールアドレス宛に新しいパスワード設定リンクが届きますので、そちらからパスワード変更をお願いいたします。



## Q アカウント削除もしくは退会したい場合はどうすればいいですか？

**A** お手数ですが一般社団法人サステナブルトランジションホームページ  
(<https://sustainable-transition.or.jp/>) の問い合わせフォームよりご連絡ください。

## Q Platform Clover の開発に参加することは可能ですか？

**A** ご関心のある方は一般社団法人サステナブルトランジションホームページ  
(<https://sustainable-transition.or.jp/>) の問い合わせフォームよりご連絡ください。

一 はじめに

二 概要

三 アカウント作成  
ログイン方法

四 情報の検索

五 情報の発信

六 よくある質問

七 付録

## VII 付録

## Platform Clover プライバシーポリシー

一般社団法人サステナブルトランジションは、利用者（Platform Clover の利用者）の個人情報保護の重要性について認識し、個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」といいます）を遵守すると共に、以下のプライバシーポリシー（以下「本プライバシーポリシー」といいます）に従い、適切な取扱い及び保護に努めます。また、法人である利用者が登録した登録情報に関して、本プライバシーポリシーに従い、適切な取扱い及び保護に努めます。

「Platform Clover」は法政大学川久保俊教授及び法政大学川久保研究室の助言を受けて、M S & A D インターリスク総研株式会社及び株式会社グミにて企画・開発を行い、一般社団法人サステナブルトランジションにて運用を行っております。

- 1 本プライバシーポリシーにおいて、個人情報とは、個人情報保護法の定義に従うものとし、その他の定義については、Platform Clover 利用規約（以下「利用規約」といいます）に従うものとしします。
- 2 当団体は、本サービスの提供にあたって、以下の情報を収集し、利用目的に従って利用いたします。
  - (1) 本サービス提供に際して本サービスの Web サイト又はアプリケーション等（以下「本サイト等」といいます）における個人情報収集
    - ① 収集する個人情報：
      - 利用登録時： 利用者が当団体に提供した個人情報
      - 本サービス提供時： 利用者の登録情報に含まれる一切の個人情報
    - ② 利用目的： 利用規約に基づき、以下を行うため
      - A) 本サービスを提供するため
      - B) 本サービスに関するご案内、お問い合わせ等への対応のため
      - C) 本サービスの運営に関する事務連絡を行うため
      - D) 利用規約に違反する行為に対する対応のため
      - E) 本サービスの改善、新サービスの開発等に役立てるため
      - F) 当団体による、SDGs 推進に資する分析のため
      - G) 当団体の他のサービスの案内をするため
      - H) 当団体が本サービス又は他サービス展開のマーケティングに向けた分析を行うため
      - I) その他、上記利用目的に付随する目的のため
    - ③ クレジットカード情報の収集、利用、提供等は、当団体が定めた決済事業者が行う

ものであり、当団体は関与いたしません。

- ④ Platform Clover は一定期間、ログデータを維持します。

(2) 本サイト等のお問合せ欄における個人情報収集

- ① 収集個人情報：氏名、メールアドレス、問い合わせ本文等に含まれる個人情報
- ② 利用目的：
- A) お問い合わせ内容の検討及び利用者への返信のため
  - B) 当団体のサービスの改善、新サービスの開発等に役立てるため
  - C) その他上記利用目的に付随する目的のため

(3) 本サイト等における Cookie 及びこれに類する技術を利用した情報収集

- ① 収集情報：Cookie 等を通じて収集する情報
- ② 利用目的：アクセス解析やアフィリエイトプログラム、広告配信サービスを利用するため
- ③ Cookie について：
- Cookie とは、利用者のコンピュータ内に記録されるものであり、個人を特定するものは一切含まれません。Cookie を無効化したい利用者は、ウェブブラウザの設定を変更することにより Cookie を無効化することができます。但し、Cookie を無効化すると、当団体のサービスの一部の機能をご利用いただけなくなる場合があります。

(4) 本サービスがアプリケーションで提供された場合の情報収集モジュールによる自動収集

- ① 収集個人情報：

端末情報	デバイスの種類、モデル、メーカー、OS、キャリア情報、IP アドレス、各種 ID 情報
位置情報	GPS に基づいた緯度・経度、Wi-Fi アクセスポイントの緯度・経度
広告情報	表示場所、クリックの有無、閲覧回数、広告利用状況

- ② 利用目的：利用者に最適化された情報の提供、位置情報に基づく情報の提供、パフォーマンス分析、アプリケーションの改善、利用者へのサポート

- 3 当団体は、個人情報保護法その他の法令により許容される場合を除き、利用者等の同意を得ず、利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報を取り扱いません。但し、次の場合はこの限りではありません。

- (1) 法令に基づく場合
- (2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、利用者等の同意を得ることが困難であるとき
- (3) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、利用者等の同意を得ることが困難であるとき

- Ⅰ はじめに
  - Ⅱ 概要
  - Ⅲ アカウント作成  
ログイン方法
  - Ⅳ 情報の検索
  - Ⅴ 情報の発信
  - Ⅵ よくある質問
  - Ⅶ 付録
- (4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用者等の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき
- 4 当団体は、適正に個人情報を取得し、偽りの他不正の手段により取得しません。
- 5 当団体は、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などのリスクに対して、個人情報の安全管理が図られるよう、当団体の従業員に対し、必要かつ適切な監督を行います。また、当団体は、個人情報の取扱いの全部又は一部を委託する場合は、委託先において個人情報の安全管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行います。
- 6 当団体は、個人情報保護法その他の法令に基づき開示が認められる場合を除くほか、あらかじめ利用者等の同意を得ないで、個人情報を第三者に提供しません。但し、次に掲げる場合は上記に定める第三者への提供には該当しません。
- (1) 当団体が利用目的の達成に必要な範囲内において個人情報の取扱いの全部又は一部を委託することに伴って個人情報を提供する場合
  - (2) 合併その他の事由による事業の承継に伴って個人情報が提供される場合
  - (3) 個人情報保護法の定めに基づき共同利用する場合
- 7 当団体は、利用者等から、個人情報保護法の定めに基づき個人情報の開示を求められたときは、利用者等ご本人からのご請求であることを確認の上で、利用者等に対し、遅滞なく開示を行います（当該個人情報が存在しないときにはその旨を通知いたします）。但し、個人情報保護法その他の法令により、当団体が開示の義務を負わない場合は、この限りではありません。
- 8 当団体は、利用者等から、個人情報が真実でないという理由によって、個人情報保護法の定めに基づきその内容の訂正、追加又は削除（以下「訂正等」といいます）を求められた場合には、利用者等ご本人からのご請求であることを確認の上で、利用目的の達成に必要な範囲内において、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、個人情報の内容の訂正等を行い、その旨を利用者等に通知します（訂正等を行わない旨の決定をしたときは、利用者等に対しその旨を通知いたします）。但し、個人情報保護法その他の法令により、当団体が訂正等の義務を負わない場合は、この限りではありません。
- 9 当団体は、利用者等から、利用者等の個人情報が、あらかじめ公表された利用目的の範囲を超えて取り扱われているという理由又は偽りその他不正の手段により取得されたものであるという理由により、個人情報保護法の定めに基づきその利用の停止又は消去（以下「利用

停止等」といいます)を求められた場合において、そのご請求に理由があることが判明した場合には、利用者等ご本人からのご請求であることを確認の上で、遅滞なく個人情報の利用停止等を行い、その旨を利用者等に通知します。但し、個人情報保護法その他の法令により、当団体が利用停止等の義務を負わない場合は、この限りではありません。

- 10 開示等のお申出、ご意見、ご質問、苦情のお申出その他個人情報の取扱いに関するお問い合わせは、本サイト等の「お問い合わせ」のフォームを通じて、当団体までご連絡ください。
- 11 本団体が収集した利用者である法人に関する登録情報及び利用者である個人の登録情報（個人情報であるものを除く）は、その性質に反しない限り、本プライバシーポリシーに準じて適切に扱います。
- 12 当団体は、個人情報の取扱いに関する運用状況を適宜見直し、継続的な改善に努めるものとし、必要に応じて、本プライバシーポリシーを変更することがあります。

以上

## Platform Clover 利用規約

### 第1条（目的と定義）

- 1 Platform Clover 利用規約（以下「本規約」といいます）は、一般社団法人サステナブルトランジションが運営する持続可能な社会を共創してゆくためのオープンイノベーションプラットフォーム（以下「本サービス」といいます）について、その利用条件を定めるものです。

「Platform Clover」は、法政大学川久保俊教授及び法政大学川久保研究室の助言を受けて、MS&ADインターリスク総研株式会社及び株式会社グミにて企画・開発を行い、一般社団法人サステナブルトランジションにて運用を行っております。

- 2 本規約における用語は、以下の定義であるものとします。
  - ① 「当団体」：本サービスの運営主体である一般社団法人サステナブルトランジションをいいます。
  - ② 「利用者」：本サービスを利用するためのアカウントを当団体が付与した方をいいます。
  - ③ 「登録情報」：利用者がアカウントにおいて登録した全ての情報をいいます。
  - ④ 「発信情報」：登録情報の内、利用者が特に他の利用者に対して発信したい情報をいいます。
    - (ア)「SDGs Portfolio」：利用者による SDGs 取り組み宣言、これまでの取り組み、これからの取り組みのことをいいます。
    - (イ)「プロジェクト」：利用者が現在行っているあるいは構想している持続可能な社会を共創してゆくための取り組みのことをいいます。
    - (ウ)「アクティビティ」：利用者が現在行っている持続可能な社会を共創してゆくための取り組みに関する日々の活動のことをいいます。
    - (エ)「ニーズ」：利用者が持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進めるために他の利用者にも求めている資源等のことをいいます。
    - (オ)「シーズ」：持続可能な社会を共創してゆくための取り組みを進める他の利用者に対して利用者が提供可能な資源等のことをいいます。

### 第2条（利用者登録）

- 1 利用者となろうとする者は、一般社団法人サステナブルトランジションが設置する会員登録ウェブサイト上において、自身に関する情報を登録します。
- 2 当団体は、利用者となろうとするものが、前項の内容を登録することによって、本サービスのアカウントを付与するものとします。ただし、当団体は、当団体の基準に基づき、特定の者に対して本サービスのアカウントを付与しないことができます。この場合において、当団体は同基準及びその理由について何らの説明も行いません。
- 3 利用者は、全ての登録情報について、当団体が閲覧及び分析し、分析結果を利用（不特定多

数への公表を含む) すること、登録情報について二次利用することを予め許諾するものとします。

- 4 第 2 項に関わらず、当団体が、利用希望者が以下に該当すると判断した場合、アカウントを付与しないことがあります。この場合、当団体はアカウントを付与しなかった理由を開示する義務を負いません。
  - ① 過去に本規約に違反した事実がある場合
  - ② 第 12 条に違反するおそれがある場合
  - ③ 登録情報の内容に虚偽が認められた場合
  - ④ 利用者としての適性を欠くと当団体が判断した場合
- 5 当団体は、利用者となろうとする者が第 1 項の登録を行う際に、株式会社 TRUSTDOCK の提供する本人確認サービスを利用するものとし、利用者となろうとする者は、同サービスの利用に合意するものとします。

### 第 3 条 (変更手続き)

利用者は、本サービスへの登録情報に変更がある場合、遅滞なく当団体の定めた変更手続きをしなければならないものとします。

### 第 4 条 (本サービスの内容)

- 1 本サービスは、利用者が利用者自身のプロジェクトに関し、発信情報を登録することによって、他の利用者がその登録情報にアクセスすることを容易にするサービスです。具体的には、以下の通りです。
  - ① 利用者が、プロジェクトに関する発信情報を登録します。
  - ② 利用者の登録情報は、他の利用者から検索・閲覧可能な状態になります。
  - ③ 利用者は、他の利用者の登録情報に関連して本サービス所定の情報を発信することができます。
  - ④ 利用者の登録情報について、本サービスは、当該利用者の登録情報を他の利用者が閲覧することが両利用者の利益にかなうと判断した場合は、当該他の利用者に対して当該利用者の登録情報の閲覧を促します (いわゆるマッチング)。
  - ⑤ その他、当団体が追加するサービス。
- 2 利用者は、登録情報について、他の利用者により閲覧をされること、他の利用者に対して、本サービスが閲覧等を促すことをあらかじめ異議なく承諾するものとします。
- 3 本サービスは、利用者が持続可能な社会を共創してゆくための取り組みに関し、自己申告で発信する情報を他の利用者が容易に知ることができるようにするものであり、利用者が自らの判断及びタイミングで発信、返信した情報が掲示される仕組みとなっております。このため、当団体は、かかる情報について、事前に調査又は検証等を行うことが一切できませんので、かかる情報の正確性、適法性、安全性等について、当団体は、何ら保証をせ

ず、一切の責任を負わないものとします。

## 第5条（利用料）

- 1 利用者は、本サービスを無料で利用することができるものとします。
- 2 前項に関わらず、当団体が別途有料のサービスを実施する場合は、利用者は、当団体所定の方法に従い、利用料を支払って、これを利用するものとします。

## 第6条（禁止事項）

利用者は、本サービスにおいて、原則として自由な発信、返信等を行うことができますが、以下に該当する行為については禁止されるものとします。

- ① スクレイピングを含む他の利用者の登録情報をみだりに収集しようとする行為
- ② 虚偽の登録情報を本サービスに登録する行為
- ③ デコンパイル(逆アセンブル)したソースコードを利用した模倣をする行為
- ④ ウィルス作成等、悪意ある目的のための解析をする行為
- ⑤ 他の利用者の合理的意思に反して発信情報を開示、公開する行為
- ⑥ 当団体又は他の利用者に対する強要、脅迫、詐欺もしくはこれらに類する行為
- ⑦ 当団体又は他の利用者の権利を侵害し、又は利益を害する行為
- ⑧ 他の利用者に対して性的な表現、乱暴な表現、残酷な表現、犯罪を誘発する表現、差別的な表現等をする行為
- ⑨ 他の利用者に対して機械的に特定の情報を発信する行為（いわゆるスパム行為）
- ⑩ 専ら本プラットフォームの運営趣旨とは関連のない事業の宣伝を目的とする行為
- ⑪ マルチ商法又はこれに類する取引行為
- ⑫ 政治活動、宗教活動への勧誘行為
- ⑬ 法令又は公序良俗に反する行為
- ⑭ システムに障害等を発生させる行為
- ⑮ その他当団体が不適切と判断する行為

## 第7条（本サービスの停止）

- 1 当団体は、以下の各号いずれかに該当する場合、予告なく、本サービスの全部又は一部の提供を停止することができるものとします。
  - ① 緊急でコンピュータシステムの点検、保守を行う場合
  - ② 停電、サーバー故障等が発生した場合
  - ③ コンピュータ、通信回線等に不具合がある場合
  - ④ 地震、落雷、火災等の不可抗力による場合
  - ⑤ その他当団体が必要と判断した場合
- 2 当団体は、利用者が本規約の一つにでも違反するおそれを認めた場合、予告なく当該利用者

に対する本サービスの提供を停止すると共に、以下の対応を行うことができるものとします。

- ① 利用資格を喪失させること
  - ② 登録情報を削除又は非公開の状態にすること
- 3 当団体は、前二項によって利用者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。また、当団体は前項によって当団体に生じた損害について、利用者及び利用者であった者に対して請求することができるものとします。

#### 第8条（自己責任の原則）

- 1 利用者は、本サービスの利用に伴い他者（国内外を問いません。以下同じとします。）に対して損害を与えた場合、他者からクレームが通知された場合、自己の責任と費用をもって処理解決するものとします。利用者が本サービスの利用に伴い他者から損害を受けた場合または他者に対しクレームを通知する場合においても同様とします。
- 2 当団体は、利用者がその故意または過失により当社に損害を被らせたときは、契約者に当該損害の賠償を請求することができます。

#### 第9条（情報等の削除等）

- 1 当団体は、利用者による本サービスの利用が第6条（禁止事項）の各号に該当する場合、当該利用に関し他者から当団体に対しクレーム、請求等が為され、かつ当団体が必要と認めた場合、またはその他の理由で本サービスの運営上不適当と当団体が判断した場合は、当該利用者に対し、次の措置のいずれかまたはこれらを組み合わせて講ずることがあります。
  - ① 第6条（禁止事項）の各号に該当する行為をやめるように要求します。
  - ② 他者との間で、クレーム等の解消のための協議を行なうよう要求します。
  - ③ 利用者に対して、表示した情報の削除を要求します。
  - ④ 事前に通知することなく、利用者が発信または表示する情報の全部もしくは一部を削除し、または他者が閲覧できない状態に置きます。
  - ⑤ 第7条に基づき本サービスの利用を停止します。
- (6) 第7条に基づき利用契約を解約します。
- 2 前項の措置は前条（自己責任の原則）に定める契約者の自己責任の原則を否定するものではなく、前項の規定の解釈、運用に際しては自己責任の原則が尊重されるものとします。

#### 第10条（その他の免責事項）

- 1 当団体は、当団体が一般的なサービス業者として措置する水準のセキュリティ対策を実施している場合において、なお回避が困難なウイルスやマルウェア等によって利用者に損害が生じたとしても、いかなる責任も負わないものとします。
- 2 当団体は、本サービスへのアクセス、利用者の機器、通信回線等の障害、エラー、バグの発

生等についていかなる責任も負わず、かかる状況等により利用者又は第三者に生じた損害について、いかなる責任も負わないものとします。

- 3 当団体は、他の利用者の記載した情報（URL 等を含む）により利用者へ生じた損害について、いかなる責任も負わないものとします。
- 4 本規約に定めた当団体を免責する全ての条項については、当団体に故意又は重過失が存する場合には適用しないものとします。また、本規約のいずれかの条項の一部が民法、消費者契約法その他の法令により無効、取消、差し止めとなった場合であっても、残部の条項は継続して完全に効力を有するものとします。

### 第 11 条（権利の帰属）

- 1 登録情報を含む、本サービスを通じて当団体及び利用者が閲覧できる全ての記録に関する著作権、商標権、意匠権、肖像権その他一切の権利について、本サービスに使用される以前から利用者又は第三者（以下、まとめて本条において「権利者」といいます）に帰属していたものについては、引き続き権利者に帰属します。
- 2 利用者は、前項に基づき、本サービスに関して権利者に帰属する権利を含む情報について、権利者に無断で使用、転用、転載、複製等を行ってはならないものとします。
- 3 利用者は、本サービスに掲載した著作物に関する全ての著作権（著作権法第 27 条、第 28 条の権利を含みます）について、当団体に対してその利用を無償で許諾するものとし、著作権者人格権を行使しないものとします。

### 第 12 条（反社会的勢力排除）

- 1 利用者は、自らが暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等社会運動標榜ゴロ又は特殊知能暴力団、その他これらに準ずる者(以下これらを「反社会的勢力」といいます) に該当しないこと、及び次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。
  - ① 反社会的勢力が経営を支配していると認められる関係を有すること
  - ② 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
  - ③ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に反社会的勢力を利用していると認められる関係を有すること
  - ④ 反社会的勢力に資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
  - ⑤ 役員又は経営に実質的に関与している者が反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有すること
- 2 利用者は、当団体又は第三者に対し、自ら又は第三者を利用して次の各号の一つにでも該当する行為を行わないことを確約します。
  - ① 暴力的な要求行為

- ② 法的な責任を超えた不当な要求行為
- ③ 取引に関して、脅迫的な言辞又は暴力を用いる行為
- ④ 風説を流布し、偽計若しくは威力を用いて相手方の信用を毀損し、又は業務を妨害する行為

### 第13条（本サービス、本規約の変更）

- 1 当団体は、いつでも本サービスを変更できるものとします。当団体は、かかる変更を行った際は、本サービスを通じて公表するものとし、公表後に利用者が本サービスを利用した場合は、変更に同意したものとみなします。
- 2 当団体は、本規約の内容について、必要に応じて変更することができます。この場合、当団体が変更後の本規約を Web サイト又はアプリケーションに掲載する方法で公表するものとします。ただし、利用者に不利益が生じる変更については、あらかじめ公表を行い一定期間経過後に行うものとします。

### 第14条（個人情報の取扱い）

当団体は、利用者に関する情報（個人情報を含む）について、本サービスに関するプライバシーポリシーに従って取り扱うものとします。

### 第15条（準拠法及び管轄合意）

本規約は、日本法に基づき解釈されるものとします。利用者と当団体の間で生じた一切の紛争については、訴額に応じて、東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

## SDGs のゴール・ターゲットの和訳、及びインディケーター

SDGs の目標（和文参照：総務省）

目標 (Goal)	目標意訳文 (原文)
 <p>1 貧困をなくそう</p> <p>1. 貧困をなくそう (NO POVERTY)</p>	<p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる (End poverty in all its forms everywhere)</p>
 <p>2 飢餓をゼロに</p> <p>2. 飢餓をゼロに (ZERO HUNGER)</p>	<p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する (End hunger, achieve food security and improved nutrition and promote sustainable agriculture)</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>3. すべての人に健康と福祉を (GOOD HEALTH AND WELL-BEING)</p>	<p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する (Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages)</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>4. 質の高い教育をみんなに (QUALITY EDUCATION)</p>	<p>全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する (Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning opportunities for all)</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>5. ジェンダー平等を実現しよう (GENDER EQUALITY)</p>	<p>ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う (Achieve gender equality and empower all women and girls)</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>6. 安全な水とトイレを世界中に (CLEAN WATER AND SANITATION)</p>	<p>全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する (Ensure availability and sustainable management of water and sanitation for all)</p>

<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> 	<p>7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに (AFFORDABLE AND CLEANENERGY)</p>	<p>全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する (Ensure access to affordable, reliable, sustainable and modern energy for all)</p>
<p>8 働きがいも 経済成長も</p> 	<p>8. 働きがいも経済成長も (DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH)</p>	<p>包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク)を推進する (Promote sustained, inclusive and sustainable economic growth, full and productive employment and decent work for all)</p>
<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> 	<p>9. 産業と技術革新の 基盤をつくろう (INDUSTRY, INNOVATION, AND INFRASTRUCTURE)</p>	<p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る (Build resilient infrastructure, promote inclusive and sustainable industrialization and foster innovation)</p>
<p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> 	<p>10. 人や国の不平等を なくそう (REDUCED INEQUALITIES)</p>	<p>各国内及び各国間の不平等を是正する (Reduce inequality within and among countries)</p>
<p>11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>11. 住み続けられる まちづくりを (SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES)</p>	<p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する (Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable)</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	<p>12. つくる責任つかう責任 (RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION)</p>	<p>持続可能な生産消費形態を確保する (Ensure sustainable consumption and production patterns)</p>

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ ログアウト方法作成
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>13. 気候変動に具体的な対策を (CLIMATE ACTION)</p>	<p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる (Take urgent action to combat climate change and its impacts)</p>
<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>14.海の豊かさを守ろう (LIFE BELOW WATER)</p>	<p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する (Conserve and sustainably use the oceans, seas and marine resources for sustainable development)</p>
<p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p> 	<p>15.陸の豊かさも守ろう (LIFE ON LAND)</p>	<p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する (Protect, restore and promote sustainable use of terrestrial ecosystems, sustainably manage forests, combat desertification, and halt and reverse land degradation and halt biodiversity loss)</p>
<p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>16. 平和と公正をすべての人に (PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS)</p>	<p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する (Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels)</p>
<p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	<p>17.パートナーシップで目標を達成しよう (PARTNERSHIPS FOR THE GOALS)</p>	<p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する (Strengthen the means of implementation and revitalize the global partnership for sustainable development)</p>

## SDGs のゴール・ターゲット・インディケーター

ゴール1 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる		
通し No.	ターゲット	インディケーター
1	1.1 2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。	1.1.1 国際的な貧困ラインを下回って生活している人口の割合（性別、年齢、雇用形態、地理的ロケーション（都市/地方）別）
2	1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。	1.2.1 各国の貧困ラインを下回って生活している人口の割合（性別、年齢別） 1.2.2 各国の定義に基づき、あらゆる次元で貧困ラインを下回って生活している男性、女性及び子供の割合（全年齢）
3	1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。	1.3.1 社会保障制度によって保護されている人口の割合（性別、子供、失業者、年配者、障害者、妊婦、新生児、労務災害被害者、貧困層、脆弱層別）
4	1.4 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、全ての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。	1.4.1 基礎的サービスにアクセスできる世帯に住んでいる人口の割合 1.4.2 (a)土地に対し、法律上認められた書類により、安全な所有権を有している全成人の割合（性別、保有の種類別） (b)土地の権利が安全であると認識している全成人の割合（性別、保有の種類別）
5	1.5 2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性（レジリエンス）を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。	1.5.1 10万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接的負傷者数 1.5.2 グローバル GDP に関する災害による直接的経済損失 1.5.3 仙台防災枠組み 2015-2030 に沿った国家レベルの防災戦略を採択し実行している国の数 1.5.4 国家防災戦略に沿った地方レベルの防災戦略を採択し実行している地方政府の割合
6	1.a あらゆる次元での貧困を終わらせるための計画や政策を実施するべく、後発開発途上国をはじめとする開発途上国に対して適切かつ予測可能な手段を講じるため、開発協力の強化などを通じて、さまざまな供給源からの相当量の資源の動員を確保する。	1.a.1 政府によって貧困削減計画に直接割り当てられた国内で生み出された資源の割合 1.a.2 全体の国家財政支出に占める必要不可欠なサービスの割合（教育、健康、及び社会的な保護） 1.a.3 貧困削減計画に直接割り当てられた助成金及び非譲渡債権の割合（GDP 比）
7	1.b 貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを構築する。	1.b.1 女性、貧困層及び脆弱層グループに重点的に支援を行うセクターへの政府からの周期的な資本投資

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

ゴール2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する				
通し No.	ターゲット		インディケーター	
8	2.1	2030年までに、飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。	2.1.1	栄養不足蔓延率 (PoU)
			2.1.2	食料不安の経験尺度 (FIES) に基づく、中程度又は重度な食料不安の蔓延度
9	2.2	5歳未満の子供の発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。	2.2.1	5歳未満の子供の発育阻害の蔓延度 (WHO 子どもの成長基準で、年齢に対する身長が中央値から標準偏差-2未満)
			2.2.2	5歳未満の子供の栄養失調の蔓延度 (WHO 子どもの成長基準で、身長に対する体重が中央値から標準偏差+2超又は-2未満) (タイプ (やせ及び肥満))
10	2.3	2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。	2.3.1	農業/牧畜/林業企業規模の分類ごとの労働単位あたり生産額
			2.3.2	小規模食料生産者の平均的な収入 (性別、先住民・非先住民の別)
11	2.4	2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱 (レジリエント) な農業を実践する。	2.4.1	生産的で持続可能な農業の下に行われる農業地域の割合
12	2.5	2020年までに、国、地域及び国際レベルで適正に管理及び多様化された種子・植物バンクなども通じて、種子、栽培植物、飼育・家畜化された動物及びこれらの近縁野生種の遺伝的多様性を維持し、国際的合意に基づき、遺伝資源及びこれに関連する伝統的な知識へのアクセス及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分を促進する。	2.5.1	中期又は長期保存施設に確保されている食物及び農業のための動植物の遺伝資源の数
			2.5.2	絶滅の危機にある、絶滅の危機にはない、又は、不明というレベルごとに分類された在来種の割合
13	2.a	開発途上国、特に後発開発途上国における農業生産能力向上のために、国際協力の強化などを通じて、農村インフラ、農業研究・普及サービス、技術開発及び植物・家畜の遺伝・バンクへの投資の拡大を図る。	2.a.1	政府支出における農業指向指数
			2.s.2	農業部門への公的支援の全体的な流れ (ODA 及び他の公的支援の流れ)
14	2.b	ドーハ開発ラウンドのマンデートに従い、全ての農産物輸出補助金及び同等の効果を持つ全ての輸出措置の同時撤廃などを通じて、世界の市場における貿易制限や歪みを是正及び防止する。	2.b.1	農業輸出補助金
15	2.c	食料価格の極端な変動に歯止めをかけるため、食料市場及びデリバティブ市場の適正な機能を確保するための措置を講じ、食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする。	2.c.1	食料価格の変動指数 (IFPA)

ゴール3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
通し No.	ターゲット		インディケーター
16	3.1	2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。	3.1.1 妊産婦死亡率
			3.1.2 専門技能者の立会いの下での出産の割合
17	3.2	全ての国が新生児死亡率を少なくとも出生1,000件中12件以下まで減らし、5歳以下死亡率を少なくとも出生1,000件中25件以下まで減らすことを目指し、2030年までに、新生児及び5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する。	3.2.1 5歳未満児死亡率
			3.2.2 新生児死亡率
18	3.3	2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。	3.3.1 非感染者1,000人当たりの新規HIV感染者数（性別、年齢及び主要層別）
			3.3.2 100,000人当たりの結核感染者数
			3.3.3 1,000人当たりのマラリア感染者数
			3.3.4 10万人当たりのB型肝炎感染者数
			3.3.5 「顧みられない熱帯病」(NTDs) に対して介入を必要としている人々の数
19	3.4	2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。	3.4.1 心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の死亡率
			3.4.2 自殺率
20	3.5	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。	3.5.1 物質使用障害に対する治療介入（薬理的、心理社会的、リハビリ及びアフターケア・サービス）の適用範囲
			3.5.2 1年間（暦年）の純アルコール量における、（15歳以上の）1人当たりのアルコール消費量に対しての各国の状況に応じ定義されたアルコールの有害な使用（ <i>ℓ</i> ）
21	3.6	2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。	3.6.1 道路交通事故による死亡率
22	3.7	2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。	3.7.1 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合
			3.7.2 女性1000人当たりの青年期（10～14歳；15～19歳）の出生率
23	3.8	全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。	3.8.1 必要不可欠の公共医療サービスの適応範囲（一般及び最も不利な立場の人々についての、生殖、妊婦、新生児及び子供の健康、伝染病、非伝染病、サービス能力とアクセスを含むトレーサー介入を基とする必要不可欠なサービスの平均的適応範囲と定義されたもの）
			3.8.2 家計の支出又は所得に占める健康関連支出が大きい人口の割合
24	3.9	2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。	3.9.1 家庭内及び外部の大気汚染による死亡率
			3.9.2 安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識不足（安全ではないWASH（基本的な水と衛生）にさらされていること）による死亡率
			3.9.3 意図的ではない汚染による死亡率
25	3.a	全ての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。	3.a.1 15歳以上の現在の喫煙率（年齢調整されたもの）
26	3.b	主に開発途上国に影響を及ぼす感染性及び非感染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援す	3.b.1 各国ごとの国家計画に含まれる全ての薬によってカバーされているターゲット人口の割合

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 目録

		る。また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定 (TRIPS 協定) 及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護及び、特に全ての人々への医薬品のアクセス提供にかかわる「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定 (TRIPS 協定)」の柔軟性に関する規定を最大限に行使する開発途上国の権利を確約したものである。	3.b.2	薬学研究や基礎的保健部門への純 ODA の合計値
			3.b.3	持続可能な水準で、関連必須医薬品コアセットが入手可能かつその価格が手頃である保健施設の割合
27	3.c	開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において保健財政及び保健人材の採用、能力開発・訓練及び定着を大幅に拡大させる。	3.c.1	医療従事者の密度と分布
28	3. d	全ての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。	3.d.1	国際保健規則 (IHR) キャパシティと健康危機への備え

ゴール4 質の高い教育をみんなに 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する		
通し No.	ターゲット	インディケーター
29	4.1 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。	4.1.1 (i)読解力、(ii)算数について、最低限の習熟度に達している次の子供や若者の割合（性別ごと） (a)2～3学年時、(b)小学校修了時、(c)中学校修了時
30	4.2 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。	4.2.1 健康、学習及び心理社会的な幸福について、順調に发育している5歳未満の子供の割合（性別ごと）
		4.2.2 (小学校に入学する年齢より1年前の時点で)体系的な学習に参加している者の割合（性別ごと）
31	4.3 2030年までに、全ての人が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。	4.3.1 過去12か月にフォーマル及びノンフォーマルな教育や訓練に参加している若者又は成人の割合（性別ごと）
32	4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。	4.4.1 ICTスキルを有する若者や成人の割合（スキルのタイプ別）
33	4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層あらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。	4.5.1 詳細集計可能な、本リストに記載された全ての教育指数のための、パリティ指数(女性/男性、地方/都市、富の五分位数の底/トップ、またその他に、障害状況、先住民、紛争の影響を受けた者等の利用可能なデータ)
34	4.6 2030年までに、全ての若者及び大多数（男女ともに）の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする。	4.6.1 実用的な(a)読み書き能力、(b)基本的計算能力において、少なくとも決まったレベルを達成した所定の年齢層の人口の割合（性別ごと）
35	4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。	4.7.1 ジェンダー平等および人権を含む、(i)地球市民教育、及び(ii)持続可能な開発のための教育が、(a)各国の教育政策、(b)カリキュラム、(c)教師の教育、及び(d)児童・生徒・学生の達成度評価に関して、全ての教育段階において主流化されているレベル
36	4.a 子供、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。	4.a.1 以下の設備等が利用可能な学校の割合 (a)電気、(b)教育を目的としたインターネット、(c)教育を目的としたコンピュータ、(d)障害を持っている学生のための適切な施設や道具、(e)基本的な飲料水、(f)男女別の基本的なトイレ、(g)基本的な手洗い場（WASH指標の定義別）
37	4.b 2020年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、並びにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術（ICT）、技術・工学・科学プログラムなど、先進国及びその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。	4.b.1 奨学金のためのODAフローの量（部門と研究タイプ別）
38	4.c 2030年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国における教員研修のための国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に	4.c.1 各国における適切なレベルでの教育を行うために、最低限制度化された養成研修あるいは現職研修（例：教授法研修）を受けた(a)就学前教育、(b)初等教育、(c)前期中等

# Platform Clover ユーザーマニュアル

		増加させる。		教育、(d)後期中等教育に従事する教員の割合
ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う				
通し No.	ターゲット		インディケーター	
39	5.1	あらゆる場所における全ての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。	5.1.1	性別に基づく平等と差別撤廃を促進、実施及びモニターするための法律の枠組みが制定されているかどうか
40	5.2	人身売買や性的、その他の種類の搾取など、全ての女性及び女兒に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。	5.2.1	これまでにパートナーを得た 15 歳以上の女性や少女のうち、過去 12 か月以内に、現在、または以前の親密なパートナーから身体的、性的、精神的暴力を受けた者の割合（暴力の形態、年齢別）
			5.2.2	過去 12 か月以内に、親密なパートナー以外の人から性的暴力を受けた 15 歳以上の女性や少女の割合（年齢、発生場所別）
41	5.3	未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。	5.3.1	15 歳未満、18 歳未満で結婚又はパートナーを得た 20～24 歳の女性の割合
			5.3.2	女性性器切除を受けた 15-49 歳の少女や女性の割合（年齢別）
42	5.4	公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。	5.4.1	無償の家事・ケア労働に費やす時間の割合（性別、年齢、場所別）
43	5.5	政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。	5.5.1	国会及び地方議会において女性が占める議席の割合
			5.5.2	管理職に占める女性の割合
44	5.6	国際人口・開発会議（ICPD）の行動計画及び北京行動綱領、並びにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。	5.6.1	性的関係、避妊、リプロダクティブ・ヘルスケアについて、自分で意思決定を行うことのできる 15 歳～49 歳の女性の割合
			5.6.2	15 歳以上の女性及び男性に対し、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスケア、情報、教育を保障する法律や規定を有する国の数
45	5.a	女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、並びに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。	5.a.1	(a)農地への所有権又は保障された権利を有する総農業人口の割合（性別ごと） (b)農地所有者又は権利者における女性の割合（所有条件別）
			5.a.2	土地所有及び/又は管理に関する女性の平等な権利を保障している法的枠組（慣習法を含む）を有する国の割合
46	5.b	女性の能力強化促進のため、ICT をはじめとする実用技術の活用を強化する。	5.b.1	携帯電話を所有する個人の割合（性別ごと）
47	5.c	ジェンダー平等の促進、並びに全ての女性及び女子のあらゆるレベルでの能力強化のための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。	5.c.1	ジェンダー平等及び女性のエンパワーメントのための公的資金を監視、配分するシステムを有する国の割合

ゴール6 安全な水とトイレを世界中に 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する			
通し No.	ターゲット		インディケーター
48	6.1	2030年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。	6.1.1 安全に管理された飲料水サービスを利用する人口の割合
49	6.2	2030年までに、全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女兒、並びに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。	6.2.1 (a)安全に管理された公衆衛生サービスを利用する人口の割合、(b)石けんや水のある手洗い場を利用する人口の割合
50	6.3	2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。	6.3.1 安全に処理された排水の割合
			6.3.2 良好な水質を持つ水域の割合
51	6.4	2030年までに、全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。	6.4.1 水の利用効率の経時変化
			6.4.2 水ストレスレベル：淡水資源量に占める淡水採取量の割合
52	6.5	2030年までに、国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの統合水資源管理を実施する。	6.5.1 統合水資源管理（IWRM）実施の度合い（0-100）
			6.5.2 水資源協力のための運営協定がある越境流域の割合
53	6.6	2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。	6.6.1 水関連生態系範囲の経時変化
54	6.a	2030年までに、集水、海水淡水化、水の効率的利用、排水処理、リサイクル・再利用技術を含む開発途上国における水と衛生分野での活動と計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する。	6.a.1 政府調整支出計画の一部である上下水道関連のODAの総量
55	6.b	水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。	6.b.1 上下水道管理への地方コミュニティの参加のために制定し、運営されている政策及び手続のある地方公共団体の割合

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する				
通し No.	ターゲット		インディケーター	
56	7.1	2030 年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。	7.1.1	電気を受電可能な人口比率
			7.1.2	家屋の空気を汚さない燃料や技術に依存している人口比率
57	7.2	2030 年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。	7.2.1	最終エネルギー消費量に占める再生可能エネルギー比率
58	7.3	2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。	7.3.1	エネルギー強度（GDP 当たりの一次エネルギー）
59	7.a	2030 年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。	7.a.1	クリーンなエネルギー研究及び開発と、ハイブリッドシステムに含まれる再生可能エネルギー生成への支援に関する発展途上国に対する国際金融フロー
60	7.b	2030 年までに、各々の支援プログラムに沿って開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、内陸開発途上国の全ての人々に現代的で持続可能なエネルギーサービスを供給できるよう、インフラ拡大と技術向上を行う。	7.b.1	持続可能なサービスへのインフラや技術のための財源移行における GDP に占めるエネルギー効率への投資（%）及び海外直接投資の総量

ゴール8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する				
通し No.	ターゲット		インディケーター	
61	8.1	各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率 7% の成長率を保つ。	8.1.1	一人当たりの実質 GDP の年間成長率
62	8.2	高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。	8.2.1	労働者一人当たりの実質 GDP の年間成長率
63	8.3	生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。	8.3.1	農業以外におけるインフォーマル雇用の割合（性別ごと）
64	8.4	2030 年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、先進国主導の下、持続可能な消費と生産に関する 10 年計画枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。	8.4.1	マテリアルフットプリント（MF）、一人当たり MF 及び GDP 当たりの MF
			8.4.2	国内総物質消費量（DMC）及び 1 人当たり、GDP 当たりの DMC

65	8.5	2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。	8.5.1	女性及び男性労働者の平均時給（職業、年齢、障害者別）
			8.5.2	失業率（性別、年齢、障害者別）
66	8.6	2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。	8.6.1	就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない15～24歳の若者の割合
67	8.7	強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。	8.7.1	児童労働者（5～17歳）の割合と数（性別、年齢別）
68	8.8	移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。	8.8.1	致命的及び非致命的な労働災害の発生率（性別、移住状況別）
			8.8.2	国際労働機関（ILO）原文ソース及び国内の法律に基づく、労働権利（結社及び団体交渉の自由）における国内コンプライアンスのレベル（性別、移住状況別）
69	8.9	2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。	8.9.1	全GDP及びGDP成長率に占める割合としての観光業の直接GDP
			8.9.2	全観光業における従業員数に占める持続可能な観光業の従業員数の割合
70	8.10	国内の金融機関の能力を強化し、全ての人々の銀行取引、保険及び金融サービスへのアクセスを促進・拡大する。	8.10.1	成人10万人当たりの市中銀行の支店及びATM数
			8.10.2	銀行や他の金融機関に口座を持つ、またはモバイルマネーサービスを利用する（15歳以上の）成人の割合
71	8.a	後発開発途上国への貿易関連技術支援のための拡大統合フレームワーク（EIF）などを通じた支援を含む、開発途上国、特に後発開発途上国に対する貿易のための援助を拡大する。	8.a.1	貿易のための援助に対するコミットメントや支出
72	8.b	2020年までに、若年雇用のための世界的戦略及び国際労働機関（ILO）の仕事に関する世界協定の実施を展開・運用化する。	8.b.1	国家雇用戦略とは別途あるいはその一部として開発され運用されている若年雇用のための国家戦略の有無

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ ログアカウント作成
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の 促進及びイノベーションの推進を図る				
通し No.	ターゲット		インディケーター	
73	9.1	全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。	9.1.1	全季節利用可能な道路の2km圏内に住んでいる地方の人口の割合
			9.1.2	旅客と貨物量（交通手段別）
74	9.2	包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。	9.2.1	GDPに占める製造業付加価値の割合及び一人当たり製造業付加価値
			9.2.2	全産業就業者数に占める製造業就業者数の割合
75	9.3	特に開発途上国における小規模の製造業その他の企業の、安価な資金貸付などの金融サービスやバリューチェーン及び市場への統合へのアクセスを拡大する。	9.3.1	産業の合計付加価値のうち小規模産業の占める割合
			9.3.2	ローン又は与信枠が設定された小規模製造業の割合
76	9.4	2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。	9.4.1	付加価値の単位当たりのCO2排出量
77	9.5	2030年までにイノベーションを促進させることや100万人当たりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとする全ての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。	9.5.1	GDPに占める研究開発への支出
			9.5.2	100万人当たりの研究者（フルタイム相当）
78	9.a	アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国及び小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術の支援強化を通じて、開発途上国における持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラ開発を促進する。	9.a.1	インフラへの公的国際支援の総額（ODAその他公的フロー）
79	9.b	産業の多様化や商品への付加価値創造などに資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究及びイノベーションを支援する。	9.b.1	全付加価値における中位並びに先端テクノロジー産業の付加価値の割合
80	9.c	後発開発途上国において情報通信技術へのアクセスを大幅に向上させ、2020年までに普遍的かつ安価なインターネット・アクセスを提供できるよう図る。	9.c.1	モバイルネットワークにアクセス可能な人口の割合（技術別）

ゴール10 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する			
通し No.	ターゲット		インディケーター
81	10.1	2030年までに、各国の所得下位40%の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる。	10.1.1 1人当たりの家計支出又は所得の成長率（人口の下位40%のもの、総人口のもの）
82	10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。	10.2.1 中位所得の半分未満で生活する人口の割合（年齢、性別、障害者別）
83	10.3	差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。	10.3.1 国際人権法の下で禁止されている差別の理由において、過去12か月の間に差別又は嫌がらせを個人的に感じたと報告した人口の割合
84	10.4	税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成する。	10.4.1 賃金及び社会保障給付から成るGDP労働配分率
85	10.5	世界金融市場と金融機関に対する規制とモニタリングを改善し、こうした規制の実施を強化する。	10.5.1 金融健全性指標
86	10.6	地球規模の国際経済・金融制度の意思決定における開発途上国の参加や発言力を拡大させることにより、より効果的で信用力があり、説明責任のある正当な制度を実現する。	10.6.1 国際機関における開発途上国のメンバー数及び投票権の割合
87	10.7	計画に基づき良く管理された移民政策の実施などを通じて、秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する。	10.7.1 従業者が移住先の国で稼いだ月収に占める、その従業者が移住先の国で仕事を探すに当たって（自ら）負担した費用の割合
			10.7.2 秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する移住政策を持つ国の数
88	10.a	世界貿易機関（WTO）協定に従い、開発途上国、特に後発開発途上国に対する特別かつ異なる待遇の原則を実施する。	10.a.1 後発開発途上国や開発途上国からの輸入品に適用されるゼロ関税の関税分類品目（タリフライン）の割合
89	10.b	各国の国家計画やプログラムに従って、後発開発途上国、アフリカ諸国、小島嶼開発途上国及び内陸開発途上国を始めとする、ニーズが最も大きい国々への、政府開発援助（ODA）及び海外直接投資を含む資金の流入を促進する。	10.b.1 開発のためのリソースフローの総額（受援国及び援助国、フローの流れ（例：ODA、外国直接投資、その他）別）
90	10.c	2030年までに、移住労働者による送金コストを3%未満に引き下げ、コストが5%を越える送金経路を撤廃する。	10.c.1 総送金額の割合に占める送金コスト

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ アカウント作成
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

ゴール11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
通し No.	ターゲット		インディケータ
91	11.1	2030年までに、全ての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。	11.1.1 スラム、インフォーマルな居住地及び不適切な住宅に居住する都市人口の割合
92	11.2	2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。	11.2.1 公共交通機関へ容易にアクセスできる人口の割合（性別、年齢、障害者別）
93	11.3	2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。	11.3.1 人口増加率と土地利用率の比率
			11.3.2 定期的かつ民主的に運営されている都市計画及び管理に、市民社会が直接参加する仕組みがある都市の割合
94	11.4	世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。	11.4.1 全ての文化及び自然遺産の保全、保護及び保存における総支出額（公的部門、民間部門）（遺産のタイプ別（文化、自然、混合、世界遺産に登録されているもの）、政府レベル別（国、地域、地方、市）、支出タイプ別（営業費、投資）、民間資金のタイプ別（寄付、非営利部門、後援）
95	11.5	2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。	11.5.1 10万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接的負傷者数
			11.5.2 災害によって起こった、グローバルなGDPに関連した直接経済損失、重要インフラへの被害及び基本サービスの途絶件数
96	11.6	2030年までに、大気質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。	11.6.1 都市で生み出された固形廃棄物の総量のうち、定期的に収集され適切に最終処理されたものの割合（都市別）
			11.6.2 都市部における微粒子物質（例：PM2.5やPM10）の年平均レベル（人口で加重平均したもの）
97	11.7	2030年までに、女性、子供、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。	11.7.1 各都市部の建物密集区域における公共スペースの割合の平均（性別、年齢、障害者別）
			11.7.2 過去12か月における身体的又は性的ハラスメントの犠牲者の割合（性別、年齢、障害状況、発生場所別）
98	11.a	各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。	11.a.1 人口予測とリソース需要について取りまとめながら都市及び地域開発計画を実行している都市に住んでいる人口の割合（都市の規模別）
99	11.b	2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。	11.b.1 仙台防災枠組2015-2030に沿った国家レベルの防災戦略を採択し実行している国の数
			11.b.2 国家防災戦略に沿った地方レベルの防災戦略を採択し実行している地方政府の割合
100	11.c	財政的及び技術的な支援などを通じて、後発開発途上国における現地の資材を用いた、持続可能かつ強靱（レジリエント）な建造物の整備を支援する。	11.c.1 現地の資材を用いた、持続可能で強靱（レジリエント）で資源が効率的である建造物の建設及び改築に割り当てられた後発開発途上国への財政援助の割合

ゴール12 つくる責任つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する			
通し No.	ターゲット		インディケーター
101	12.1	開発途上国の開発状況や能力を勘案しつつ、持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み(10YFP)を実施し、先進国主導の下、全ての国々が対策を講じる。	12.1.1 持続可能な消費と生産(SCP)に関する国家行動計画を持っている、又は国家政策に優先事項もしくはターゲットとしてSCPが組み込まれている国の数
102	12.2	2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。	12.2.1 マテリアルフットプリント(MF)、一人当たりMF及びGDP当たりのMF 12.2.2 国内総物質消費量(DMC)及び1人当たり、GDP当たりのDMC
103	12.3	2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。	12.3.1 a) 食料損耗指数、及び b) 食料廃棄指数
104	12.4	2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境に適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。	12.4.1 有害廃棄物や他の化学物質に関する国際多国間環境協定で求められる情報の提供(報告)の義務を果たしている締約国の数 12.4.2 有害廃棄物の1人当たり発生量、処理された有害廃棄物の割合(処理手法ごと)
105	12.5	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	12.5.1 各国の再生利用率、リサイクルされた物質のトン数
106	12.6	特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。	12.6.1 持続可能性に関する報告書を発行する企業の数
107	12.7	国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達の慣行を促進する。	12.7.1 持続可能な公的調達政策及び行動計画を実施している国の数
108	12.8	2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。	12.8.1 気候変動教育を含む、(i)地球市民教育、及び(ii)持続可能な開発のための教育が、(a)各国の教育政策、(b)カリキュラム、(c)教師の教育、及び(d)児童・生徒・学生の達成度評価に関して、全ての教育段階において主流化されているレベル
109	12.a	開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。	12.a.1 持続可能な消費、生産形態及び環境に配慮した技術のための研究開発に係る開発途上国への支援総計
110	12.b	雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。	12.b.1 承認された評価監視ツールのある持続可能な観光戦略や政策、実施された行動計画の数
111	12.c	開発途上国の特別なニーズや状況を十分考慮し、貧困層やコミュニティを保護する形で開発に関する悪影響を最小限に留めつつ、税制改正や、有害な補助金が存在する場合はその環境への影響を考慮してその段階的廃止などを通じ、各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する。	12.b.2 GDP(生産及び消費)の単位当たり及び化石燃料の国家支出総額に占める化石燃料補助金

ゴール13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる				
通し No.	ターゲット		インディケーター	
112	13.1	全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。	13.1.1	10万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接的負傷者数
			13.1.2	仙台防災枠組み 2015-2030 に沿った国家レベルの防災戦略を採択し実行している国の数
			13.1.3	国家防災戦略に沿った地方レベルの防災戦略を採択し実行している地方政府の割合
113	13.2	気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。	13.2.1	気候変動の悪影響に適応し、食料生産を脅かさない方法で、気候強靱性や温室効果ガスの低排出型の発展を促進するための能力を増加させる統合的な政策/戦略/計画（国の適応計画、国が決定する貢献、国別報告書、隔年更新報告書その他を含む）の確立又は運用を報告している国の数
114	13.3	気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。	13.3.1	緩和、適応、影響軽減及び早期警戒を、初等、中等及び高等教育のカリキュラムに組み込んでいる国の数
			13.3.2	適応、緩和及び技術移転を実施するための制度上、システム上、及び個人々人における能力構築の強化や開発行動を報告している国の数
115	13.a	重要な緩和行動の実施とその実施における透明性確保に関する開発途上国のニーズに対応するため、2020年までにあらゆる供給源から年間1,000億ドルを共同で動員するという、UNFCCCの先進締約国によるコミットメントを実施するとともに、可能な限り速やかに資本を投入して緑の気候基金を本格始動させる。	13.a.1	2020-2025年の間に1000億USドルコミットメントを実現するために必要となる1年当たりに投資される総USドル
116	13.b	後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において、女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てることを含め、気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上させるメカニズムを推進する。	13.b.1	女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てることを含め、気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上させるメカニズムのために、専門的なサポートを受けている後発開発途上国や小島嶼開発途上国の数及び財政、技術、能力構築を含む支援総額

ゴール14 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する			
通し No.	ターゲット		インディケーター
117	14.1	2025 年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。	14.1.1 沿岸富栄養化指数 (ICEP) 及び浮遊プラスチックごみの密度
118	14.2	2020 年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性 (レジリエンス) の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。	14.2.1 生態系を基盤として活用するアプローチにより管理された各国の排他的経済水域の割合
119	14.3	あらゆるレベルでの科学的協力の促進などを通じて、海洋酸性化の影響を最小限化し、対処する。	14.3.1 承認された代表標本抽出地点で測定された海洋酸性度 (pH) の平均値
120	14.4	水産資源を、実現可能な最短期間で少なくとも各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、2020 年までに、漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制 (IUU) 漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する。	14.4.1 生物学的に持続可能なレベルの水産資源の割合
121	14.5	2020 年までに、国内法及び国際法に則り、最大限入手可能な科学情報に基づいて、少なくとも沿岸域及び海域の 10 パーセントを保全する。	14.5.1 海域に関する保護領域の範囲
122	14.6	開発途上国及び後開発途上国に対する適切かつ効果的な、特別かつ異なる待遇が、世界貿易機関 (WTO) 漁業補助金交渉の不可分の要素であるべきことを認識した上で、2020 年までに、過剰漁獲能力や過剰漁獲につながる漁業補助金を禁止し、違法・無報告・無規制 (IUU) 漁業につながる補助金を撤廃し、同様の新たな補助金の導入を抑制する。	14.6.1 IUU 漁業 (Illegal (違法)・Unreported (無報告)・Unregulated (無規制)) と対峙することを目的としている国際的手段の実施状況
123	14.7	2030 年までに、漁業、水産養殖及び観光の持続可能な管理などを通じ、小島嶼開発途上国及び後開発途上国の海洋資源の持続的な利用による経済的便益を増大させる。	14.7.1 小島嶼開発途上国、後開発途上国及び全ての国々の GDP に占める持続可能な漁業の割合
124	14.a	海洋の健全性の改善と、開発途上国、特に小島嶼開発途上国および後開発途上国の開発における海洋生物多様性の寄与向上のために、海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準・ガイドラインを勧奨しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、及び海洋技術の移転を行う。	14.a.1 総研究予算額に占める、海洋技術分野に割り当てられた研究予算の割合
125	14.b	小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する。	14.b.1 小規模・零細漁業のためのアクセス権を認識し保護する法令/規制/政策/制度枠組みの導入状況
126	14.c	「我々の求める未来」のパラ 158 において想起されるとおり、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用のための法的枠組みを規定する海洋法に関する国際連合条約 (UNCLOS) に反映されている国際法を実施することにより、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用を強化する。	14.c.1 海洋及び海洋資源の保全と持続可能な利用のために「海洋法に関する国際連合条約 (UNCLOS)」に反映されているとおり、国際法を実施する海洋関係の手段を、法、政策、機関的枠組みを通して、批准、導入、実施を推進している国の数

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- I はじめに
- II 概要
- III ログアウト方法作成
- IV 情報の検索
- V 情報の発信
- VI よくある質問
- VII 添削

ゴール15 陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、 砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する			
通し No.	ターゲット		インディケーター
127	15.1	2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。	15.1.1 土地全体に対する森林の割合
			15.1.2 陸生及び淡水性の生物多様性に重要な場所のうち保護区で網羅されている割合（保護地域、生態系のタイプ別）
128	15.2	2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。	15.2.1 持続可能な森林経営における進捗
129	15.3	2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。	15.3.1 土地全体のうち劣化した土地の割合
130	15.4	2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。	15.4.1 山地生物多様性のための重要な場所に占める保全された地域の範囲
			15.4.2 山地グリーンカバー指数
131	15.5	自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。	15.5.1 レッドリスト指数
132	15.6	国際合意に基づき、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を推進するとともに、遺伝資源への適切なアクセスを推進する。	15.6.1 利益の公正かつ衡平な配分を確保するための立法上、行政上及び政策上の枠組みを持つ国の数
133	15.7	保護の対象となっている動植物種の密猟及び違法取引を撲滅するための緊急対策を講じるとともに、違法な野生生物製品の需要と供給の両面に対処する。	15.7.1 密猟された野生生物又は違法に取引された野生生物の取引の割合
134	15.8	2020年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。	15.8.1 外来種に関する国内法を採択しており、侵略的外来種の防除や制御に必要な資金等を確保している国の割合
135	15.9	2020年までに、生態系と生物多様性の価値を、国や地方の計画策定、開発プロセス及び貧困削減のための戦略及び会計に組み込む。	15.9.1 生物多様性戦略計画2011-2020の愛知目標の目標2に従って設定された国内目標に対する進捗
136	15.a	生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の動員及び大幅な増額を行う。	15.a.1 生物多様性及び生態系の保全と持続的な利用に係るODA並びに公的支出
137	15.b	保全や再植林を含む持続可能な森林経営を推進するため、あらゆるレベルのあらゆる供給源から、持続可能な森林経営のための資金の調達と開発途上国への十分なインセンティブ付与のための相当量の資源を動員する。	15.b.1 生物多様性及び生態系の保全と持続的な利用に係るODA並びに公的支出
138	15.c	持続的な生計機会を追求するために地域コミュニティの能力向上を図る等、保護種の密猟及び違法な取引に対処するための努力に対する世界的な支援	15.c.1 密猟された野生生物又は違法に取引された野生生物の取引の割合

		を強化する。		
ゴール16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、 あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する				
通し No.	ターゲット		インディケーター	
139	16.1	あらゆる場所において、全ての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。	16.1.1	10万人当たりの意図的な殺人行為による犠牲者の数（性別、年齢別）
			16.1.2	10万人当たりの紛争関連の死者の数（性別、年齢、原因別）
			16.1.3	過去12か月において(a)身体的暴力、(b)精神的暴力、(c)性的暴力を受けた人口の割合
			16.1.4	自身の居住区地域を一人で歩いても安全と感じる人口の割合
140	16.2	子供に対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。	16.2.1	過去1か月における保護者等からの身体的な暴力及び/又は心理的な攻撃を受けた1歳～17歳の子供の割合
			16.2.2	10万人当たりの人身取引の犠牲者の数（性別、年齢、搾取形態別）
			16.2.3	18歳までに性的暴力を受けた18～29歳の若年女性及び男性の割合
141	16.3	国家及び国際的なレベルでの法の支配を促進し、全ての人々に司法への平等なアクセスを提供する。	16.3.1	過去12か月間に暴力を受け、所管官庁又はその他の公的に承認された紛争解決機構に対して、被害を届け出た者の割合
			16.3.2	刑務所の総収容者数に占める判決を受けていない勾留者の割合
142	16.4	2030年までに、違法な資金及び武器の取引を大幅に減少させ、奪われた財産の回復及び返還を強化し、あらゆる形態の組織犯罪を根絶する。	16.4.1	内外の違法な資金フローの合計額（USドル）
			16.4.2	国際的な要件に従い、所管当局によって、発見/押収された武器で、その違法な起源又は流れが追跡/立証されているものの割合
143	16.5	あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。	16.5.1	過去12か月間に公務員に賄賂を支払った又は公務員より賄賂を要求されたことが少なくとも1回はあった人の割合
			16.5.2	過去12か月間に公務員に賄賂を支払った又は公務員より賄賂を要求されたことが少なくとも1回はあった企業の割合
144	16.6	あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる。	16.6.1	当初承認された予算に占める第一次政府支出（部門別、予算別又は類似の分類別）
			16.6.2	最後に利用した公共サービスに満足した人の割合
145	16.7	あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。	16.7.1	国全体における分布と比較した、国・地方の公的機関（(a)議会、(b)公共サービス及び(c)司法を含む。）における性別、年齢別、障害者別、人口グループ別の役職の割合
			16.7.2	国の政策決定過程が包摂的であり、かつ応答性を持つと考える人の割合（性別、年齢別、障害者及び人口グループ別）
146	16.8	グローバル・ガバナンス機関への開発途上国の参加を拡大・強化する。	16.8.1	国際機関における開発途上国のメンバー数及び投票権の割合
147	16.9	2030年までに、全ての人々に出生登録を含む法的な身分証明を提供する。	16.9.1	行政機関に出生登録された5歳以下の子供の数（年齢別）
148	16.10	国内法規及び国際協定に従い、情報への公共アクセス	16.10.1	過去12か月間にジャーナリスト、メディア関係者、労

# Platform Clover ユーザーマニュアル

- Ⅰ はじめに
- Ⅱ 概要
- Ⅲ ログアカウント作成方法
- Ⅳ 情報の検索
- Ⅴ 情報の発信
- Ⅵ よくある質問
- Ⅶ 付録

		スを確保し、基本的自由を保障する。		働組員及び人権活動家の殺害、誘拐、強制失踪、恣意的拘留及び拷問について立証された事例の数
			16.10.2	情報へのパブリックアクセスを保障した憲法、法令、政策の実施を採択している国の数
149	16.a	特に開発途上国において、暴力の防止とテロリズム・犯罪の撲滅に関するあらゆるレベルでの能力構築のため、国際協力などを通じて関連国家機関を強化する。	16.a.1	パリ原則に準拠した独立した国立人権機関の存在の有無
150	16.b	持続可能な開発のための非差別的な法規及び政策を推進し、実施する。	16.b.1	国際人権法の下で禁止されている差別の理由において、過去 12 か月の間に差別又は嫌がらせを個人的に感じたと報告した人口の割合

ゴール 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナリーシップを活性化する				
通し No.	ターゲット		インディケーター	
151	17.1	課税及び徴税能力の向上のため、開発途上国への国際的な支援なども通じて、国内資源の動員を強化する。	17.1.1	GDP に占める政府歳入合計の割合（収入源別）
			17.1.2	国内予算における、自国内の税収が資金源となっている割合
152	17.2	先進国は、開発途上国に対する ODA を GNI 比 0.7% に、後発開発途上国に対する ODA を GNI 比 0.15～0.20% にするという目標を達成すると多くの国によるコミットメントを含む ODA に係るコミットメントを完全に実施する。ODA 供与国が、少なくとも GNI 比 0.20% の ODA を後発開発途上国に供与するという目標の設定を検討することを奨励する。	17.2.1	OECD/DAC による寄与の GNI に占める純 ODA 総額及び後発開発途上国を対象にした額
153	17.3	複数の財源から、開発途上国のための追加的資金源を動員する。	17.3.1	海外直接投資（FDI）、ODA 及び南南協力の国内総予算に占める割合
			17.3.2	GDP 総額に占める送金額（US ドル）
154	17.4	必要に応じた負債による資金調達、債務救済及び債務再編の促進を目的とした協調的な政策により、開発途上国の長期的な債務の持続可能性の実現を支援し、重債務貧困国（HIPC）の対外債務への対応により債務リスクを軽減する。	17.4.1	財及びサービスの輸出額に対する債務の割合
155	17.5	後発開発途上国のための投資促進枠組みを導入及び実施する。	17.5.1	後発開発途上国のための投資促進枠組みを導入及び実施している国の数
156	17.6	科学技術イノベーション（STI）及びこれらへのアクセスに関する南北協力、南南協力及び地域的・国際的な三角協力を向上させる。また、国連レベルをはじめとする既存のメカニズム間の調整改善や、全世界的な技術促進メカニズムなどを通じて、相互に合意した条件において知識共有を進める。	17.6.1	各国間における科学技術協力協定及び計画の数（協力形態別）
			17.6.2	100 人当たりの固定インターネットブロードバンド契約数（回線速度別）
157	17.7	開発途上国に対し、譲許的・特惠的条件などの相互	17.7.1	環境に配慮した技術の開発、移転、普及及び拡散の促進

		に合意した有利な条件の下で、環境に配慮した技術の開発、移転、普及及び拡散を促進する。		を目的とした開発途上国のための承認された基金の総額
158	17.8	2017年までに、後発開発途上国のための技術バンク及び科学技術イノベーション能力構築メカニズムを完全運用させ、情報通信技術（ICT）をはじめとする実現技術の利用を強化する。	17.8.1	インターネットを使用している個人の割合
159	17.9	全ての持続可能な開発目標を実施するための国家計画を支援するべく、南北協力、南南協力及び三角協力などを通じて、開発途上国における効果的かつ的をしばった能力構築の実施に対する国際的な支援を強化する。	17.9.1	開発途上国にコミットした財政支援額及び技術支援額（南北、南南及び三角協力を含む）（ドル）
160	17.10	ドーハ・ラウンド（DDA）交渉の受諾を含む WTO の下での普遍的でルールに基づいた、差別的でない、公平な多角的貿易体制を促進する。	17.10.1	世界中で加重された関税額の平均
161	17.11	開発途上国による輸出を大幅に増加させ、特に 2020 年までに世界の輸出に占める後発開発途上国のシェアを倍増させる。	17.11.1	世界の輸出額シェアに占める開発途上国と後発開発途上国の割合
162	17.12	後発開発途上国からの輸入に対する特恵的な原産地規則が透明で簡略かつ市場アクセスの円滑化に寄与するものとなるようにすることを含む世界貿易機関（WTO）の決定に矛盾しない形で、全ての後発開発途上国に対し、永続的な無税・無枠の市場アクセスを適時実施する。	17.12.1	開発途上国、後発開発途上国及び小島嶼開発途上国が直面している関税の平均
163	17.13	政策協調や政策の首尾一貫性などを通じて、世界的なマクロ経済の安定を促進する。	17.13.1	マクロ経済ダッシュボード
164	17.14	持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する。	17.14.1	持続可能な開発の政策の一貫性を強化するためのメカニズムがある国の数
165	17.15	貧困撲滅と持続可能な開発のための政策の確立・実施にあたっては、各国の政策空間及びリーダーシップを尊重する。	17.15.1	開発協力提供者ごとの、その国の持つ結果枠組み及び計画ツールの利用範囲
166	17.16	全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。	17.16.1	持続可能な開発目標の達成を支援するマルチステークホルダー開発有効性モニタリング枠組みにおいて進捗を報告する国の数
167	17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。	17.17.1	(a)官民パートナーシップにコミットした US ドルの総額、(b)市民社会のパートナーシップにコミットした US ドルの総額
168	17.18	2020 年までに、後発開発途上国及び小島嶼開発途上国を含む開発途上国に対する能力構築支援を強化し、所得、性別、年齢、人種、民族、居住資格、障害、地理的位置及びその他各国事情に関連する特性別の質が高く、タイムリーかつ信頼性のある非集計型データの入手可能性を向上させる。	17.18.1	公的統計の基本原則に従い、ターゲットに関する場合に、各国レベルで完全に詳細集計されて作成された SDG 指標の割合
			17.18.2	公的統計の基本原則に準じた国家統計法のある国の数
			17.18.3	十分な資金提供とともに実施されている国家統計計画を持つ国の数（資金源別）
169	17.19	2030 年までに、持続可能な開発の進捗状況を測る GDP 以外の尺度を開発する既存の取組を更に前進させ、開発途上国における統計に関する能力構築を支援する。	17.19.1	開発途上国における統計能力の強化のために利用可能となった資源のドル額
			17.19.2	a) 少なくとも過去 10 年に人口・住宅センサスを実施した国の割合 b) 出生届が 100%登録され、死亡届が 80%登録された国の割合

### 謝辞

Platform Clover の開発と運用および本マニュアルの作成にあたり、多くの関係者の皆様から支援を賜りました。本社の正会員である三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社および MS&AD インターリスク総研株式会社には資金面のサポートを含め、さまざまな形でバックアップいただきました。特別会員の一般社団法人 SDGs マネジメントからは Platform Clover の改善に向けてさまざまな意見をいただきました。また、Platform Clover のβ版からご利用いただいているユーザーの皆様からは日々素晴らしい取り組み情報を発信・共有いただきました。なお、Platform Clover のシステム要件の定義や必要機能の検討にあたっては独立行政法人環境再生保全機構の環境研究総合推進費（JPMEERF20211004）の研究成果を一部反映させています。他にも産官学民の多くの方々に多数のご意見やご支援をいただきました。ここに記して、すべての関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

### Platform Clover ユーザーマニュアル

Ver.2.0 2023年3月15日発行

本マニュアルの内容は Platform Clover の仕様変更などで  
予告なく変更される場合があります。  
予めご了承ください。

発行：一般社団法人サステナブルトランジション